

令和5年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 次第

日 時：令和5年(2023年)11月7日(火) 14時00分～

場 所：つくば市役所 本庁舎2階 会議室 201

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 報告案件

案件1 つくバスの令和6年4月改正について(中間報告)

案件2 令和5年度公共交通政策点検・評価業務について(中間報告)

案件3 つくタク車両を活用したA I オンデマンドシステムの
実証実験事業について

案件4 視覚障害者移動支援実証実験結果について

案件5 令和5年度4月～8月利用実績について
(つくバス・つくタク・つくばね号・路線バス実証実験)

案件6 新高校生(令和5年度入学生)へのバスお試し乗車券配布結果について

案件7 令和4年度広域連携バス利用実績について

案件8 公共交通利用促進活動について

案件9 つくタクの改善策について

4 その他

5 閉 会

■配布資料一覧

令和5年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

令和5年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

資料1 つくバスの令和6年4月改正について（中間報告）

資料2 令和5年度公共交通政策点検・評価業務について（中間報告）

資料3 つくタク車両を活用したA I オンデマンドシステムの
実証実験事業について

資料4 視覚障害者移動支援実証実験結果について

資料5 令和5年度4月～8月利用実績について
（つくバス・つくタク・つくばね号・路線バス実証実験）

資料6 新高校生（令和5年度入学生）へのバスお試し乗車券配布結果について

資料7 令和4年度広域連携バス利用実績について

資料8 公共交通利用促進活動について

資料9 つくタクの改善策について

---参考資料---

参 考 つくば市公共交通活性化協議会規約（現行規約）

令和5年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

令和5年11月7日時点

No	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	筑波大学	システム情報系 社会工学域 教授	岡本 直久	会長
2	茨城県政策企画部交通政策課	課長	寺田 明弘	副会長
3	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整)	國下 裕司	
4	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送担当)	仲野 俊二	
5	茨城県つくば警察署	交通課長	前田 正太郎	
6	茨城県土木部土浦土木事務所	道路管理課長	東ヶ崎 祐二	
7	国土技術政策総合研究所	道路交通研究部道路研究室長	土肥 学	
8	国土技術政策総合研究所	都市研究部都市施設研究室長	新階 寛恭	副会長
9	国立研究開発法人国立環境研究所 社会システム領域	地域計画研究室長	松橋 啓介	
10	一般財団法人つくば都市交通センター	理事	大原 治	監事
11	一般社団法人茨城県バス協会	専務理事	澤畠 政志	
12	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	
13	首都圏新都市鉄道株式会社	経営企画部推進役兼沿線事業課長	大貫 康隆	
14	関東鉄道株式会社	常務取締役	廣瀬 貢司	
15	ジェイアールバス関東株式会社 土浦支店	支店長	色川 広司	
16	株式会社 セキショウキャリアプラス	代表取締役社長	今里 公治	
17	新栄タクシー有限公司	代表取締役	北島 雅仁	
18	つくば市商工会	事務局長	柳田 貢	
19	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	副会長兼常務理事	長 卓良	監事
20	つくば市工業団地企業連絡協議会	副会長	柳川 忠之	
21	一般社団法人つくば観光コンベンション協会	事務局長	貝塚 厚	
22	つくば市PTA連絡協議会	会長	内野 隆之	
23	筑波学園タクシー協同組合	事務局長	鈴木 誠	
24	関東鉄道労働組合	執行委員	谷田部 正利	
25	つくば市都市計画審議会	委員	大澤 貴子	
26	つくば市区会連合会筑波地区	代表区長	鈴木 裕一	
27	つくば市区会連合会大穂地区	代表区長	野澤 洋夫	
28	つくば市区会連合会豊里地区	代表区長	坂本 義治	
29	つくば市区会連合会桜地区	代表区長	一色 喜美子	
30	つくば市区会連合会谷田部地区	代表区長	宮崎 栄二	
31	つくば市区会連合会荳崎地区	代表区長	小原 正彦	
32	つくば市	福祉部長	根本 祥代	
33	つくば市	建設部長	富田 剛	
34	つくば市	都市計画部長	大里 和也	

オブザーバー

No	所 属
1	(一財)計量計画研究所
2	(株)Community Mobility
3	つくば市政策イノベーション部科学技術戦略課

令和5年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

日時： 令和5年(2023年)11月7日(火曜日)

場所： つくば市役所 本庁舎2階 会議室201

傍聴者席		スクリーン	
事務局	つくば観光 コンベンション協会	貝塚 委員	つくば市 社会福祉協議会
	つくば市PTA 連絡協議会	内野 委員	つくば市商工会
	筑波学園タクシー 協同組合	鈴木(誠) 委員	柳田 委員
	関東鉄道 労働組合	谷田部 委員	新栄タクシー(有)
	つくば市都市 計画審議会	大澤 委員	北島 委員 (代理 津野様)
	つくば市区会連合会 筑波地区	鈴木(裕) 委員	㈱セキショウ キャリアプラス
	つくば市区会連合会 大穂地区	野澤 委員	今里 委員 (代理 岡本様)
	つくば市区会連合会 豊里地区	坂本 委員	ジェイアールバス 関東㈱土浦支店
	つくば市区会連合会 桜地区	一色 委員	色川 委員
	つくば市区会連合会 谷田部地区	宮崎 委員	関東鉄道㈱
	つくば市区会連合会 荃崎地区	小原 委員	廣瀬 委員
	つくば市	根本 委員	首都圏新都市 鉄道㈱
	つくば市	富田 委員	大貫 委員
	つくば市	大里 委員	一般社団法人 茨城県バス協会
			澤島 委員
			つくば都市交通 センター
			大原 委員
			国立環境研究所
随行者席		筑波大学	松橋 委員
		岡本 委員	国土技術政策 総合研究所
			新階 委員
			茨城県 つくば警察署
出入口	出入口		前田 委員
	受付		茨城運輸支局
出入口			仲野 委員 (代理 玉村様)
			茨城運輸支局
			國下 委員
		茨城県政策企画部 交通政策課	
		寺田 委員 (代理 山浦様)	

つくバスの令和6年4月改正について (中間報告)

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

改正の経緯① 改善基準告示の改正

※ 令和5年度第1回協議会(6月19日)報告案件4で報告済

● 令和6年4月からバス運転士の改善基準告示(※)が改正

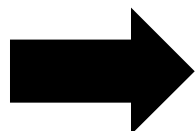
※バス運転士の労働時間等に関する基準

①1年の拘束時間の短縮

(改正前)

原則:3,380時間

最大:3,484時間



(改正後)

原則:3,300時間

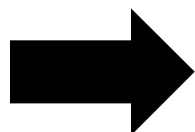
最大:3,400時間

②1か月の拘束時間の短縮

(改正前)

原則:281時間

最大:309時間



(改正後)

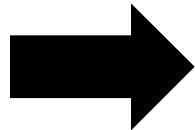
原則:281時間

最大:294時間

③1日の休息期間の確保

(改正前)

継続8時間



(改正後)

継続11時間を基本とし、継続9時間

拘束時間:労働時間(運転・整備・客待ち)+休憩時間(仮眠時間を含む)

休息期間:勤務と次の勤務の間の時間

改正の経緯② バス運転士不足

- バスの運転士不足は全国的に深刻化しており、全国各地でバス路線の廃止や減便が相次いでいる。
- つくバスを運行する関東鉄道(株)においても運転士不足は深刻な問題であり、運転士不足対策として、「マスタードライバー制度(※1)や「大型2種免許取得支援制度」(※2)を実施している状況
- 運転士不足の中、改正後の改善基準告示を順守した時刻表を編成するためには、減便などは避けられない状況
→つくバスは、関東鉄道(株)が運行するコミュニティバスで最も車両台数が多い(27台)ため、その影響を大きく受ける。

※1 安全運転及び高い水準のサービスを提供している運転士を「マスタードライバー」として任命(給与面で優遇)

※2 大型2種免許を取得していない方で採用結果が基準に達した者を対象に免許取得費用を関東鉄道(株)が負担(入社後5年間勤務すると返済が免除)

改正案の概要(全体)

- つくバスの運転士が平日**7人減**、土日祝日**18人減**
- 総便数が平日**44便減**(13.9%減)、土日祝日**104便減**(32.8%減)
- 通勤や通学のための朝便と夜便を優先し、平日の日中便及び土日祝日便を減便することで対応(土日祝日ダイヤの作成)

路線名	運転士の人数/日			便数/日		
	改正前	改正後		改正前	改正後	
	平日・土日祝日 共通	平日	土日 祝日	平日・土日祝日 共通	平日	土日 祝日
つくバス(10シャトル計)	53人	46人	35人	317便	273便	213便

改正案の概要(各シャトル別)

1 北部シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 筑波山口→つくばセンター	8人 (1人減)	7人 (2人減)	25便 (4便減)	21便 (8便減)	5:55発 (現5:55発)	5:55発 (現5:55発)	21:10発 (現21:25発)	21:10発 (現21:25発)
(下り) つくばセンター→筑波山口			24便 (4便減)	20便 (8便減)	7:00発 (現7:00発)	7:10発 (現7:00発)	22:15発 (現22:30発)	22:15発 (現22:30発)

2 小田シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 筑波交流センター →つくばセンター	4人 (2人減)	3人 (3人減)	11便 (4便減)	8便 (7便減)	5:55発 (現5:55発)	5:55発 (現5:55発)	19:45発 (現20:40発)	17:40発 (現20:40発)
(下り) つくばセンター →筑波交流センター			11便 (4便減)	8便 (7便減)	7:10発 (現7:10発)	7:10発 (現7:10発)	21:00発 (現21:55発)	19:05発 (現21:55発)

※平日で間隔が空く時間帯

上り:6:35発の次便が8:25発、11:45発の次便が14:30発、17:10発の次便が19:00発

下り:7:45発の次便が10:20発、13:45発の次便が16:25発、18:30発の次便が20:15発

3 作岡シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 寺具→研究学園駅	5人 (1人減)	3人 (3人減)	14便 (3便減)	11便 (6便減)	6:25発 (現6:25発)	6:25発 (現6:25発)	19:45発 (現19:55発)	18:45発 (現19:55発)
(下り) 研究学園駅→寺具			14便 (3便減)	11便 (6便減)	7:30発 (現7:25発)	7:30発 (現7:25発)	21:00発 (現21:10発)	19:55発 (現21:10発)

※平日で間隔が空く時間帯
上り:10:20発の次便が12:00発 下り:11:45発の次便が13:15発

4 吉沼シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) とよさと病院→研究学園駅	4人 (変更なし)	3人 (1人減)	10便 (1便減)	8便 (3便減)	6:20発 (現6:20発)	6:20発 (現6:20発)	19:00発 (現19:30発)	17:00発 (現19:30発)
(下り) 研究学園駅→とよさと病院			10便 (1便減)	8便 (3便減)	7:35発 (現7:30発)	7:35発 (現7:30発)	20:15発 (現20:40発)	18:15発 (現20:40発)

※平日で間隔が空く時間帯
上り:17:10発の次便が19:00発 下り:18:25発の次便が20:15発

5 上郷シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日 祝日	平日	土日 祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) とよさと病院 →つくばセンター	4人 (変更なし)	3人 (1人減)	10便 (2便減)	9便 (3便減)	6:15発 (現6:20発)	6:45発 (現6:20発)	19:30発 (現20:15発)	17:45発 (現20:15発)
(下り) つくばセンター →とよさと病院			10便 (2便減)	9便 (3便減)	7:30発 (現7:30発)	8:05発 (現7:30発)	21:00発 (現21:20発)	19:05発 (現21:20発)

※平日で間隔が空く時間帯

上り:11:30発の次便が14:05発、17:40発の次便が19:30発

下り:12:50発の次便が15:25発、19:05発の次便が21:00発

6 西部シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日 祝日	平日	土日 祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) とよさと病院→みどりの駅	3人 (変更なし)	2人 (1人減)	9便 (2便減)	5便 (6便減)	6:20発 (現6:20発)	7:40発 (現6:20発)	19:55発 (現19:55発)	16:30発 (現19:55発)
(下り) みどりの駅→とよさと病院			8便 (1便減)	5便 (4便減)	6:55発 (現6:55発)	8:30発 (現6:55発)	18:25発 (現18:25発)	18:05発 (現18:25発)

※平日で間隔が空く時間帯

上り:16:45発の次便が19:55発

下り:6:55発の次便が9:50発

7 南部シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 荃崎窓口センター →つくばセンター	7人 (1人減)	6人 (2人減)	26便 (3便減)	19便 (10便減)	6:05発 (現6:05発)	6:05発 (現6:05発)	21:10発 (現21:10発)	21:10発 (現21:10発)
(下り) つくばセンター →荃崎窓口センター			26便 (3便減)	19便 (10便減)	7:10発 (現7:10発)	7:10発 (現7:10発)	22:15発 (現22:15発)	22:15発 (現22:15発)

※「高崎中学校」停留所追加予定(「高崎中央」と「菅間」の間)

8 谷田部シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 谷田部窓口センター →研究学園駅	5人 (1人減)	4人 (2人減)	14便 (1便減)	10便 (5便減)	5:55発 (現6:10発)	7:00発 (現6:10発)	19:55発 (現20:15発)	18:00発 (現20:15発)
(下り) 研究学園駅 →谷田部窓口センター			13便 (2便減)	12便 (3便減)	6:45発 (現6:45発)	6:45発 (現6:45発)	20:00発 (現20:50発)	19:30発 (現20:50発)

※平日で間隔が空く時間帯

上り:18:30発の次便が19:55発 下り:18:25発の次便が20:00発

9 自由ヶ丘シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日 祝日	平日	土日 祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 富士見台→みどりの駅	3人 (1人減)	2人 (2人減)	9便 (1便減)	7便 (3便減)	6:05発 (現6:05発)	6:30発 (現6:05発)	18:10発 (現19:20発)	17:45発 (現19:20発)
(下り) みどりの駅→富士見台			9便 (1便減)	7便 (3便減)	7:35発 (現7:50発)	8:05発 (現7:50発)	19:40発 (現20:45発)	19:05発 (現20:45発)

※「荳崎高校北」停留所追加予定(「梅ヶ丘団地」と「駒込」の間)

10 荳崎シャトル

運行区間	運転士の人数		便数		始発便		最終便	
	平日	土日 祝日	平日	土日 祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
(上り) 富士見台→牛久駅西口	3人 (変更なし)	2人 (1人減)	10便 (1便減)	8便 (3便減)	6:25発 (現6:25発)	6:25発 (現6:25発)	18:00発 (現18:30発)	16:40発 (現18:30発)
(下り) 牛久駅西口→富士見台			10便 (1便減)	8便 (3便減)	7:35発 (現7:35発)	7:35発 (現7:35発)	19:00発 (現19:35発)	18:10発 (現19:35発)

今後の進め方

- 本日御意見いただいた内容などを踏まえ、次回協議会(第3回)で改めて審議し、令和6年4月ダイヤを確定(※)する。

※つくばエクスプレスやJR常磐線のダイヤ改正の有無によって、
確定後に変更の可能性あり

令和5年度公共交通政策点検・評価業務について (中間報告)

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

目次

1. 現時点の検討内容の報告

(1)今年度の業務フローと主な検討内容

(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

①調査概要

②調査内容

③回収状況

④今後の予定

(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

①検討スケジュール

②検討状況

2. 本業務の検討方針等に関する確認事項



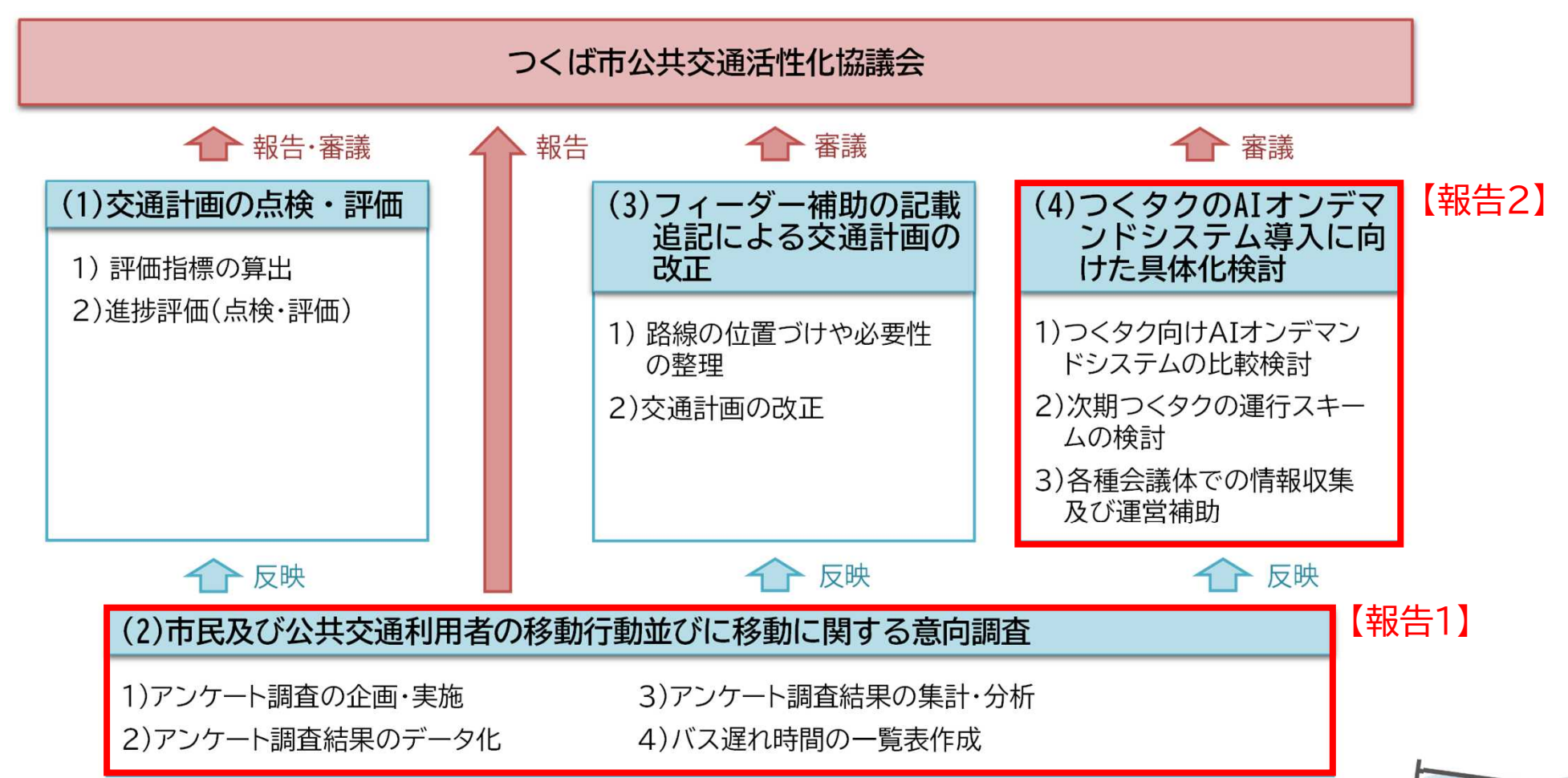
1. 現時点の検討内容の報告

- (1)今年度の業務フローと主な検討内容
- (2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査
- (3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討



(1)今年度の業務フローと主な検討内容

○今年度は、つくば市地域公共交通計画(R3.3策定)で定めた「**評価指標の進捗評価**」のほか、つくば市及びつくば市に乗り入れる隣接自治体のコミュニティバス路線の「**フィーダー補助の追記による交通計画の改正**」と、令和7年度につくたくにAIオンデマンドシステムを導入することを目指したつくたくに最適な「**AIオンデマンドシステムやそれに合わせた運用スキームの検討**」を行う。



(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

①調査概要

○交通計画の評価指標の進捗評価や、市民の移動行動及び交通政策に対する意向などを把握することを目的に、
市内居住者を対象としたアンケート調査を実施した。

▼実施時期

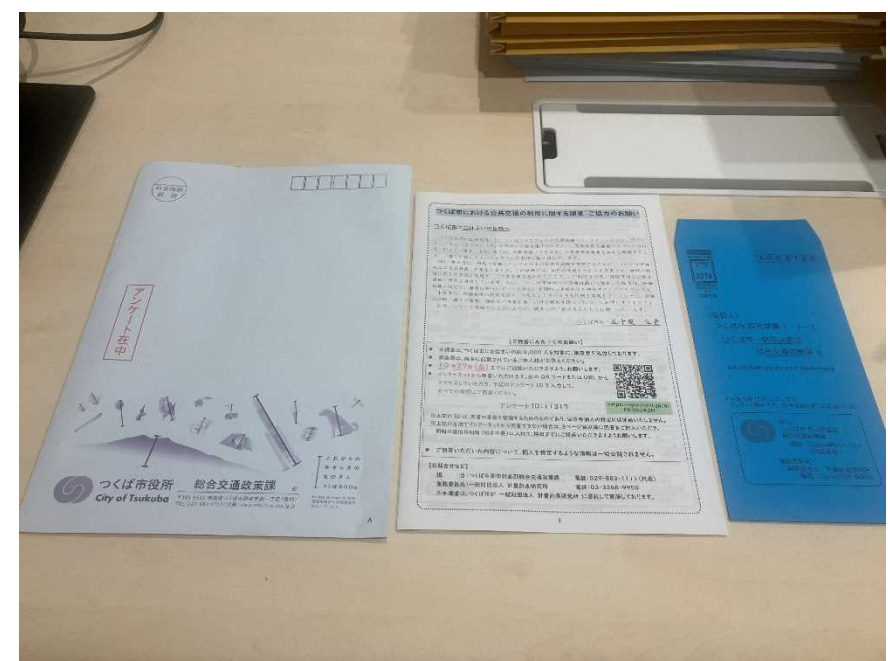
- ・発 送：令和5年10月11日(水)
- ・回答期限：令和5年10月27日(金)

▼対象者

- ・3,000人(市内居住者の18-84歳から選定)

▼調査方法

- ・郵送配布
 - ・郵送またはWeb回収
- (対象者が紙の調査票かWeb回答かを選択する手法)



配布した調査物件一式

※このほか、運転免許返納者やタクシー運賃助成受給者を対象としたアンケートも併せて実施



(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

②調査内容

調査対象者自身について	・性別、年齢階層、居住地(町字)、職業、勤務先・通学先、テレワーク等の実施状況、世帯構成、運転免許の保有状況、日常的に利用する交通手段、など
新型コロナウイルス感染症による公共交通利用の変化について	・鉄道、バス、タクシーなどの手段ごとの変化 ・鉄道、バス、タクシーなどの手段ごとの今後の利用意向
日常の外出について	・通勤通学、買物、通院の各目的ごとの 外出頻度、主な目的地、出発時間帯、利用交通手段、所要時間
路線バスの利用状況について	・利用頻度、改善点、現状の満足度、利用の際に重視すること
つくバスの利用状況について	・利用頻度、改善点、現状の満足度、利用の際に重視すること
つくタクの利用状況について	・認知度、利用頻度、改善点、現状の満足度、利用の際に重視すること
タクシーの利用状況について	・利用頻度、改善点、高齢者タクシー運賃助成事業の認知度
市の公共交通について	・満足度、公共交通サービスの継続に向けて協力できること、つくタクの継続に向けた運賃支払い意思額



(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

③回収状況(11/1時点)

○調査対象者3,000人にアンケート調査を実施し、11/1(水)時点で**1,121件(37.4%)**回収した。
 ○回答のうち、**約半数(51.3%)**が**Web回答**で行われている。

※昨年度調査と比較すると、同程度の回収数を得ている。また、Web比率は高まっている。

	配布数	回収数(11/1時点)			回収率	Web比率
			郵送	Web		
今年度	3,000	1,121	546	575	37.4%	51.3%
昨年度	3,000	1,112	628	484	37.1%	43.5%



(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

④今後の予定

- 回収したアンケート調査をデータ化した上で、クリーニング等を行い、**集計・分析を行う**。
- 集計・分析した結果を第3回協議会にて報告する予定

▼集計・分析

- ・調査項目ごとの基礎集計
- ・調査項目を組合わせたクロス集計(属性×意向など)

▼調査結果の活用先

- ・交通計画の点検評価(評価指標の一部にアンケート結果を活用)
- ・市民の移動行動及び交通政策に対する意向を踏まえた問題課題の整理
- ・つくたくの運用スキームの検討



(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

①検討スケジュール

- 令和4年度の第3回協議会(R5.2.20)にて、令和7年度からのつくたくのAIオンデマンドシステムの導入方針を示し、審議を行った。
- 今年度は、令和7年度からのつくたくへのAIオンデマンドシステムの導入に向け、次期つくたくの「**運用スキーム**」や「次期つくたくに**最適なAIオンデマンドシステムの機能要件**」を検討する。

最終目標を見据えたロードマップ

- ・R5～6については、既存のつくたく契約の中でマイナーチェンジによる利便性向上・効率化の実現を目指す。
- ・R7以降は、スーパーシティと連携したモビリティ施策を想定し、AIオンデマンドシステムの導入、持続可能な運用スキーム見直し等を進める。



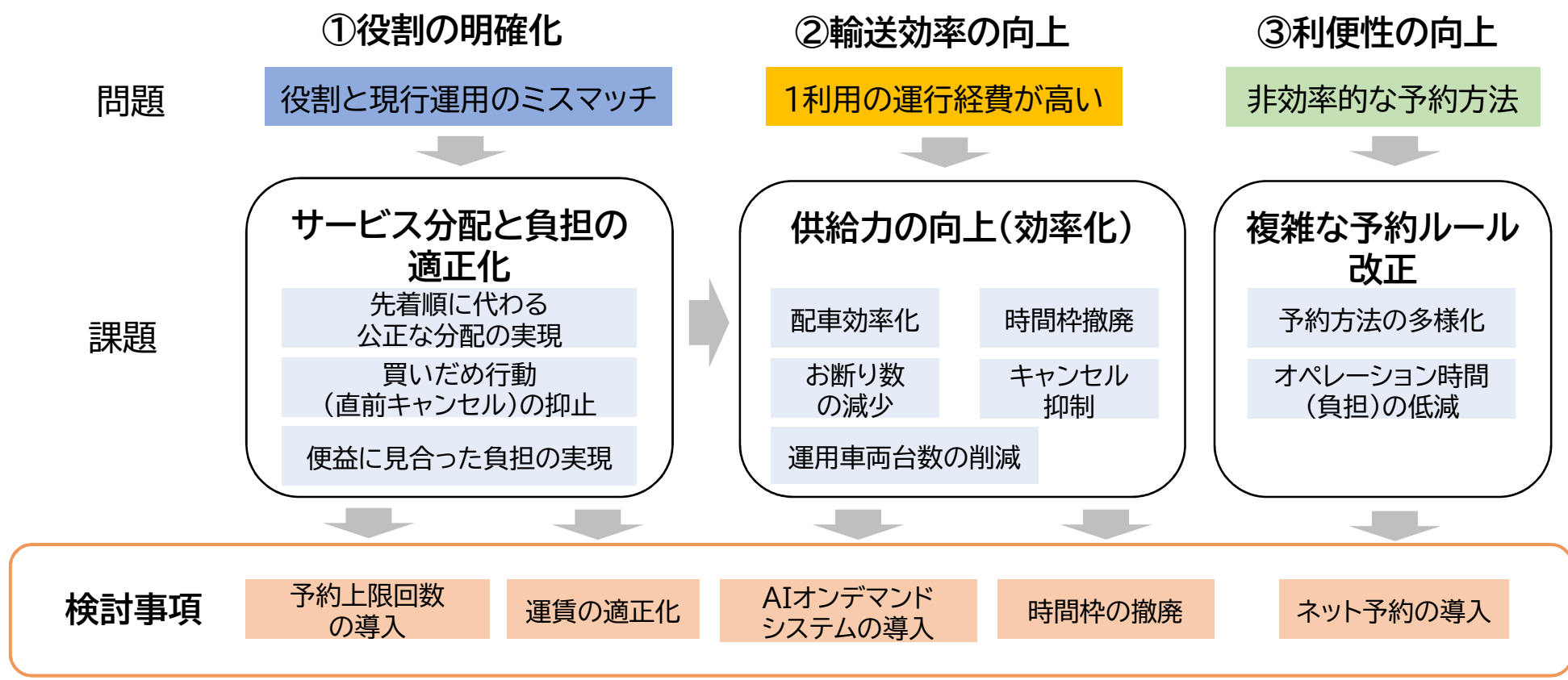
36

出典：令和4年度第3回協議会資料

(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

②検討状況(運用スキームの検討)

○次期つくたくの運用スキームの検討に向けて、3つの視点(①役割の明確化、②輸送効率の向上、③利便性の向上)から現状の問題・課題を再整理した上で、5つの検討事項を抽出した。
○この5つの検討事項を踏まえ、運用スキームに関する具体的な検討を行う。



(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

②検討状況(運用スキームの検討)

●役割の明確化

予約上限回数
の導入

利用機会を分配し、広く移動機会を提供
⇒令和5年11月より1週間の**予約上限を4回まで**とする予約方法を導入

運賃の適正化

新たに導入するAIオンデマンドシステムやネット予約システムのコスト、またつくたくの継続性などの観点を踏まえて**運賃の適正化**を検討

●輸送効率の向上

AIオンデマンド
システムの導入

つくたくの輸送効率の向上のためのAIオンデマンドシステムの導入に向けて、次期つくたくに**最適なAIオンデマンドシステムの機能要件**を検討

時間枠の撤廃

AIオンデマンドシステムの導入と合わせて、輸送効率の向上だけでなく、柔軟な出発・到着時間の設定が可能となるよう、**時間枠の撤廃**を検討

●利便性の向上

ネット予約の導入

利用者の利便性の向上に向けて、現状の電話予約に加え、24時間いつでも予約可能な**ネット予約の導入**を検討



(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

②検討状況(運用スキームの検討)

●”運賃の適正化”に向けた検討

- つくたくの運賃は、同一地区内へは300円、共通ポイントへは1,300円となっており、R4年度の利用者1人1回あたりの平均運賃収入は約140円/人回(高齢者の利用が多く、高齢者割引が多く適用されているため)
- これに対し、周辺市のデマンド交通の運賃は、250-800円(割引前の正規運賃)。
- 実施中のアンケート調査で設けている運賃支払い額の結果や周辺市の運賃設定なども参考に、運賃の適正化に向けた検討を行う。

周辺市のデマンド交通の利用運賃(正規運賃)

市	運賃(円/回)	備考
A市	600	
B市	700	
C市	300-800	距離帯により異なる
D市	500	
E市	250	
F市	300	
G市	300	
I市	500	

市内居住者向けアンケートの設問の一部

問 3-5-3 今後も公共交通サービスを継続していくためには、市負担額の軽減を積極的に図る必要があります。このうち、つくたくに関しては、令和4年度の1人当たりの運賃支払平均額は約140円です。また、利用者1人1回あたり市負担額は約3,000円であり、1回あたり3,000円程度を市がタクシー利用補助をしていることと同様の意味合いとなっています。
つくたくをこれからも継続するためには運賃収入の改善が急務ですが、あなたが許容できる運賃支払額(地区内利用の場合、実際に支払う額)を教えてください。

1. 300円まで(現在の運賃体系と同じ)
2. 500円まで(一般タクシーの初乗り運賃と同じ)
3. 700円まで
4. 900円まで
5. 900円以上でも構わない
6. その他 []



(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

②検討状況(AIオンデマンドシステムの検討)

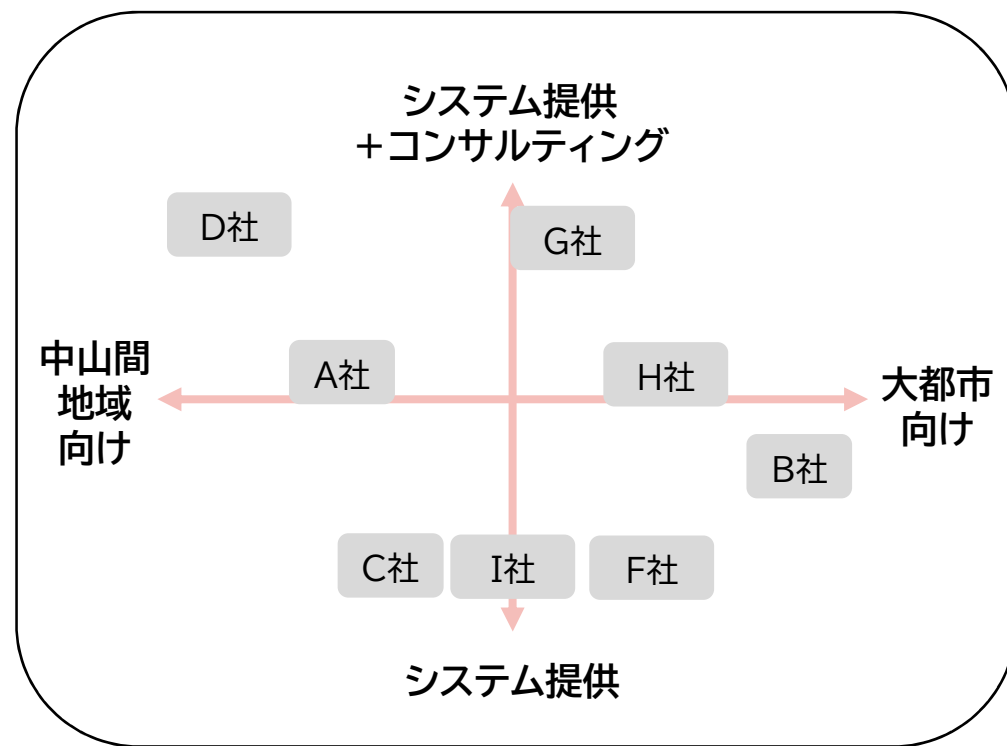
- 運行スキームの検討と合わせて、次期つくたくに適したAIオンデマンドシステムの機能要件(●●に対して▲▲ができること、など)を検討
- そのため、まず、最新の動向を調査、確認することを目的に、AIオンデマンドシステムを提供中の事業者の中から**10社にヒアリングを実施し**、内容を整理した。

▼ヒアリング内容

- ・ 提供しているのシステム形態と機能
- ・ 導入実績
- ・ 得意とする地域、運営形態 など

▼システム事業者の分類

- ・ AIオンデマンドシステムは、全国各地、都市部から中山間地域まで様々な地域で導入されている。
- ・ 大きく分類すると、大都市向け／中山間地域向けに分けることができ、それぞれのシステムごとに配車のコンセプトや機能が異なる。
- ・ また、システムのみ提供か、コンサルティングも含めての提供か、も異なり、サービスの提供状況も整理した。



システム事業者の分類

(3)つくたくのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討

②検討状況(AIオンデマンドシステムの検討)

- 現状のつくたくのサービス内容を踏まえ、各社のAIオンデマンドシステムが現状でどこまで対応できるかを整理した。
- この結果を踏まえ、次期つくたくに適したAIオンデマンドシステムの機能要件(●●に対して▲▲ ができること、など)を検討する。

	ウェブ 予約	電話 予約	相乗り※1	自宅登録	エリア 分割	共通・特例 ポイント	API連携※2	備考
A社	○	○	定時性重視	○	-	-	-	
B社	○	○	相乗り率重視	○	○	○	○	
C社	△	○	相乗り率重視	○	△	△	×	
D社	○	○	相乗り率重視	×	○	○	△	
E社	検討中							システム設計中
F社	○	○	パラメータ次第	○	○	○	○	
G社	○	○	パラメータ次第	△	○	○	-	
H社	○	○	パラメータ次第	△	○	○	○	
I社	○	○	パラメータ次第	○	×	×	○	
J社	○	○	パラメータ次第	△	×	×	×	システム設計中

※1：相乗り
 ・定時性重視→利用者の出発到着時間は正確になる一方、相乗りが減少。
 ・相乗り重視→相乗り率が高まり利用者が増える一方、定時性が低下する。

※2：API連携
 ・MaaSを見据えた、他サービスとの連携が可能かどうか



2. 本業務の検討方針等に関する確認事項



本業務の検討方針等に関する確認事項

①アンケート調査について

- ・集計分析の際の視点、留意事項 など(別紙参照)

②次期つくたくの運用スキーム検討について

- ・5つの検討事項に関して考慮すべき点
- ・5つの検討事項のほかに検討すべき事項の有無 など(P9, 10参照)

③次期つくたくのAIオンデマンドシステムの検討について

- ・AIオンデマンドシステムの機能として期待すること
- ・AIオンデマンドシステムの機能要件整理の際に留意すべきこと など
(P11~13参照)



つくば市における公共交通の利用に関する調査 調査票

別紙

1 ページ目に掲載しているインターネット上の調査ページにアクセスできない場合は、こちらにご記入いただき、同封している返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。

※インターネット上でご回答いただいた場合は、調査票を返送いただく必要はありません。

※アンケート ID を記載している表紙は切り外さず、冊子のまま返送をお願いします。

なお、調査票では、特に指定がない限り、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

問 1 「あなた自身のこと」について伺います。

問 1-1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性 3. 無回答

問 1-2 あなたの年齢をお答えください。

1. 19 歳以下 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50～59 歳
6. 60～64 歳 7. 65～69 歳 8. 70～74 歳 9. 75～79 歳 10. 80 歳以上

問 1-3 あなたのお住まいをお答えください。（町名までのご記入で結構です。）

茨城県つくば市 []

※記入例）茨城県 つくば市 研究学園

問 1-4 あなたの職業をお答えください。

1. 有職者（正社員・正職員） 2. 有職者（派遣・契約・パート・アルバイト）
3. 有職者（自営業・役員・その他） 4. 学生 5. 主婦・主夫
6. 無職 7. その他 []

問 1-4 で 5. または 6. を選んだ方は問 1-7 へお進みください。

問 1-5 あなたの勤務先、通学先をお答えください。（町名までのご記入で結構です。）

[] 都道府県 [] 市区町村 []

※記入例）茨城県 つくば市 研究学園

問 1-6 あなたの現在のテレワーク、リモート授業の実施状況をお答えください。

1. （ 週 ・ 月 ）に [] 日 2. なし

問 1-7 あなたの世帯構成をお答えください。

1. 単身 2. 夫婦 3. 親子 4. 3 世代 5. その他 []

問 1-8 あなたが保有している運転免許はどれですか。（複数回答可）

1. 自動車 2. 自動二輪 3. 原動機付き自転車
4. 免許を返納した 5. 免許なし 6. その他 []

問 1-9 (問 1-8 で 1. と回答した方はお答えください。)

⇒ 問 1-11 ^

問 1-10 免許返納したことによる行動変化について、あてはまるものをお答えください。(複数回答可)

- 問 1-11** あなたが日常的に利用する交通手段はどれですか。(複数回答可)

- 問 1-12** あなたの外出に関する移動の困難の程度をお答えください。

- 問 1-13** あなたは、日常的に公共交通の定期券を利用していますか。

- 問 1-14** あなたは、ご家族やご近所の方の送迎を行っていますか。あてはまるものをお答えください。
(複数回答可)

- 問 1-15** あなたは、日常生活の中で、自身で、スマートフォンやタブレットを活用して、ネット予約をしたことがありますか。（例：旅行の予約、鉄道やバス等交通手段の予約など）

- 2

問 1-16 新型コロナウイルス感染症の影響による、公共交通の利用の変化について伺います。

問 1-16-1 新型コロナウイルス感染症拡大前（2019 年 10 月頃）と比べて、現在の交通手段ごとの利用頻度はどうになりましたか。それぞれの交通手段毎にお答えください。

	1. 減った	2. 増えた	3. 変わらない	4. 新型コロナウイルス感染症 以外の影響で変わった	5. 元からこの交通手段を 利用しない
①鉄道を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
②路線バス・つくバスを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
③タクシーを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
④自家用車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑤自転車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑥徒歩での外出	1.	2.	3.	4.	5.

問 1-16-2 今後の各交通手段の利用意向についてお答えください（現在と比較して）。

	1. 利用を減らしたい	2. やや利用を減らしたい	3. どちらでもない	4. やや利用を増やしたい	5. 利用を増やしたい
①鉄道を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
②路線バス・つくバスを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
③タクシーを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
④自家用車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑤自転車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑥徒歩での外出	1.	2.	3.	4.	5.

⇒次頁の **問2**へ

問 2 「あなたの日常の外出」について伺います。

●それぞれの目的での外出について回答してください。

問 2-1 通勤・通学目的で外出する場合についてお答えください。

問 2-1-1 外出頻度はどのくらいですか。

1. (週 ・ 月) に [] 日程度 2. なし ⇒2.を選んだ方は **問 2-2**へ

問 2-1-2 主な目的地はどこですか。

1. 勤務先の会社・事務所・官公庁等 2. 勤務先の商業・医療・文化施設等
3. 農林業作業地・工場・現場 4. 学校・保育施設 5. その他 []

問 2-1-3 その目的地へ出発する時間帯はいつですか。

1. (平日 ・ 休日) の (午前 ・ 午後) [] 時台 2. 決まっていない

問 2-1-4 その目的地への利用交通手段は何ですか。※利用した手段を全てお答えください。(複数回答可)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 鉄道 5. 路線バス 6. 路線バス (実証実験※)
7. つくバス 8. つくタク 9. つくばね号 10. タクシー 11. 福祉有償運送
12. 自家用車 (運転) 13. 自家用車 (送迎) 14. カーシェアリング 15. つくチャリ
16. その他 []

※松代南循環、石下土浦線

問 2-1-5 自宅からその目的地への所要時間はどのくらいですか。

[] 分

問 2-2 食料品・日用消耗品の買物目的で外出する場合についてお答えください。

問 2-2-1 外出頻度はどのくらいですか。

1. (週 ・ 月) に [] 日程度 2. なし ⇒2.を選んだ方は **問 2-3**へ

問 2-2-2 主な目的地はどこですか。

1. スーパー・コンビニ・ドラッグストア 2. ショッピングセンター (イーアス・イオンモールなど)
3. 個人商店 4. その他 []

※ショッピングセンター内にあるスーパーやドラッグストアは 2. とお答えください。

問 2-2-3 その目的地へ出発する時間帯はいつですか。

1. (平日 ・ 休日) の (午前 ・ 午後) [] 時台 2. 決まっていない

問 2-2-4 その目的地への利用交通手段は何ですか。※利用した手段を全てお答えください。(複数回答可)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 鉄道 5. 路線バス 6. 路線バス (実証実験※)
7. つくバス 8. つくタク 9. つくばね号 10. タクシー 11. 福祉有償運送
12. 自家用車 (運転) 13. 自家用車 (送迎) 14. カーシェアリング 15. つくチャリ
16. その他 []

※松代南循環、石下土浦線

問 2-2-5 自宅からその目的地への所要時間はどのくらいですか。

[] 分

問 2-3 その他の買い物（衣類・書籍・趣味の用品など） 目的で外出する場合についてお答えください。

問 2-3-1 外出頻度はどのくらいですか。

1. （ 週 ・ 月 ）に [] 日程度 2. なし ⇒2.を選んだ方は **問 2-4** へ

問 2-3-2 主な目的地はどこですか。

1. ショッピングセンター（イーアス・イオンモールなど） 2. つくば駅前の商業施設
3. 独立した路面店 4. その他 []

問 2-3-3 その目的地へ出発する時間帯はいつですか。

1. （ 平日 ・ 休日 ）の（ 午前 ・ 午後 ） [] 時台 2. 決まっていない

問 2-3-4 その目的地への利用交通手段は何ですか。※利用した手段を全てお答えください。（複数回答可）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 鉄道 5. 路線バス 6. 路線バス（実証実験※）
7. つくバス 8. つくタク 9. つくばね号 10. タクシー 11. 福祉有償運送
12. 自家用車（運転） 13. 自家用車（送迎） 14. カーシェアリング 15. つくチャリ
16. その他 []

※松代南循環、石下土浦線

問 2-3-5 自宅からその目的地への所要時間はどのくらいですか。

[] 分

問 2-4 通院目的で外出する場合についてお答えください。

問 2-4-1 外出頻度はどのくらいですか。

1. （ 週 ・ 月 ）に [] 日程度 2. なし ⇒2.を選んだ方は **問 3** へ

問 2-4-2 主な目的地はどこですか。

1. 総合病院 2. 個人の医院・クリニック 3. その他 []

問 2-4-3 その目的地へ出発する時間帯はいつですか。

1. （ 平日 ・ 休日 ）の（ 午前 ・ 午後 ） [] 時台 2. 決まっていない

問 2-4-4 その目的地への利用交通手段は何ですか。※利用した手段を全てお答えください。（複数回答可）

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 鉄道 5. 路線バス 6. 路線バス（実証実験※）
7. つくバス 8. つくタク 9. つくばね号 10. タクシー 11. 福祉有償運送
12. 自家用車（運転） 13. 自家用車（送迎） 14. カーシェアリング 15. つくチャリ
16. その他 []

※松代南循環、石下土浦線

問 2-4-5 自宅からその目的地への所要時間はどのくらいですか。

[] 分

問 3 つくば市の公共交通等（路線バス、つくバス、つくタク、タクシー）について伺います。

● “路線バス” の利用状況について伺います。

問 3-1-1 路線バスの利用頻度は、1 週間あたりどの程度ですか。

- | | | | |
|---------------------------|------------------------|----------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 平日 3～4 日程度 | 3. 休日を含む 3～4 日 | 4. 平日 1～2 日程度 |
| 5. 休日のみ 1～2 日 | 6. それ以下（1 か月に 1～2 日程度） | 7. ごくまれに | |
| 8. 今は利用していない、または利用したことがない | | | |

問 3-1-2 路線バスを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由として、あてはまるものを全てお答えください。（複数回答可）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない |
| 2. 自宅から停留所が遠い |
| 3. 停留所から目的地が遠い |
| 4. 目的地に行くことができない |
| 5. 利用したい時間帯に運行していない |
| 6. 運行本数が少ない |
| 7. 時間が不正確 |
| 8. 他の交通機関との乗継ぎが悪い |
| 9. 家族や友人など複数人で移動する場合に運賃がかさむ |
| 10. 荷物が多い、または大きい（ベビーカーなど）ため乗り降りが大変 |
| 11. バスの運行状況や現在の位置情報がわからない |
| 12. 他の交通手段を使うため利用の必要がない |
| 13. その他 [] |

問 3-1-1 で 1.～7.を選んだ方は以下の問にお答えください。8.を選んだ方は問 3-2-1 へお進みください。

問 3-1-3 路線バスを利用している方にお伺いします。

以下の満足度合を例にそれぞれの項目についてお答えください。

満足度合の例：	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②運行本数	1.	2.	3.	4.	5.
③目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
④時間通りの運行	1.	2.	3.	4.	5.
⑤停留所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
⑥停留所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑦運賃設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑧バス車内の混雑度	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度合	1.	2.	3.	4.	5.

問 3-1-4 路線バスを利用するときに、最も重視するものはどれですか。

- | | | | |
|-------------|------------|----------------|-------------|
| 1. 運行時間帯 | 2. 運行本数 | 3. 目的地に早く着けること | 4. 時間通りの運行 |
| 5. 停留所までの距離 | 6. 停留所の設置数 | 7. 運賃設定 | 8. バス車内の混雑度 |

● “つくバス”の利用状況について伺います。

問3-2-1 つくバスの利用頻度は、1週間あたりどの程度ですか。また、利用されるのはどの路線ですか。

利用頻度				
1. ほぼ毎日	2. 平日 3～4 日程度	3. 休日を含む 3～4 日	4. 平日 1～2 日程度	
5. 休日のみ 1～2 日	6. それ以下（1 か月に 1～2 日程度）		7. ごくまれに	
8. 今は利用していない、または利用したことがない				
バス路線（複数回答可）				
1. 北部シャトル	2. 小田シャトル	3. 作岡シャトル	4. 吉沼シャトル	5. 上郷シャトル
6. 西部シャトル	7. 南部シャトル	8. 谷田部シャトル	9. 自由ヶ丘シャトル	10. 茎崎シャトル

問3-2-2 つくバスを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由として、あてはまるものを全てお答えください。（複数回答可）

1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない 2. 自宅から停留所が遠い 3. 停留所から目的地が遠い 4. 目的地に行くことができない 5. 利用したい時間帯に運行していない 6. 運行本数が少ない 7. 時間が不正確 8. 他の交通機関との乗継ぎが悪い 9. 家族や友人など複数人で移動する場合に運賃がかさむ 10. 荷物が多い、または大きい（ベビーカーなど）ため乗り降りが大変 11. 他の交通手段を使うため利用の必要がない 12. その他 []

問3-2-1の利用頻度で 1.～7.を選んだ方は以下の問にお答えください。8.を選んだ方は問3-3-1へお進みください。

問3-2-3 つくバスを利用している方にお伺いします。

以下の満足度合を例にそれぞれの項目についてお答えください。

満足度合の例：	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②運行本数	1.	2.	3.	4.	5.
③目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
④時間通りの運行	1.	2.	3.	4.	5.
⑤停留所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
⑥停留所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑦運賃設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑧バス車内の混雑度	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度合	1.	2.	3.	4.	5.

問3-2-4 つくバスを利用するときに、最も重視するものはどれですか。

- | | | | |
|-------------|------------|----------------|-------------|
| 1. 運行時間帯 | 2. 運行本数 | 3. 目的地に早く着けること | 4. 時間通りの運行 |
| 5. 停留所までの距離 | 6. 停留所の設置数 | 7. 運賃設定 | 8. バス車内の混雑度 |

● “つくタク” の利用状況について伺います。

問3-3-1 つくタクを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問3-3-2 つくタクの利用頻度は、1週間あたりどの程度ですか。

- | | | | |
|----------|---------------------------|-----------|---------------------|
| 1. 5日 | 2. 3～4日程度 | 3. 1～2日程度 | 4. それ以下（1か月に1～2日程度） |
| 5. ごくまれに | 6. 今は利用していない、または利用したことがない | | |

問3-3-3 つくタクを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由として、あてはまるものを全てお答えください。（複数回答可）

- | |
|-------------------------|
| 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない |
| 2. 自宅から乗車場所が遠い |
| 3. 降車場所から目的地が遠い |
| 4. 目的地に行くことができない |
| 5. 利用したい時間帯に運行していない |
| 6. 乗車場所につくタクが到着する時間が不正確 |
| 7. 目的地に到着する時間が不正確 |
| 8. 他の交通機関との乗継ぎが大変 |
| 9. 電話予約が面倒 |
| 10. 予約が取れないことが多い |
| 11. ICカードが使えない |
| 12. 乗合で乗車することに抵抗がある |
| 13. 他の交通手段を使うため利用の必要がない |
| 14. その他 [] |

問3-3-2で1.～5.を選んだ方は次項**問3-3-4**にお答えください。6.を選んだ方は**問3-4-1**へお進みください。

問 3-3-4 つくタクを利用している方にお伺いします。

以下の満足度合を例にそれぞれの項目についてお答えください。

満足度合の例：	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
③乗降場所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
④乗降場所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑤運賃設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑥予約の取りやすさ	1.	2.	3.	4.	5.
⑦予約方法	1.	2.	3.	4.	5.
⑧決済方法（現金、利用券のみであること）	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度合	1.	2.	3.	4.	5.

問3-3-5 つくたくを利用するときに、最も重視するものはどれですか。

1. 運行時間帯 2. 目的地に早く着けること 3. 乗降場所までの距離 4. 乗降場所の設置数
5. 運賃設定 6. 予約の取りやすさ 7. 予約方法 8. 決済方法（現金、利用券のみであること）

“タクシー”の利用状況について伺います。

問3-4-1 タクシーの利用頻度は、1週間あたりどの程度ですか。

1. ほぼ毎日 2. 平日 3～4 日程度 3. 休日を含む 3～4 日 4. 平日 1～2 日程度
5. 休日のみ 1～2 日 6. それ以下（1 か月に 1～2 日程度） 7. ごくまれに
8. 今は利用していない、または利用したことがない

問3-4-2 タクシーを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由として、あてはまるものを全てお答えください。(複数回答可)

1. 運賃が高い、または利用助成券の枚数（助成額）が少ない
2. 予約や迎車に追加料金がかかる
3. 乗りたい時に手配できない（連絡先がわからない等）
4. 手配してから乗車できるまで時間がかかる場合がある
5. 1台で乗車できる人数に限りがある
6. 複数の会社があってどれを選んでよいかわからない
7. 相乗りができない
8. その他 []

問 3-4-3 高齢者タクシー運賃助成事業を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

●つくば市の公共交通について伺います。

問 3-5-1 つくば市の公共交通について、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも言えない 4. やや満足していない 5. 満足していない

問3-5-2 今後も公共交通サービスを継続していくためには、市民の皆様と協働で支えあうことが重要です。あなたが協力できることについて、最もあてはまるものは何ですか。

1. 積極的にバス等の公共交通を利用する
2. 運行やサービスに関する意見を出す
3. 運営計画や支援方法を考える会議に参加する
4. 協賛金やクラウドファンディングで支援する
5. 協力することは考えていない
6. その他 []

問 3-5-3 今後も公共交通サービスを継続していくためには、市負担額の軽減を積極的に図る必要があります。このうち、つくタクに関しては、令和4年度の1人当たりの運賃支払平均額は約140円です。また、利用者1人1回あたり市負担額は約3,000円であり、1回あたり3,000円程度を市がタクシー利用補助をしていることと同様の意味合いとなっています。

つくたくをこれからも継続するためには運賃収入の改善が急務ですが、あなたが許容できる運賃
支払額（地区内利用の場合、実際に支払う額）を教えてください。

1. 300 円まで（現在の運賃体系と同じ）
2. 500 円まで（一般タクシーの初乗り運賃と同じ）
3. 700 円まで
4. 900 円まで
5. 900 円以上でも構わない
6. その他 []

つくば市では、市民の皆様の声を取り入れながら、公共交通サービスの改善を進めています。つくば市の公共交通についてご自由にお答えください（お困りの点、今後期待すること など）。

--

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

つくたく車両を活用したAIオンデマンドシステムの 実証実験事業について

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

- つくばスマートシティ協議会（事務局：当市科学技術戦略課）では、国土交通省スマートシティモデル事業「医療MaaS実証実験」に過年度から取り組んでおり、令和5年度は持続可能なサービス検証のために運賃有料で行うことを検討（令和4年度第3回つくば市公共交通活性化協議会にて報告）
- 今回、つくばスマートシティ協議会事務局並びに参画事業者であるKDDI株式会社及びCommunity Mobility株式会社から、当課に対し、つくタク車両を活用した実証実験の提案があった。
- 医療MaaS実証実験の実施に当たっては、AIオンデマンドシステムを使用することを前提としている。当課でも令和7年度につくタクにAIオンデマンドシステムを導入する方針であることから、つくばスマートシティ協議会との連携事業として、AIオンデマンドシステムのプレ導入を行い、利用者の使用感や交通事業者の許容性について、実証実験を通じて事前に検証するものである。

対象	役割	効果
スマートシティ協議会 (事務局：科学技術戦略課)	国補助金の確保、協議会補助金の負担	医療MaaS実証実験の推進
KDDI、Community Mobility	AIオンデマンドシステムの提供、一部費用の自社負担	AIオンデマンドシステムのフィールドでの実績蓄積
総合交通政策課	つくタク車両の提供	使用感、許容性の事前確認

実証実験の概要

目的	AI オンデマンドシステムの使用感、許容性確認
使用システム	mobi（Community Mobility株式会社のAI オンデマンドシステム）
実験期間	令和5年12月1日～令和6年2月29日（3か月）
運行時間	土日祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く9:00～17:00 ※運転士の昼休憩時間を除き、随時予約受付運行（時間便制ではない）
対象地区	つくたく荃崎地区（スーパーシティモデル地区で高齢者数が多いため） ※荃崎地区乗降ポイント、特例ポイントへの移動が可能
車両数	ワゴン型車両1台（株式会社フジ急 日産キャラバンNV350）
予約方法	mobiアプリ（スマートフォン）からの予約のみ
予約時間	乗車日の7日前から、24時間可能
運賃	地区内及び特例ポイント：300円
決済方法	現金、つくタク利用券
割引制度	高齢者割引、障害者割引、小人割引、出産支援運賃割引
自宅利用登録	mobiアプリインストール後、申請する必要あり ※つくタクの情報は引き継がれない、手数料なし、標準処理期間約2週間 ※アプリ上から誰でも視認でき、誰でも使用可能な乗降ポイントになる。

AI オンデマンドシステム固有の仕様以外はつくタク制度に準拠（既存つくタクの4条乗合の範疇）

現行システムとmobiシステムの仕様比較

	つくタク	実証実験
システム	スマート・デマンド交通システム (株式会社メタ・イズム)	mobi (Community Mobility株式会社)
事前予約	○	○
予約方法	電話又はFAX	アプリ
予約受付時間	8:30～17:00 (土・日・祝日・12/29～1/3を除く)	24時間対応
運行エリア	つくば市内 (つくタクガイド参照)	荃崎地区 (つくタクガイド荃崎地区参照) ※共通ポイントは×
運行時間	平日 9時台～16時台 (1時間1便運行)	平日 9時～17時
共通・特例ポイントの利用	○	△ ※共通ポイントは不可
自宅利用登録	○	△ (※参照)

※自宅利用登録は、新たに申請し登録する必要あり（無料）。ただし、特定の個人のみが利用できる乗降場所ではなく、誰もが利用できる乗降場所になることと、登録した自宅の乗降ポイントがアプリ上で、誰でも確認できるようになるため、登録の際は同意が必要。登録には2週間程度時間を要する。

実証実験の検証のポイント

- ・ 令和7年度からA I オンデマンドシステムを導入するに当たり、課題の確認
- ・ 利用者の使用感や交通事業者の許容性を確認

調査対象データ

- ・ mobi利用者数（延べ利用回数）
- ・ mobi満足度
- ・ アプリ導入による、利用者層
- ・ 1回当たり輸送人数（乗合率）
- ・ 1日当たり輸送人数
- ・ 1回当たり運行キロ
- ・ 1日当たり運行キロ
- ・ 利用者からの改善要望、課題
- ・ 交通事業者からの改善要望、課題

荊崎地区 A I オンデマンドサービス利用ガイド

- 医療MaaSの実施に向け、つくば市乗合タクシー「つくタク」にAIオンデマンドシステムをプレ導入する実証実験を、荊崎地区のつくタク車両1台を用いて実施します。

実験期間：12/1～2/29まで

運行日時：平日9時から17時まで

※土・日・祝日・12/29～1/3は利用できません。

ご利用には事前に予約が必要です（24時間アプリ対応）。

予約の詳細は裏面の「アプリ予約方法」を参照ください。

利用料金とお支払い方法

- 利用料金：同一地区内の移動または特例ポイントへの移動
大人 300円/こども 150円（1回おひとり様）

大人：12歳（中学生）以上/こども：6歳以上12歳未満（小学生）

幼児：6歳未満（未就学児）※幼児は大人1名（またはこども1名）につき2名まで無料。3名目からはこども料金が必要となります。

- お支払い方法：乗車時、現金又はつくタク利用券

※つくタク利用券での支払いをご希望の場合でも、ご予約の際は「現金決済」をお選びください。

乗車時、運転手へつくタク利用券をお渡しください。

- 乗降場所の追加リクエスト方法

1. アプリのメニュー画面「お問い合わせフォーム」をタップしてください。

2. カテゴリ▼より「⑤mobiの停車場所について（追加や変更などのリクエスト）」を選択頂き追加したい乗降場所の住所情報などをご入力の上、「送信」をタップしてください。

※登録は無料、お一人様一箇所まで。つくタクの自宅登録とは異なり、新たにリクエストする必要があります。登録手続き完了まで2週間程度必要になります。また、登録は荊崎地区内で、登録者以外も閲覧及び利用できる乗降場所になります。

お電話でも承ります。下記番号までご連絡ください。



お問い合わせはこちらから

荊崎地区 A I オンデマンドサービス（mobiカスタマーサポート）

☎ 050-2018-0107

営業時間 10:00～19:00

割引制度について

高齢者割引 割引後運賃：半額

- 利用方法：運賃をお支払いの際に、高齢者運賃割引証を運転手に提示してください。

○高齢者運賃割引証は申請が必要です。次の場所で受け付けています。（即日交付）

①各窓口センター ②つくば市役所高齢福祉課

○必要なもの：窓口にお越しになる方の身分証明書

○代理の方が申請することもできます。

障害者割引 割引後運賃：半額

- 対象：身体障害者、知的障害者、精神障害者、児童福祉法の提供を受けている方及び介護人・付添人（1名）

- 利用方法：運賃をお支払いの際に、障害者手帳等を運転手に提示してください。

小人割引 割引後運賃：半額

- 対象：小学生以下（なお、運賃を支払って乗車する同伴者1名につき、未就学児童は2名まで無料）

出産支援運賃割引 割引後運賃：半額

- 対象：市に住民登録がある、妊婦または3歳未満のこどもがいる母親
- 有効期限：交付日から子どもが満3歳になる年度の3月末まで
- 利用方法：運賃をお支払いの際に、出産支援運賃割引証を運転手に提示してください。

○出産支援運賃割引証は申請が必要です。次の場所で受け付けています。（即日交付）

つくば市役所健康増進課/大穂・桜・谷田部保健センター/
筑波・豊里・荊崎窓口センター

○必要なもの：出産予定の子または3歳未満の子の母子健康手帳、窓口にお越しになる方の身分証明書

○代理の方が申請することもできます。（対象者本人の出産予定の子または3歳未満の子の母子健康手帳が必要です。）

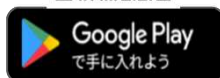
荻崎地区 A I オンデマンドサービス利用ガイド

●会員登録方法

1. アプリを開き「新しく利用される方」をタップしてください。
2. IDとなるメールアドレスを入力し「承認メールを送信」をタップしてください。
※入力したメールアドレスに「メールアドレス確認のお知らせ」が届きますのでURLをクリックしてください。
3. 「パスワードを入力」をタップして頂き、8～32桁の英数字と記号でパスワードを入力してください。
4. ご利用者様情報を入力し、利用規約・プライバシーポリシーをご確認ください。ご一読後、同意するに✓を入れ「登録する」をタップしてください。
5. ネット決済の設定画面が表示されますが、**クレジットカード情報の登録は不要です**。画面下の「あとで」をタップして頂き登録が完了となります。



QRコードを読み取り
アプリのインストールを
お願いします。



1.

2.

3.

4.

5.



●アプリ予約方法※電話予約には対応していません。

1. アプリ上の地図より乗車地、降車地を選択してください。
※地図上のピンをタップすると乗降場所の名前が表示されます。
2. 【事前予約をしたい場合のみ】乗車日時「変更」をタップし、希望の日時を選択してください。
※予約後、最短で利用したい場合は不要です。
3. 乗車する人数を入力後、画面下のお支払い方法「現金決済」に✓を入れ「進む」をタップしてください。
※つくタク利用券にてお支払いの場合でも、ご予約時は「現金決済」をお選びください。
4. 配車時間、料金をご確認の上、「mobiを呼ぶ」をタップしてください。
5. 【事前予約の場合】事前予約が完了となります。
※事前予約は、利用日の7日前より同時に2件までのご予約が可能です。
【即時予約の場合】配車予定時刻までに乗車場所へ行き車両が来たら乗車します。（当日16時30分まで）

1.

2.

3.

4.

5.



視覚障害者移動支援実証実験結果について

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

▼実証実験の目的

視覚障害者が公共交通機関を乗り換える際に、shikAIが果たす移動支援の効果を検証する

▼設置数及び設置箇所

270枚（つくばセンターバス乗り場点字ブロックに貼り付け）

▼実験日

令和5年（2023年）5月31日（水）、6月4日（日）、
6月7日（水）、6月10日（土）の4日間

▼実験の概要

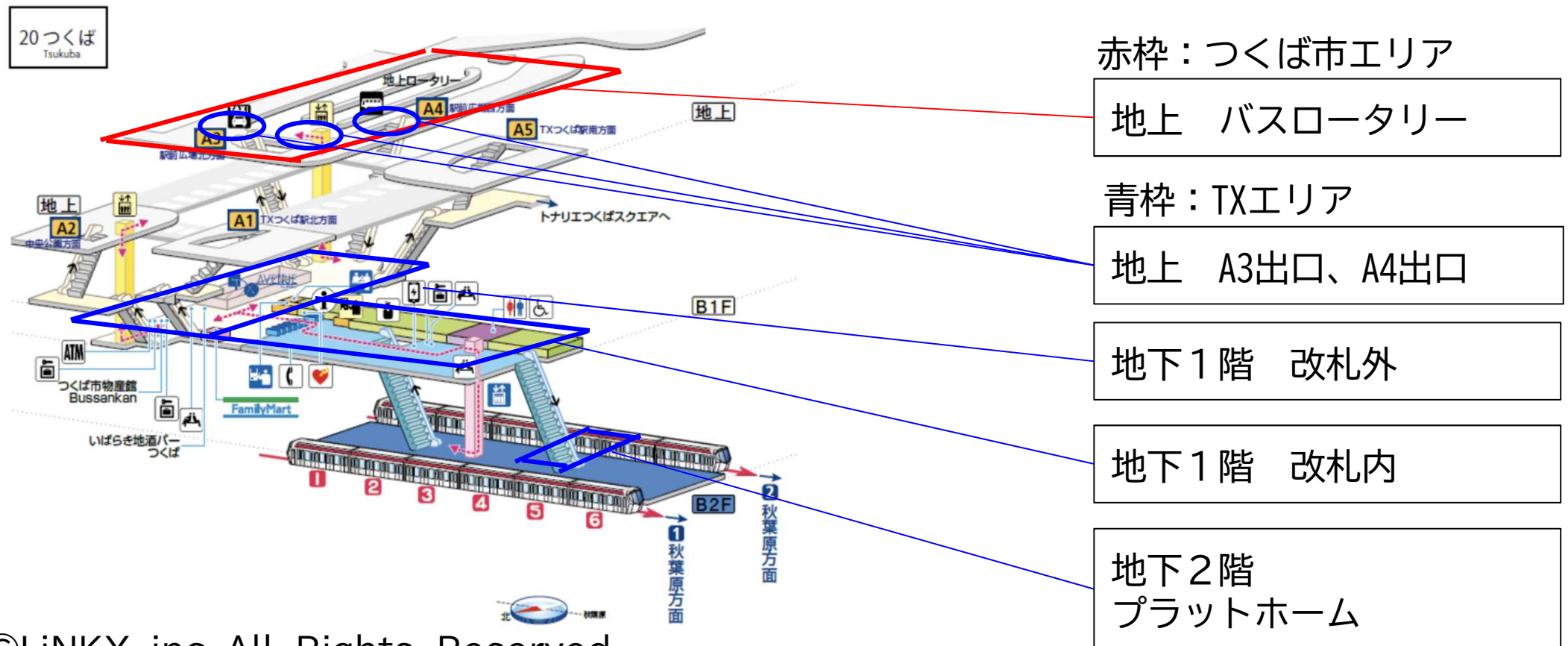
つくば駅ホームからつくばセンターバスターミナルまでの乗り換え時に、「shikAI」（シカイ）による移動サポートを受けて、筑波技術大学学生が安全に目的地まで移動可能か検証をする。被験者の行動観察やアンケート調査を通じて、安全性や利便性など、「shikAI」が果たす移動支援の効果検証及び課題の抽出を行う。



shikAIとは視覚障害者誘導用ブロックのうち点状ブロック（警告ブロック）にQRコードを敷設し、iPhoneのリアカメラで読み取ることで、現在地から目的地までの移動ルートを導き出し、音声で目的地まで案内するシステム。

QRコード敷設エリア（第1 回報告済）

実験期間中、下図の赤枠及び青枠エリア内の視覚障害者誘導用ブロックの内、点状ブロックにQRコードシールを敷設する。



▼実証実験の結果

全盲の方6名、ロービジョン（≡弱視）の方17名の総計23名の被験者を対象に実施した。全ての被験者が階段からの転落や人との衝突などの事故は無く、shikAIの音声ガイドにより目的地まで到達できた。また、shikAIによる視覚障害者へのナビゲーションの提供により、視覚障害者が単独で移動でき、ナビゲーションが有益なものであることが確認できた。

▼安全性について

安全性の検証として実験中の観察を行った結果、階段からの転落、人や物との衝突などの事故は発生せず、本アプリを使用することによる安全性に大きな問題は見られなかった。また、階段、環境音及び歩行者との衝突に対する注意並びに人の流れの阻害について危険だと感じた場所に関するアンケート調査を実施し、回答をとりまとめた（結果については、バリアフリーマスタープラン策定委員会に情報提供済み）。

▼総括

- ・慣れていない道でもshikAIを用いることで問題なく移動できることが確認できた。
- ・視覚障害者にとって、格子状でないバスターミナルは位置関係を記憶することが難しいため、shikAIのような仕組みが有効であった。
- ・令和5年3月から障害者用PASM0の利用が開始されたこともあり、shikAIを利用しながらそのまま自動改札を通過できることは、改札通過時間の短縮にもなり、視覚障害者に対する移動支援につながった。
- ・エスカレータやエレベータを使用したいという意見に対して、視覚障害者誘導用ブロックがないエスカレータへの案内やエレベータ内のボタン配置に対する音声ガイドによる情報提供ができないか検討が必要と考えられる。
- ・異なる交通事業者間の施設を移動する際に、建物の構造または管理主体が異なるために視覚障害者誘導用ブロックが途切れていたり、建物の境界にある視覚障害者誘導用ブロックが直線上に敷設されていない場所があり、最も大きな課題となった。

▼経緯及びスケジュール(案)

令和5年

- 7月 首都圏新都市鉄道株式会社から本格導入意向の連絡有
- 8月 予算確保に向け、財政見通し調書を提出
- 10月 令和6年度当初予算案作成
- 12月 財務部ヒアリング

令和6年

- 3月 3月議会（予算審議）
- 4月 首都圏新都市鉄道株式会社及びリンクス株式会社と協議
- 5月 契約締結、各種手続き（道路占用許可等）
- 6月 設置工事
- 7月 運用開始

令和5年4月～8月利用実績について

つくバス・つくタク・
つくばね号・路線バス実証実験

令和5年(2023年)11月7日(火)
総合交通政策課

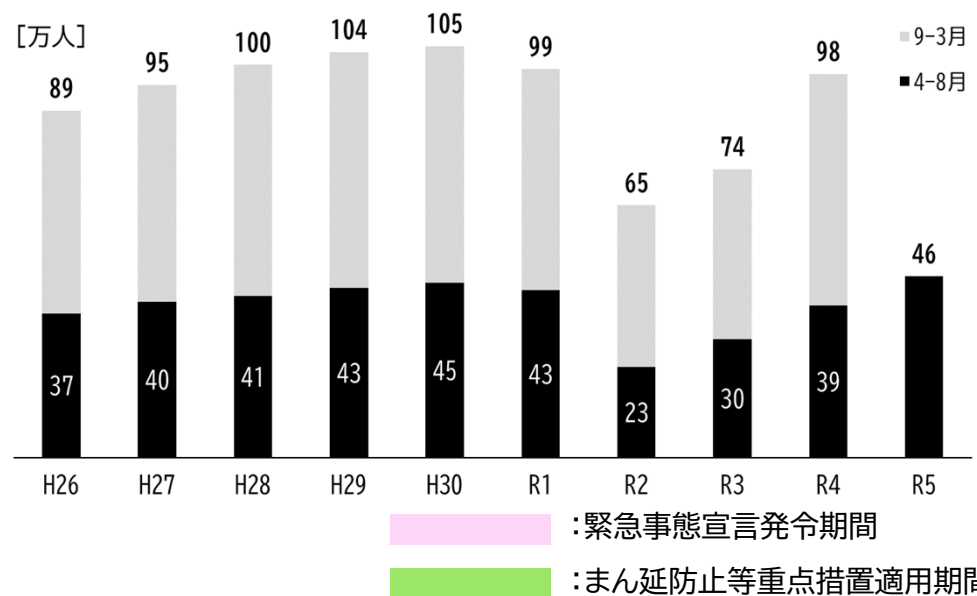
令和5年4月～8月 つくバス利用実績 (4月1日～8月31日)



つくバス利用者数

- 令和5年4月から8月までの利用者数は、464,595人で、1日当たり3,037人の利用があった。
- 前年度同期と比較すると、延べ利用者数は74,882人増加した。月別でも全ての月で前年度同期の利用人数を上回っている。
- つくバスのシャトル型運行を平成23年度に開始して以降、4月から8月までの利用者数としては最多となった。

▼年度別利用者数



▼年度別・月別利用者数一覧

年度	H26 利用者数[人]	H27 利用者数[人]	H28 利用者数[人]	H29 利用者数[人]	H30 利用者数[人]	R1 利用者数[人]	R2 利用者数[人]	R3 利用者数[人]	R4 利用者数[人]	R5 利用者数[人]	前年比増減[人]	前年同月比[%]
4月	72,833	78,099	82,774	85,331	87,370	84,745	30,895	63,623	76,165	90,368	14,203	142.0
5月	74,767	77,797	83,169	87,916	91,341	85,965	27,962	60,687	77,953	97,881	19,928	161.3
6月	74,837	83,722	87,943	90,000	93,173	87,038	57,221	66,411	82,355	93,930	11,575	141.4
7月	75,830	83,208	83,622	86,868	89,786	88,435	63,678	64,633	80,034	91,541	11,507	141.6
8月	71,800	77,103	76,183	84,187	85,996	82,431	52,944	48,332	73,206	90,875	17,669	188.0
9月	72,685	77,768	81,939	85,853	84,158	81,979	60,832	48,265	81,781			
10月	77,412	83,433	87,768	90,218	93,105	87,840	67,934	65,508	88,255			
11月	74,872	79,271	88,107	88,780	91,603	87,441	62,342	67,750	86,745			
12月	75,254	80,066	84,288	88,797	88,491	86,234	59,809	69,076	83,575			
1月	71,805	73,812	78,349	81,494	79,391	80,219	49,773	62,317	78,405			
2月	69,833	76,588	82,737	79,119	80,961	77,455	49,509	53,306	81,572			
3月	76,104	82,970	87,783	88,984	87,613	64,420	63,137	68,210	91,740			
4-8月	370,067	399,929	413,691	434,302	447,666	428,614	232,700	303,686	389,713	464,595	74,882	119.2
年間	888,032	953,837	1,004,662	1,037,547	1,052,988	994,202	646,036	738,118	981,786			
月平均	74,003	79,486	83,722	86,462	87,749	82,850	53,836	61,510	81,816	92,919	11,104	
日平均	2,433	2,606	2,752	2,843	2,885	2,716	1,765	2,022	2,690	3,037	347	

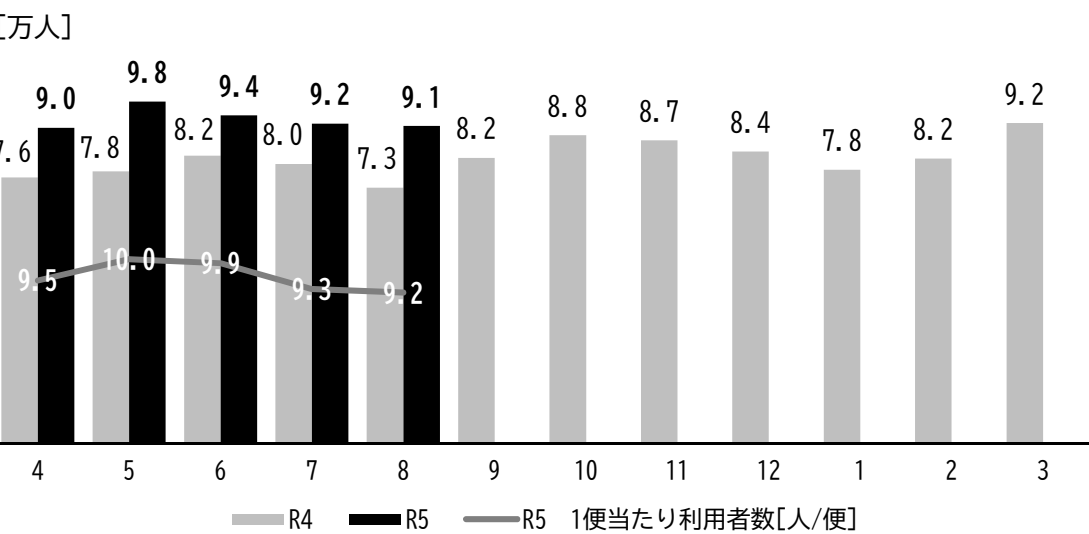
つくバス利用者数(前年度比較)

- 全ての路線において、前年度同期より利用者数が増加した。
- 月別においても、全ての月で前年度を上回っている。
- 利用者増加数では、北部シャトルが最も多く、全路線の利用者増加数の45%を占めている。なお、増加率では、上郷シャトルが32%増と最も高い。
- 10路線合計利用者数(464,595人)のうち、北部シャトルと南部シャトルで約57%を占める。

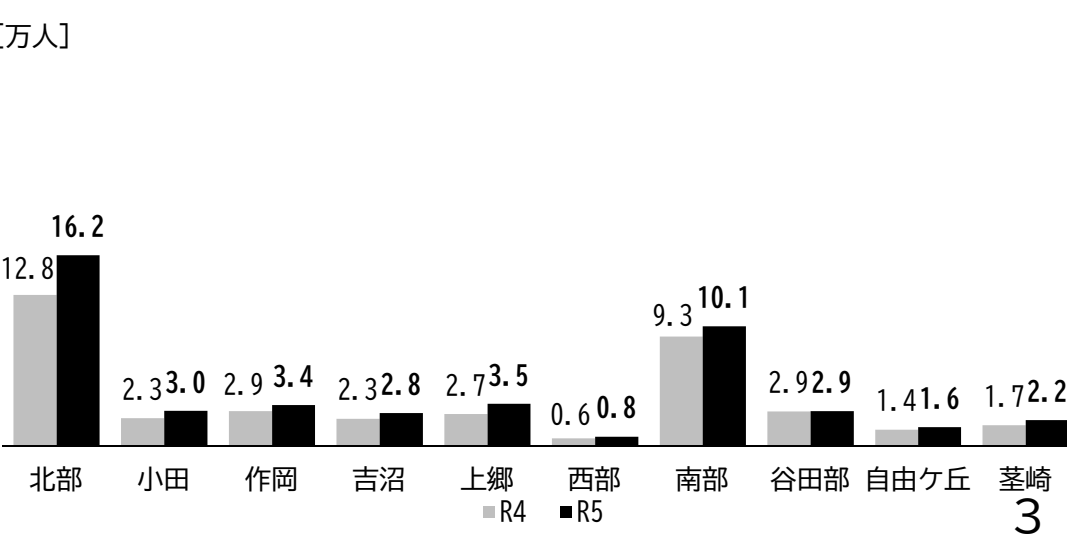
▼路線別利用者数一覧(4-8月)

	北部	小田	作岡	吉沼	上郷	西部	南部	谷田部	自由ヶ丘	茎崎	10路線合計 1日あたり
R4 年度利用者数[人]	127,965	23,388	29,411	22,881	26,859	6,310	92,769	29,072	13,669	17,389	389,713
R5 年度利用者数[人]	161,816	29,527	34,474	27,603	35,498	7,631	101,383	29,350	15,698	21,615	464,595
比較 増減数(R5-R4)	33,851	6,139	5,063	4,722	8,639	1,321	8,614	278	2,029	4,226	74,882
R4 1便当たりの利用者数[人]	14.7	5.1	5.7	6.8	7.3	2.1	10.5	6.3	4.5	5.2	8.0
R5 1便当たりの利用者数[人]	18.6	6.4	6.6	8.2	9.7	2.5	11.4	6.4	5.1	6.4	9.6

▼月別利用者数(前年度比較)



▼路線別利用者数(前年度比較)



つくバスシャトル別利用状況(北部)

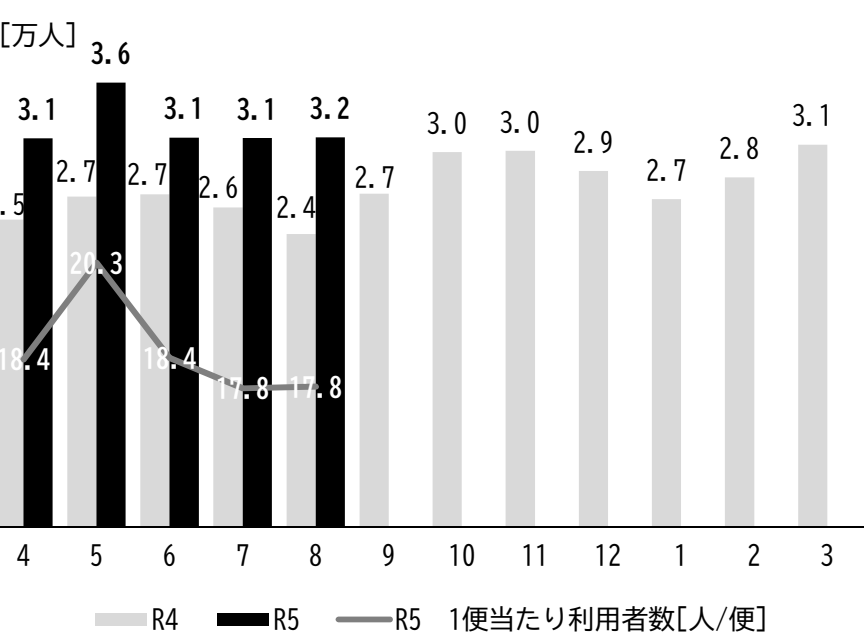
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、昼の上り便と夜の下り便が多く利用されている。

[停留所別利用者数]

- つくばセンター、大穂窓口センター及び花畑の利用が多い。
 - 4月から追加した沼田南は、5か月平均で1日当たり11.0人の利用が見られた。
- ※隣接する大貫及び筑波山口の利用者数が、令和4年度と比較し減少傾向にあるため、利用者の一部が沼田南新設以降に乗降先を変更した可能性があるが、それ以上の新規利用者も見られた。

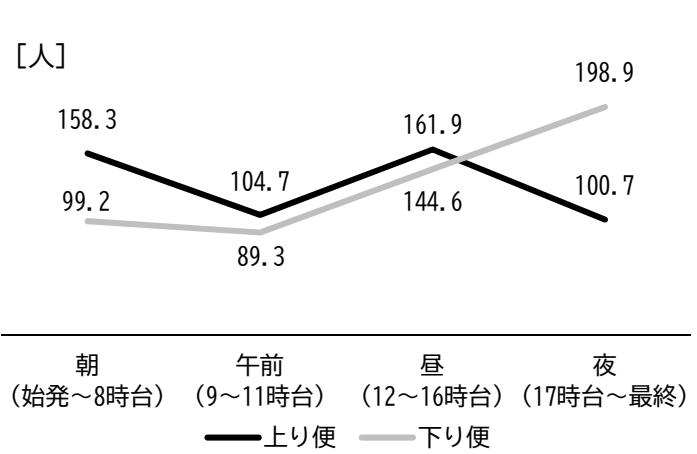
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	836.4	14.7
R5	1057.6	18.6
増減数(R5-R4)	221.2	3.9
増減率(R5/R4)	26.5%	26.5%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

つくばセンター	465.2	358.4
妻木	13.8	11.9
天久保	38.1	22.0
テクノパーク桜入口	71.2	42.7
花畑	128.3	96.0
大穂窓口センター	140.4	124.5
高エネルギー研	60.8	49.4
ウェルネスパーク	21.5	23.9
山木	1.6	—
田中東	5.2	5.2
筑波交流センター	50.9	49.5
杉木	1.4	1.4
大貫	2.0	3.1
沼田南	11.0	—
筑波山口	46.1	48.6

つくバスシャトル別利用状況(小田)

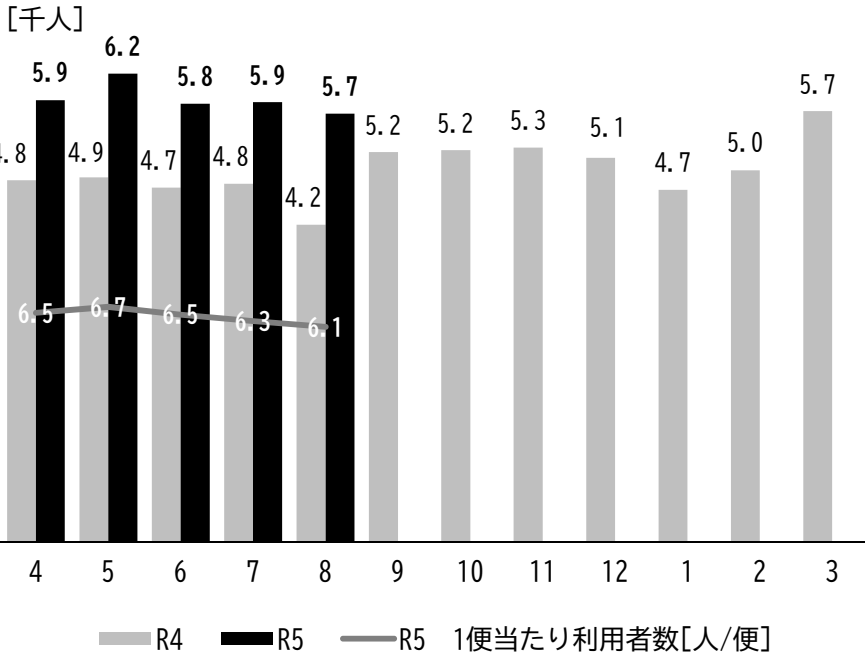
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、朝の上り便と夜の下り便が多く利用されている。

[停留所別利用者数]

- つくばセンター、テクノパーク桜及びさくらの森の利用が多い。
- 4月から追加した大池東は、5か月平均で1日当たり0.7人の利用が見られた。隣接する北条新田及び大池・平沢官衙入口の利用者数が、令和4年度と比較し減少傾向にあるため、利用者の一部が、大池東新設以降に乗降先を変更した可能性がある。

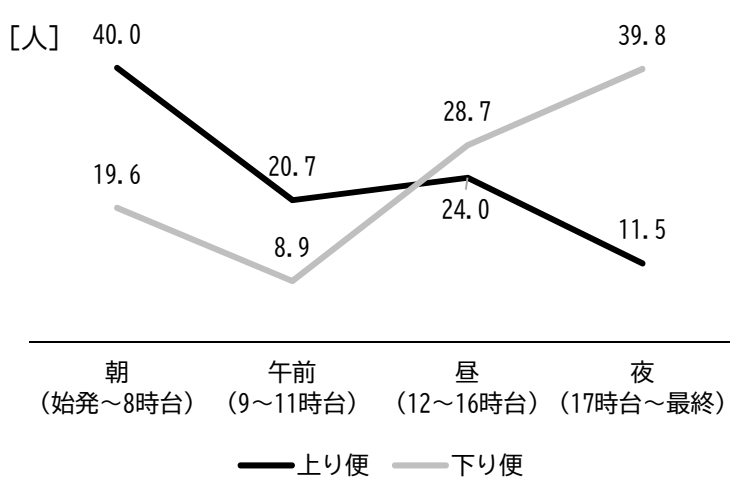
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便	[人]
R4	152.9	5.1	
R5	193.0	6.4	
増減数(R5-R4)	40.1	1.3	
増減率(R5/R4)	26.2%	26.2%	

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	利用者数	単位
つくばセンター	81.5	[人]
花園	63.3	[人]
桜窓口センター入口	4.3	[人]
桜窓口センター	3.6	[人]
金田西	4.8	[人]
金田東	3.2	[人]
横町	1.9	[人]
松塚入口	1.5	[人]
松栄団地	2.0	[人]
栄	1.1	[人]
八竜神	9.7	[人]
上境	7.6	[人]
さくらの森	1.3	[人]
テクノパーク桜	0.5	[人]
春風台	0.7	[人]
栗原	0.5	[人]
つくば特別支援学校	4.5	[人]
栗原東	2.6	[人]
下大島	8.8	[人]
大形	7.4	[人]
北太田	4.4	[人]
大穂窓口センター	3.2	[人]
小田東部	2.8	[人]
小田中部	10.6	[人]
北条新田	6.1	[人]
大池東	20.2	[人]
大池・平沢官衙入口	14.7	[人]
北条仲町	5.5	[人]
北条三差路	3.6	[人]
筑波交流センター	0.8	[人]
	0.6	[人]
	4.0	[人]
	3.9	[人]
	0.8	[人]
	0.6	[人]
	0.6	[人]
	0.2	[人]
	0.7	[人]
	0.6	[人]
	0.1	[人]
	0.1	[人]
	3.0	[人]
	2.9	[人]
	5.0	[人]
	5.2	[人]
	3.6	[人]
	5.2	[人]
	0.5	[人]
	0.6	[人]
	0.7	[人]
	2.7	[人]
	4.1	[人]
	2.4	[人]
	2.3	[人]
	0.7	[人]
	0.3	[人]
	3.9	[人]
	4.4	[人]

つくバスシャトル別利用状況(作岡)

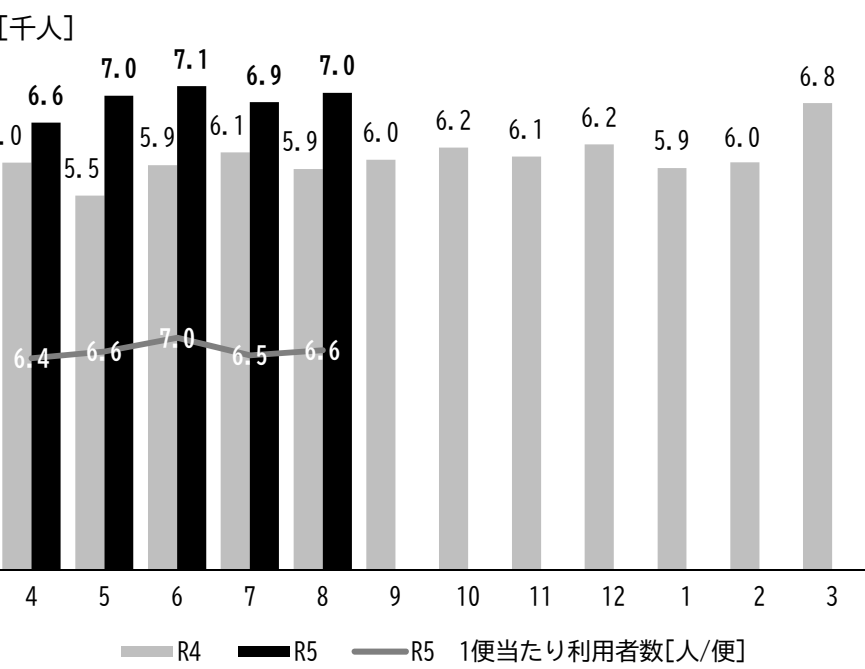
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、上り便下り便ともに朝夜の利用が多い。

[停留所別利用者数]

- 研究学園駅、豊里の杜及び東光台五丁目の利用が多い。
- 東光台五丁目を含む5つの停留所は前年度同期と比較して減少しているが、それ以外の停留所については維持または増加が見られた。

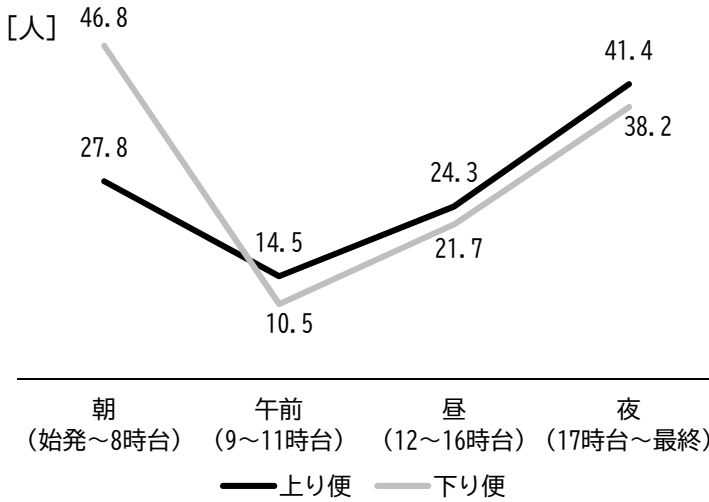
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便	[人]
R4	192.2	5.7	
R5	225.3	6.6	
増減数(R5-R4)	33.1	1.0	
増減率(R5/R4)	17.2%	17.2%	

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

研究学園駅	99.0	84.5
つくば市役所	1.8	1.3
つくば市役所北	3.6	3.4
研究学園西	2.7	2.5
東光台五丁目	15.9	17.0
東光台体育館	8.7	7.2
東光台三丁目	7.7	6.3
東光台二丁目	7.2	6.2
東光台入口	4.7	2.8
酒丸	2.2	1.3
豊里の杜	23.5	21.0
高野	1.0	0.7
皆畑	3.6	1.5
今鹿島小学校入口	3.2	2.2
今鹿島北	0.9	0.4
長高野西	1.5	1.8
大砂ニュータウン	3.5	3.8
テクノパーク大穂	9.9	7.3
北部工業団地中央	14.1	10.4
北部工業団地和台公園	3.4	3.5
明石	1.4	1.1
作谷	1.0	1.6
寺具	4.9	4.5

上郷シャトルと重複

つくバスシャトル別利用状況(吉沼)

〔月別・日別・便別・時間帯別利用者数〕

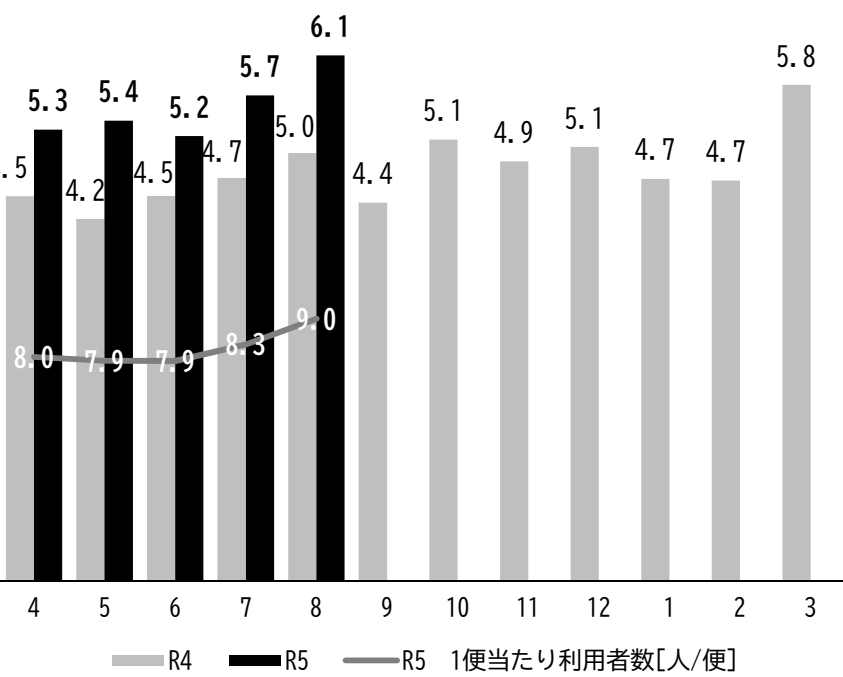
- ・ 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- ・ 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- ・ 時間帯別では、朝夜の上下便に加えて、下り便の昼に利用が多い。

〔停留所別利用者数〕

- ・ 研究学園駅、大穂窓口センター及び土木研究所の利用が多い。
- ・ 大砂・今鹿島入口及び西高野は前年度同期と比較して減少しているが、それ以外の停留所については維持または増加が見られた。

▼月別利用者数

[千人]



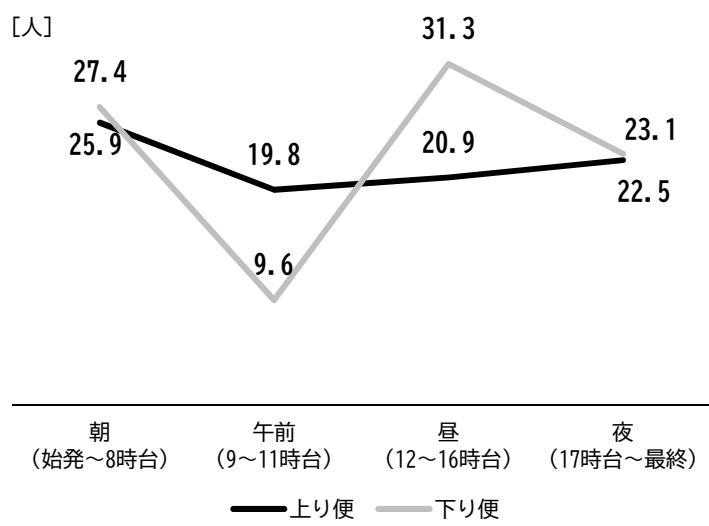
▼日別・便別利用者数

[人]

	日	便
R4	149.5	6.8
R5	180.4	8.2
増減数(R5-R4)	30.9	1.4
増減率(R5/R4)	20.6%	20.6%

▼時間帯別利用者数

[人]



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5 (人)	R4 (人)
研究学園駅	65.2	57.6
つくば市役所	2.7	1.9
つくば市役所北	1.9	0.9
研究学園3丁目	3.4	3.3
学園の森1丁目	6.7	4.6
学園の森2丁目	6.6	6.0
学園の森2丁目北	3.0	2.8
学園の森3丁目北	6.9	—
国土地理院・つくば警察署	6.8	6.7
筑波記念病院	9.1	7.6
土木研究所	12.3	9.8
教職員支援機構	9.6	8.2
大穂窓口センター	27.8	24.1
篠崎	2.6	2.5
前野小学校入口	1.0	1.0
長高野	0.5	0.5
大砂・今鹿島入口	1.9	2.1
大砂	1.5	1.5
西高野	1.3	1.4
吉沼	5.2	4.5
吉沼四ツ角	2.0	1.2
吉沼南	1.0	0.4
とよさと病院	1.5	1.1

つくバスシャトル別利用状況(上郷)

〔月別・日別・便別・時間帯別利用者数〕

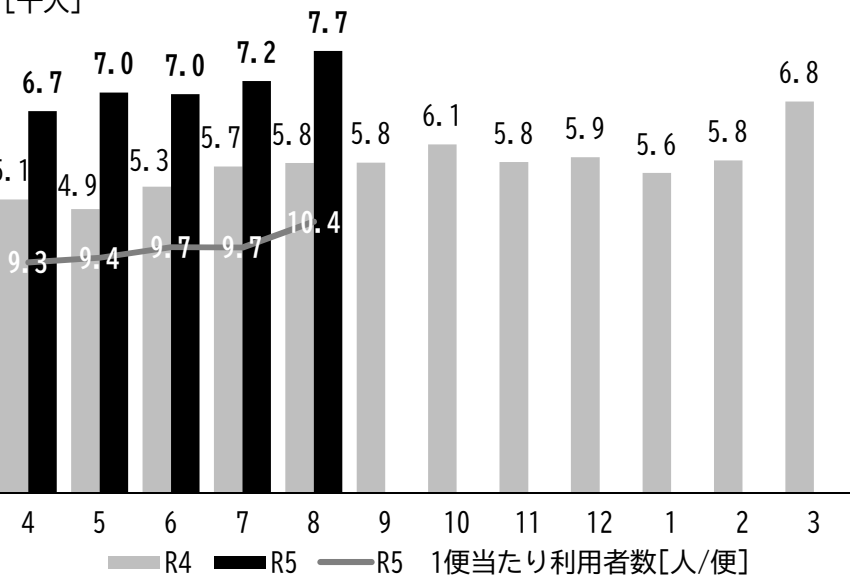
- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、朝夜の上下便に加えて、下り便の昼に利用が多い。他のシャトルと比較して、午前や昼の時間帯も朝夜と同程度多い。

〔停留所別利用者数〕

- つくばセンター、研究学園駅及び豊里の杜の利用が多い。
- 研究学園西及び上郷では前年度同期と比較して減少したが、それ以外の停留所については増加が見られた。

▼月別利用者数

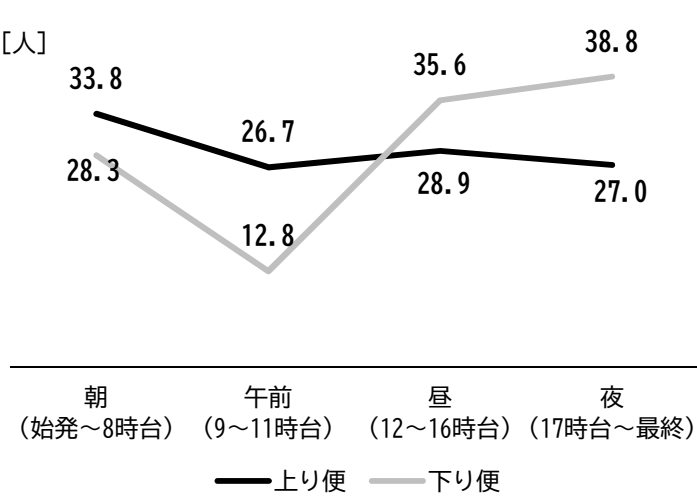
〔千人〕



▼日別・便別利用者数

	日	便	〔人〕
R4	175.5	7.3	
R5	232.0	9.7	
増減数(R5-R4)	56.5	2.4	
増減率(R5/R4)	32.2%	32.2%	

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)



つくバスシャトル別利用状況(西部)

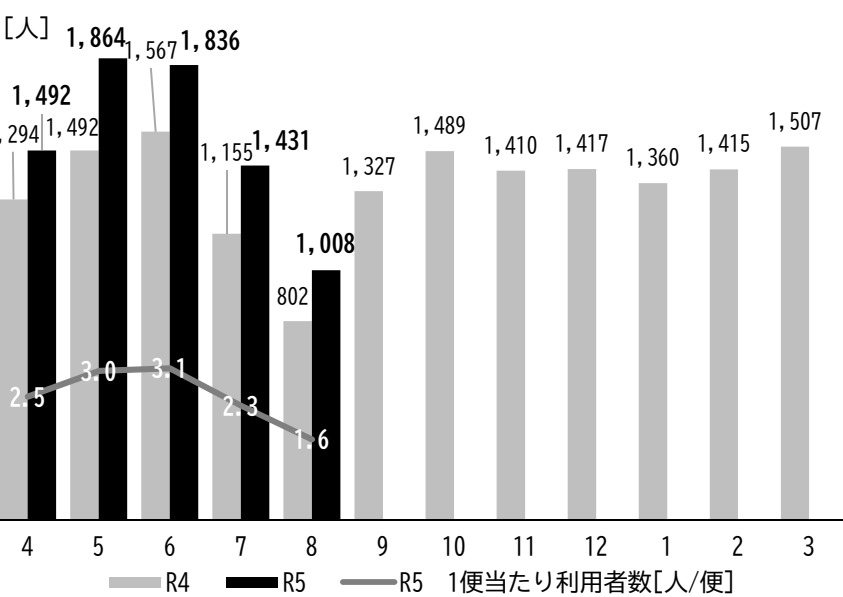
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、朝の上り便と昼の上下便の利用が多い。

[停留所別利用者数]

- 万博記念公園駅、別府学園台入口及び島名小学校の利用が多く見られた。
- 真瀬小学校を含む9つの停留所は前年度同期と比較して減少しているが、それ以外の停留所については維持または増加が見られた。利用者が減少した停留所の1つに富士見ヶ丘団地があるが、減少要因としては富士見ヶ丘団地入口を新設したことによるもので、2つの停留所の利用者数を合わせると、利用者の増加が見られた。

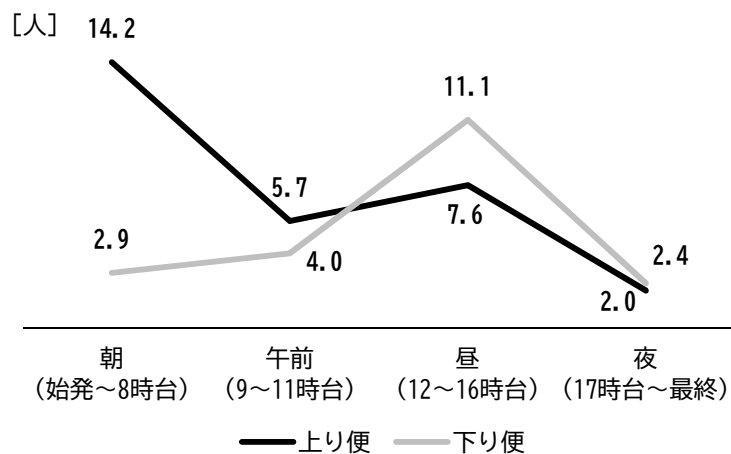
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	41.2	2.1
R5	49.9	2.5
増減数(R5-R4)	8.6	0.4
増減率(R5/R4)	20.9%	20.9%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	利用者数 [人]
みどりの駅	4.5
みどりの2丁目西	3.5
真瀬鎌倉 (真瀬郵便局)	0.4
真瀬本田	0.7
富士見ヶ丘団地入口	0.6
富士見ヶ丘団地	0.3
真瀬新田南	0.3
真瀬新田中央	0.1
真瀬総合センター (JA真瀬支所)	0.1
真瀬小学校	0.5
鍋沼新田	0.3
高須賀南	1.1
高須賀中央	0.3
高須賀北	0.5
下別府	0.3
高山南	2.2
高山中学校入口	2.6
万博公園西	0.3
諏訪北	0.3
万博記念公園駅	0.6
島名中西	0.2
島名入坪	0.2
島名小学校	0.4
下河原崎	11.2
高山北	8.2
上河原崎	0.05
別府学園台入口	0.03
上郷神谷森東 (TIS入口)	0.05
上郷神谷森	0.03
上郷大山	4.9
上郷野手	3.5
金村別雷神社入口	0.4
上郷台宿 (上郷小学校入口)	0.2
上郷権下	1.1
川口公園入口	0.3
上郷大宿	0.5
上郷上宿	0.3
田倉南	0.3
田倉	0.06
とよさと病院	0.06

つくバスシャトル別利用状況(南部)

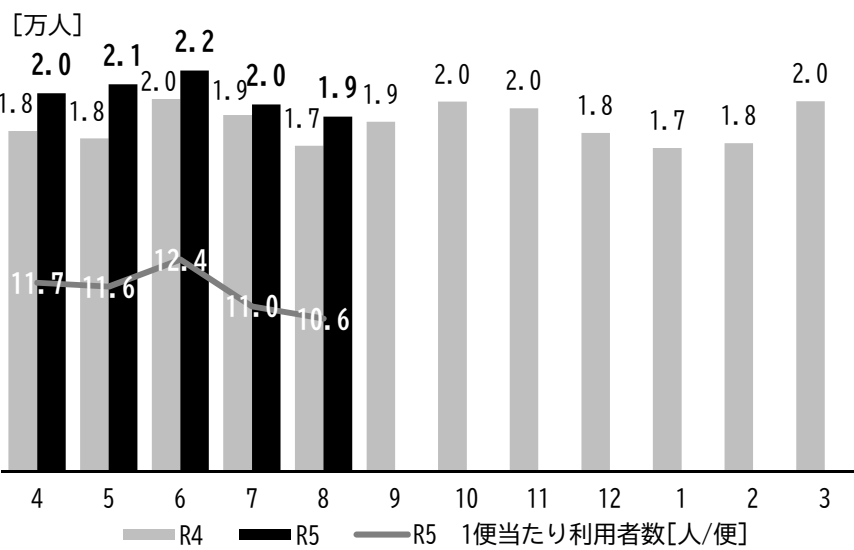
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、朝の下り便、夜の上下便の利用が多い。

[停留所別利用者数]

- 理化学研究所を含む6つの停留所で前年度同期と比較して減少しているが、それ以外の停留所については維持または増加が見られた。
- 昨年10月に新設した農業環境技術研究所は1日あたり利用者数が9.0人見られた。隣接している高野台の利用者数が減少傾向にあることから、利用者の一部が農業環境技術研究所新設以降乗降先を変更した可能性もあるが、それ以上に新規利用者も見られた。

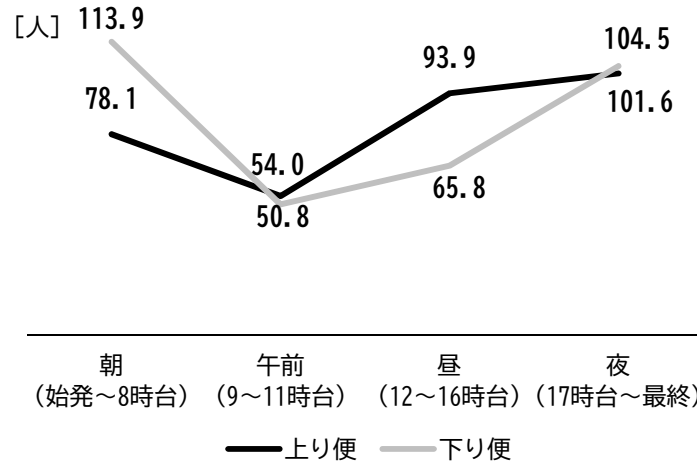
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	606.3	10.5
R5	662.6	11.4
増減数(R5-R4)	56.3	1.0
増減率(R5/R4)	9.3%	9.3%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	利用者数(1日当たり)
つくばセンター	247.5
小池	10.0
松代一丁目	35.0
松代	21.4
果樹研究所入口	11.2
榎戸	4.8
谷田部車庫	47.6
農林団地中央	74.0
農業環境技術研究所	9.0
高野台	7.7
高野台中央	10.2
理化学研究所	44.0
牧園中央	33.4
菅間	6.4
高崎中央	16.8
高見原団地入口	8.3
高見原中央	12.0
高見原南	9.7
新山	15.2
田宮町	13.2
弁天前	5.5
茎崎窓口センター	12.3
森の里団地入口	3.2
茎崎運動公園	1.8
下岩崎	1.3
茎崎老人福祉センター	1.1

つくバスシャトル別利用状況(谷田部)

[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

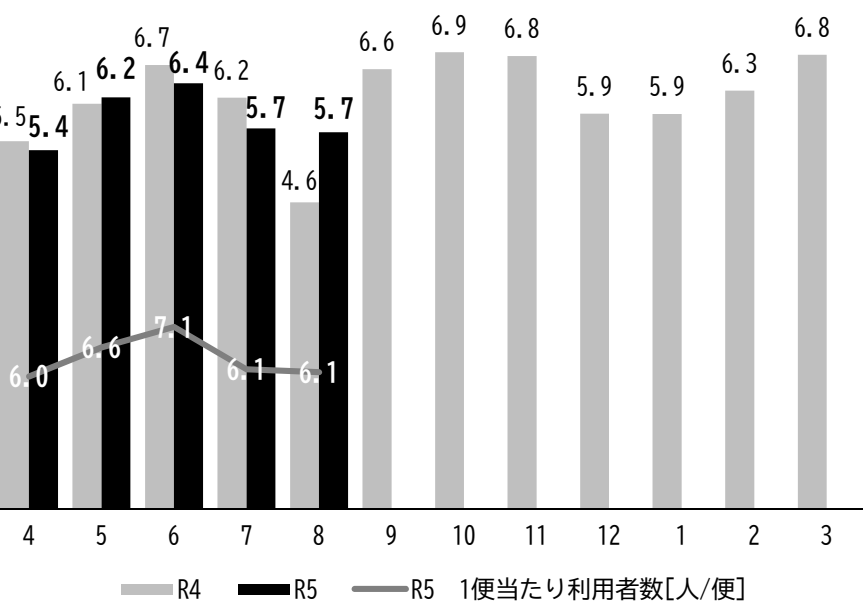
- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加している。
- 月別では、5月、8月のみ利用者数が増加しており、それ以外の月では減少が見られた。
- 時間帯別では、上り便の朝と下り便の昼の利用が多い。

[停留所別利用者数]

- 4月からの香取台小学校の開校に伴い、島名小学校の通学利用者が乗降していた、島名十字路北及び万博記念公園駅の利用者数の減少が見られた。この他3つの停留所で減少が見られたが、それ以外では維持または増加が見られた。

▼月別利用者数

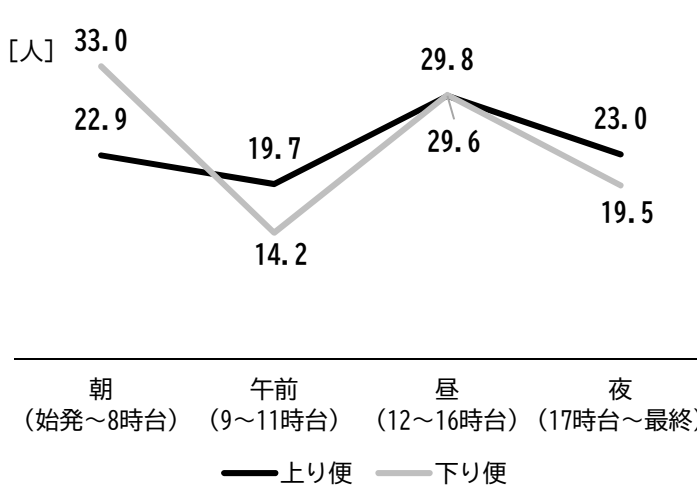
[千人]



▼日別・便別利用者数

	日	便
R4	190.0	6.3
R5	191.8	6.4
増減数(R5-R4)	1.8	0.1
増減率(R5/R4)	1.0%	1.0%

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

研究学園駅	21.3
つくば市役所	2.7
研究学園駅前公園	2.5
大境	4.3
山中学園台入口	3.3
科学万博記念公園	8.6
つくば秀英高校	7.3
島名十字路北	4.4
香取台	1.3
ピアシティ前	1.7
万博記念公園駅	15.9
みずほ団地入口	9.2
陣場ふれあい公園	8.4
みどりの2丁目	3.8
みどりの駅	44.3
みどりの駅入口	4.2
鹿島アントラーズFCつくばアカデミーセンター前	0.9
みどりの中央	1.3
みどりの中央南	1.3
飯田	9.9
みどりの東	8.3
谷田部南小学校	2.9
緑が丘団地入口	7.5
北境田	2.1
つくば工科高校	6.8
谷田部四ツ角	2.2
谷田部窓口センター	5.6

つくバスシャトル別利用状況(自由ヶ丘)

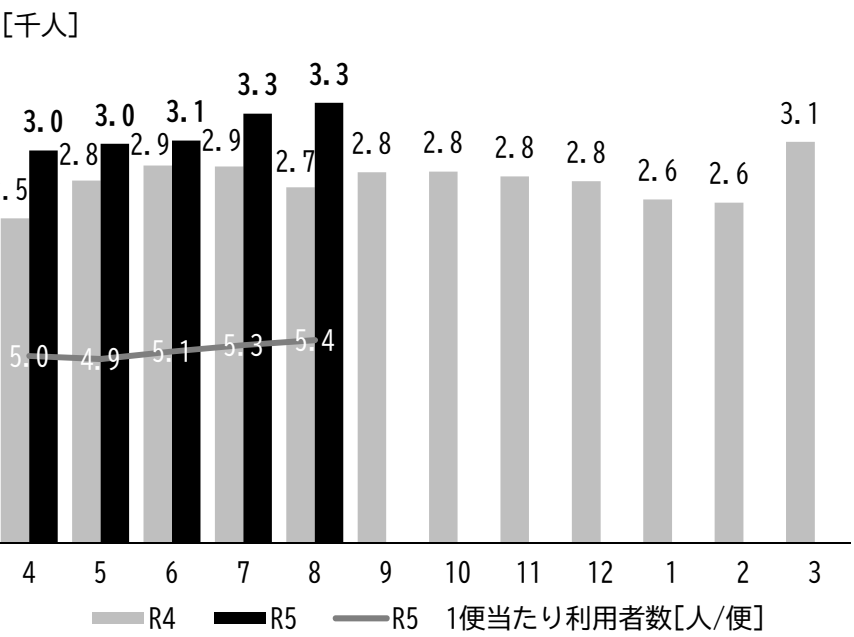
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加している。
- 月別では、全ての月において利用者数が増加している。
- 時間帯別では、上下便ともに時間帯による利用者数にあまり差がみられないが、上下便ともに昼の時間帯の利用が多く見られた。

[停留所別利用者数]

- みどりの駅、農林団地中央及び谷田部車庫の利用が多い。
- 谷田部老人福祉センターを含む5つのバス停留所は前年度同期と比較して減少しているが、それ以外の停留所については維持または増加が見られた。

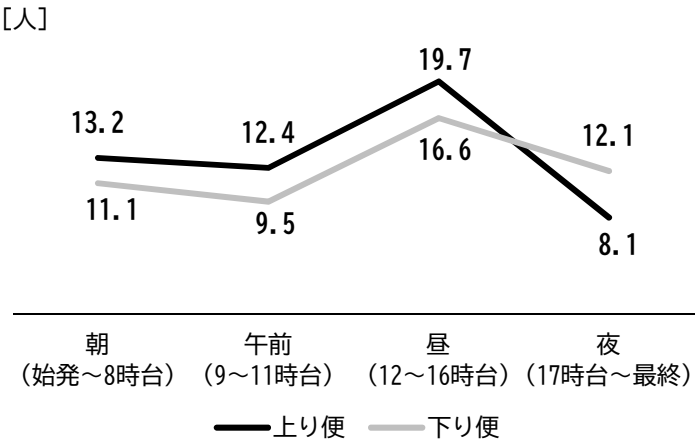
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便	[人]
R4	89.3	4.5	
R5	102.6	5.1	
増減数(R5-R4)	13.3	0.7	
増減率(R5/R4)	14.8%	14.8%	

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5 (人)	R4 (人)
みどりの駅	37.5	32.0
谷田部窓口センター	4.0	3.5
谷田部老人福祉センター	2.3	2.4
上横場交差点東	4.6	3.4
谷田部車庫	10.2	8.9
農林団地中央	12.1	10.8
羽成公園	3.3	3.1
観音台一丁目	5.6	4.2
緑が丘団地	5.0	4.6
駒込	0.3	0.3
梅ヶ丘団地	3.9	3.5
上岩崎	1.3	0.9
荃崎運動公園	2.6	2.6
森の里団地入口	1.0	0.9
荃崎窓口センター	1.1	0.8
下岩崎	0.7	0.7
自由ヶ丘団地	3.4	2.6
自由ヶ丘団地中央	0.7	0.5
あしび野	1.5	1.8
細見入口	0.7	0.8
富士見台入口	0.1	0.2
富士見台	0.5	0.8

つくバスシャトル別利用状況(荃崎)

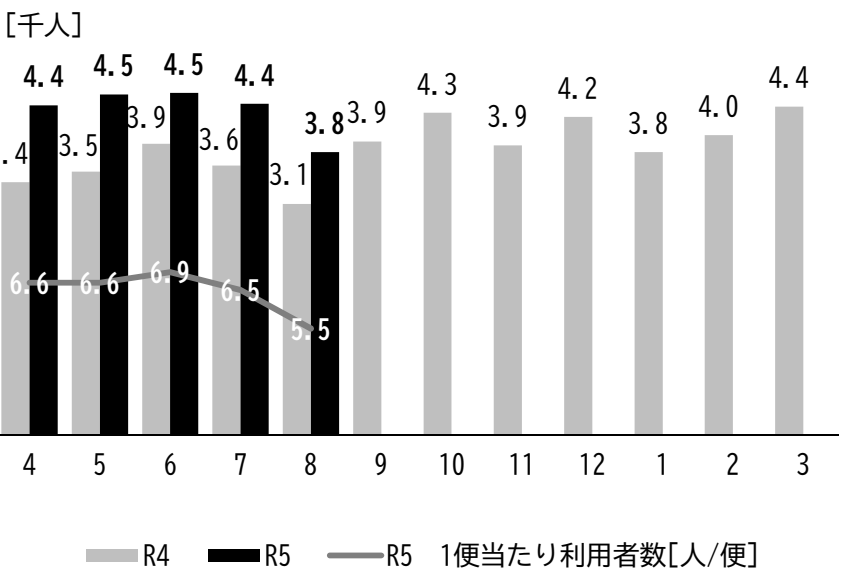
[月別・日別・便別・時間帯別利用者数]

- 1日及び1便当たりの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。
- 月別では、全ての月において利用者数の増加が見られた。
- 時間帯別では、上り便の朝と下り便の昼の利用が多い。

[停留所別利用者数]

- 牛久駅西口、自由ヶ丘団地及び城山団地中央の利用が多い。
- 富士見台、自由ヶ丘団地から、荃崎第二小学校への通学利用も見られた。
- 大舟戸原及び富士見台は前年度と比較して減少しているが、その他停留所については維持または増加が見られた。

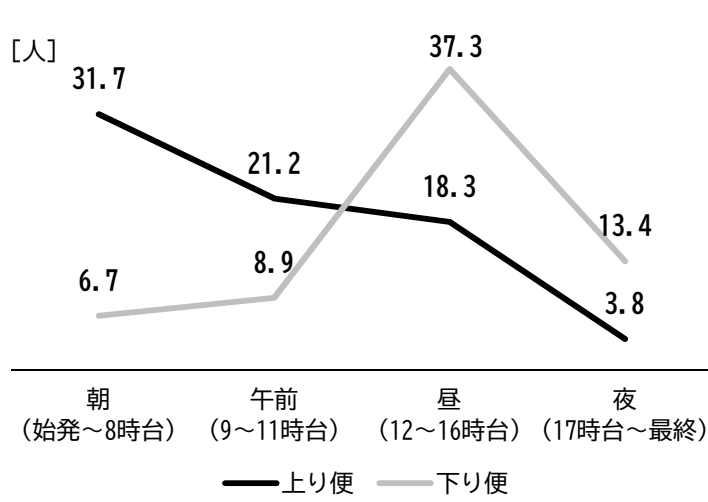
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便	[人]
R4	113.7	5.2	
R5	141.3	6.4	
増減数(R5-R4)	27.6	1.3	
増減率(R5/R4)	24.3%	24.3%	

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

停留所	R5	R4	[人]
牛久駅西口	52.6	42.4	
新山	6.9	5.4	
高見原南	2.7	1.7	
高見原中央	3.5	2.2	
高見原団地入口	6.1	4.5	
高崎南	1.1	1.1	
城山団地中央	9.8	7.2	
城山団地南	3.5	2.9	
弁天前	1.1	1.1	
荃崎窓口センター	4.7	3.5	
森の里団地入口	3.7	3.3	
荃崎運動公園	2.1	1.5	
下岩崎	1.5	1.2	
荃崎第二小学校	7.2	5.1	
荃崎みなみ郵便局	1.1	0.9	
上岩崎入口	0.5	0.4	
大舟戸原	0.1	0.2	
レイクサイドつくば入口	1.1	0.9	
自由ヶ丘団地	11.9	10.6	
自由ヶ丘団地中央	4.6	3.1	
あしび野	3.9	3.5	
あしび野公園	5.0	4.1	
細見入口	2.7	2.1	
富士見台入口	1.0	1.0	
富士見台	2.9	3.7	

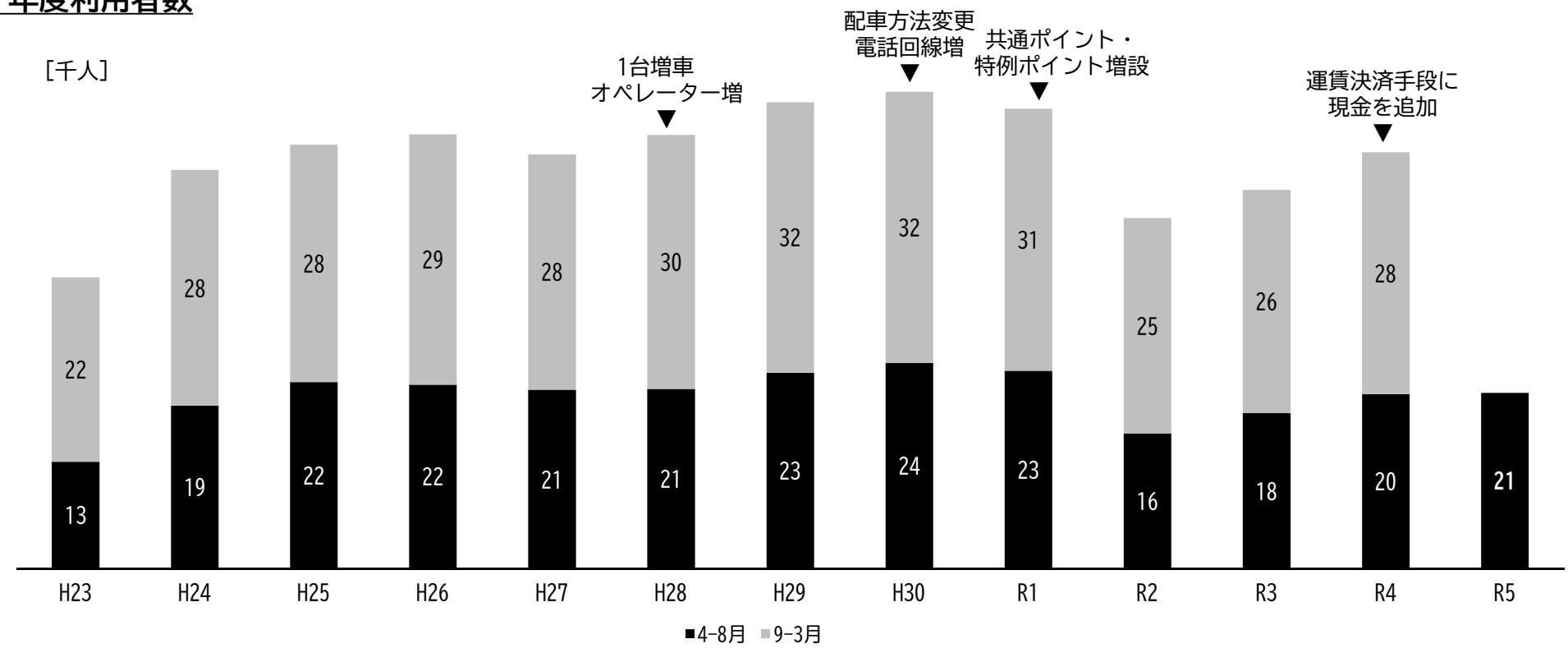
令和5年4月～8月 つくたく利用実績 (4月1日～8月31日)



つくタク利用者数

- 令和5年4月-8月の利用者数(20,590人)は、前年度同期と比較して158人増加した。

▼年度利用者数



(人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
4-8月	21,558	20,968	21,059	22,920	24,105	23,189	15,838	18,233	20,432	20,590
9-3月	29,307	27,576	29,752	31,716	31,753	30,698	25,233	26,147	28,357	

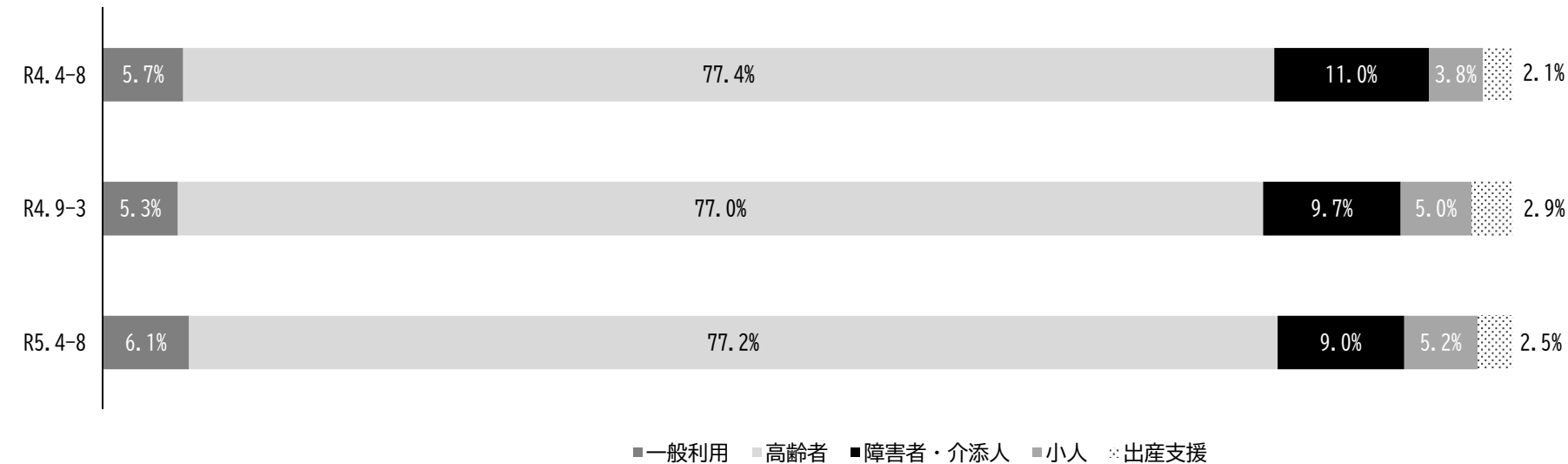
利用者属性

- 各属性の構成割合に大きな変化は見られなかった。概ね、高齢者利用が8割、障害者・介添人利用が1割、その他利用が1割の構成である。
- 前年度同期と比較し、小人の利用割合が1.4%増加した。

▼属性別利用割合

	R4. 4-8	R4. 9-3	R4年間	R5. 4-8
一般利用	5.7%	5.3%	5.5%	6.1%
高齢者	77.4%	77.0%	77.2%	77.2%
障害者・介添人	11.0%	9.7%	10.3%	9.0%
小人	3.8%	5.0%	4.5%	5.2%
出産支援	2.1%	2.9%	2.6%	2.5%

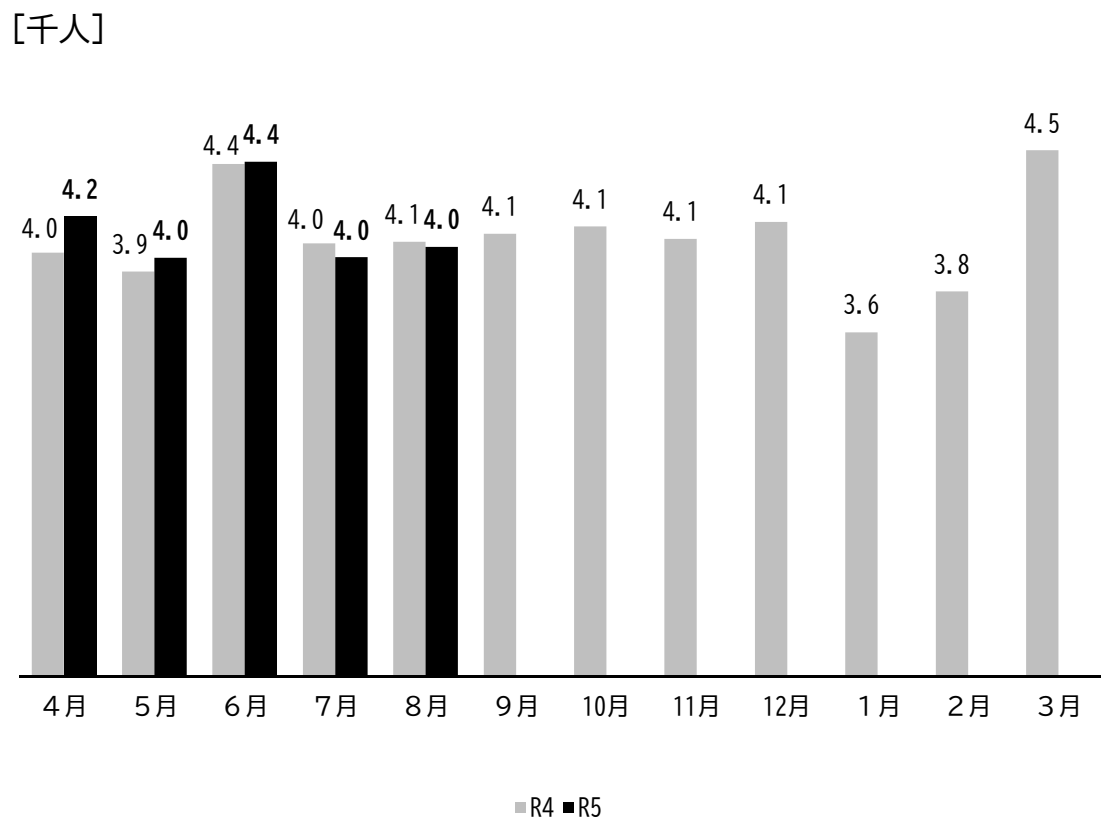
※一般利用には乗継を含む



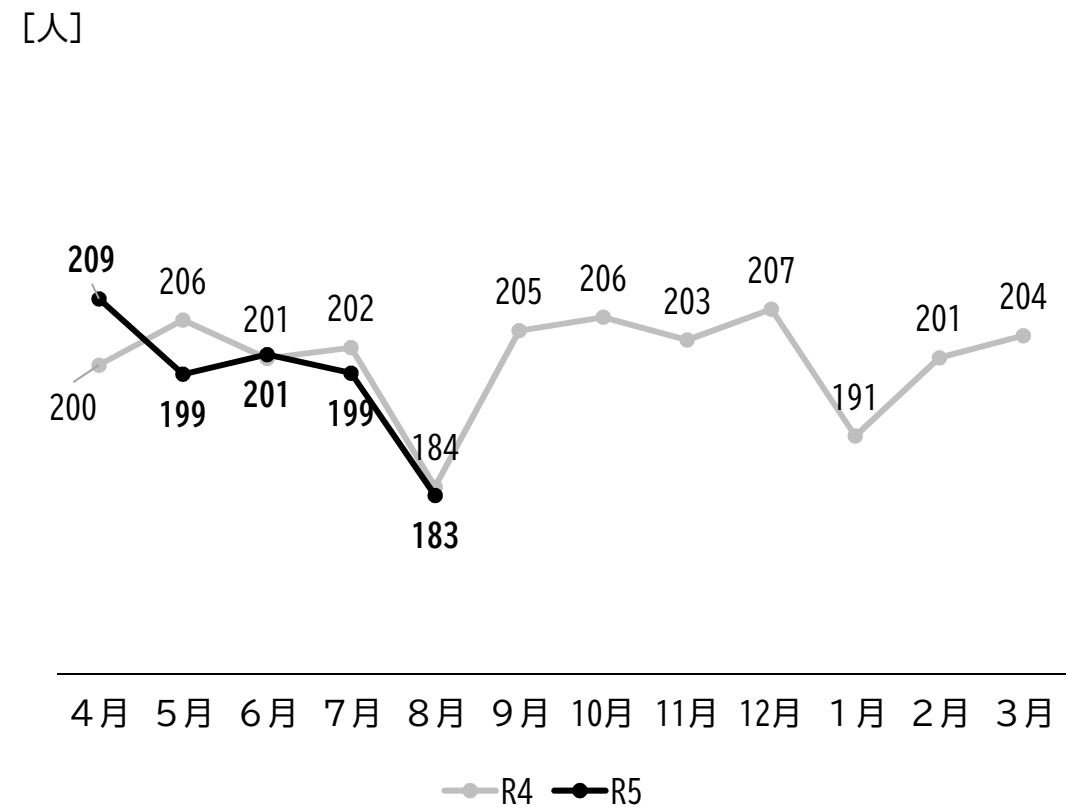
つくたく月別利用者数

- ・ 月別の利用者数は、前年度同期と比較し、4月から6月は増加したが、7月及び8月は微減であった。
- ・ 1日あたりの利用者数は、4月以外のすべての月で減少が見られた。

▼月別利用者数



▼1日当たり利用者数



つくたく地区別・時間帯別利用者数

- 地区別に見ると、筑波地区、桜地区、谷田部地区で減少が見られた。
- 時間帯別に見ると、9時台及び12時台の利用者数が100人以上減少し、15時台及び16時台の利用者数が100人以上増加が見られた。

▼地区別・時間帯別 利用者数

[人]

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	579	519	390	248	336	327	355	458	3,212
大穂・豊里	648	563	390	470	405	404	336	393	3,609
桜	524	478	489	362	327	311	420	488	3,399
谷田部	1,162	1,113	736	720	717	920	864	910	7,142
荃崎	483	456	325	398	359	417	264	368	3,070
全地区合計	3,396	3,129	2,330	2,198	2,144	2,379	2,239	2,617	20,432



[人]

R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	506	513	349	235	373	290	285	513	3,064
大穂・豊里	617	529	395	449	417	422	441	533	3,803
桜	517	510	456	333	330	312	426	478	3,362
谷田部	984	1,071	763	724	728	913	870	1,029	7,082
荃崎	434	480	342	347	376	513	373	414	3,279
全地区合計	3,058	3,103	2,305	2,088	2,224	2,450	2,395	2,967	20,590

前年同期比100人以上増加
 前年同期比100人以上減少

つくタク1台当たり利用者数

- 1台当たりの利用者数は、前年度同期と比較して、全地区平均の13時台から16時台で増加が見られた。一方で9時台から12時台では減少が見られた。
- 前年度同期と比較して、大穂・豊里地区では15時台と16時台、荃崎地区では14時台と15時台で20人以上増加が見られた。一方で、谷田部地区の9時台、荃崎地区の12時台で20人以上減少が見られた。

▼地区別・時間帯別 1台当たり利用者数 [人/台]

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	145	130	130	124	112	82	89	115	116
大穂・豊里	162	141	195	157	135	101	84	98	134
桜	175	159	163	181	164	156	140	163	162
谷田部	194	186	184	180	179	153	144	152	171
荃崎	161	152	163	199	180	139	88	123	150
全地区平均	170	156	166	169	153	125	112	131	148



[人/台]

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
筑波	4	4	3	2	3	4	4	4
大穂・豊里	4	4	2	3	3	4	4	4
桜	3	3	3	2	2	2	3	3
谷田部	6	6	4	4	4	6	6	6
荃崎	3	3	2	2	2	3	3	3

※正午前後は昼休憩により稼働台数が減少する

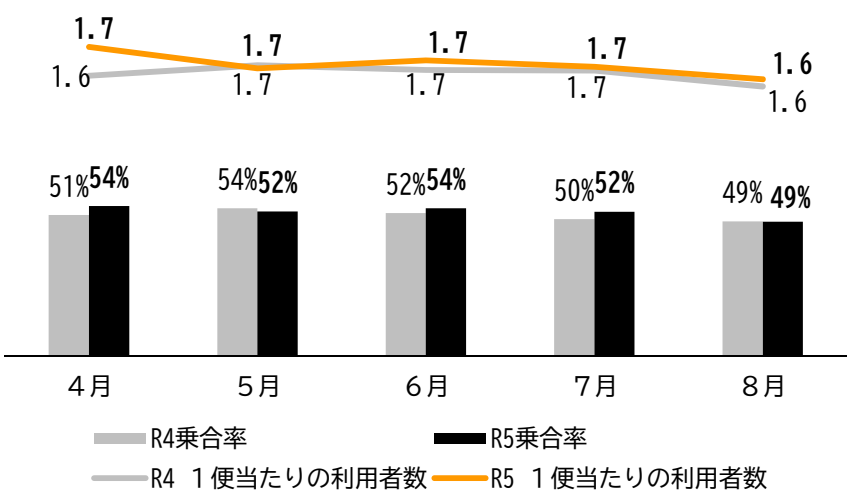
- 前年同期比 20人/台以上増加
- 前年同期比 20人/台以上減少

R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	127	128	116	118	124	73	71	128	111
大穂・豊里	154	132	198	150	139	106	110	133	140
桜	172	170	152	167	165	156	142	159	160
谷田部	164	179	191	181	182	152	145	172	171
荃崎	145	160	171	174	188	171	124	138	159
全地区平均	153	155	165	161	159	129	120	148	147

つくたく乗合率

- 前年度同期と比較して、乗合率の大幅な変化は見られなかった。
- 地区別・時間帯別にみると、増減の差にバラつきが見られた。前年度同期と比較すると、特に谷田部地区の16時台で乗合率が減少し、荃崎地区の12時台で増加が見られた。

▼月別 乗合率



▼地区別・時間帯別 乗合率

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	48%	56%	41%	38%	37%	33%	24%	42%	41%
大穂・豊里	57%	50%	61%	51%	47%	32%	35%	28%	45%
桜	59%	51%	56%	62%	54%	52%	45%	49%	53%
谷田部	70%	64%	63%	62%	62%	51%	49%	50%	59%
荃崎	53%	51%	57%	69%	60%	48%	29%	45%	51%
全地区平均	59%	56%	56%	57%	53%	44%	39%	44%	51%



R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	46%	58%	40%	39%	46%	34%	34%	44%	44%
大穂・豊里	53%	45%	68%	49%	53%	43%	46%	33%	48%
桜	60%	63%	57%	53%	58%	55%	46%	52%	56%
谷田部	52%	57%	67%	62%	62%	47%	47%	62%	56%
荃崎	52%	58%	63%	51%	65%	60%	47%	53%	56%
全地区平均	53%	56%	60%	53%	57%	48%	45%	50%	52%

前年同期比 5ポイント以上増加

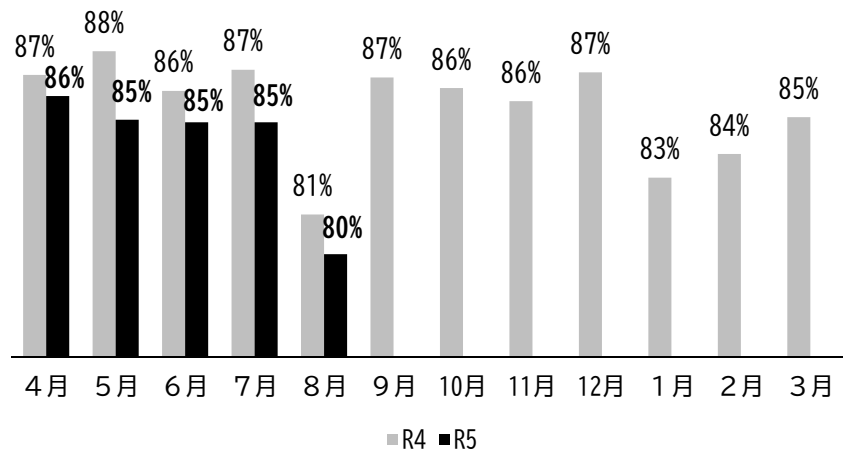
前年同期比 5ポイント以上減少

※乗合率は稼働した台数のうち、2人以上利用のあった台数の割合を示す

つくタク車両稼働率

- 地区別に見ると、前年度同期と比較して、平均稼働率は同程度または微減した。
- 時間帯別に見ると、前年度同期と比較して、15時台、16時台を除く時間帯で稼働率の減少が見られた。
- 月別に見ると、前年度同期と比較して、全ての月で減少が見られた。

▼月別 稼働率



前年同期比 5ポイント以上増加
 前年同期比 5ポイント以上減少

▼地区別・時間帯別 車両稼働率

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	89%	75%	87%	83%	76%	57%	67%	74%	75%
大穂・豊里	88%	85%	95%	90%	82%	71%	58%	72%	79%
桜	95%	93%	91%	96%	95%	93%	87%	93%	93%
谷田部	98%	98%	97%	98%	97%	92%	86%	92%	94%
荃崎	93%	89%	92%	97%	96%	82%	63%	75%	85%
全地区平均	93%	89%	93%	93%	89%	79%	73%	82%	86%

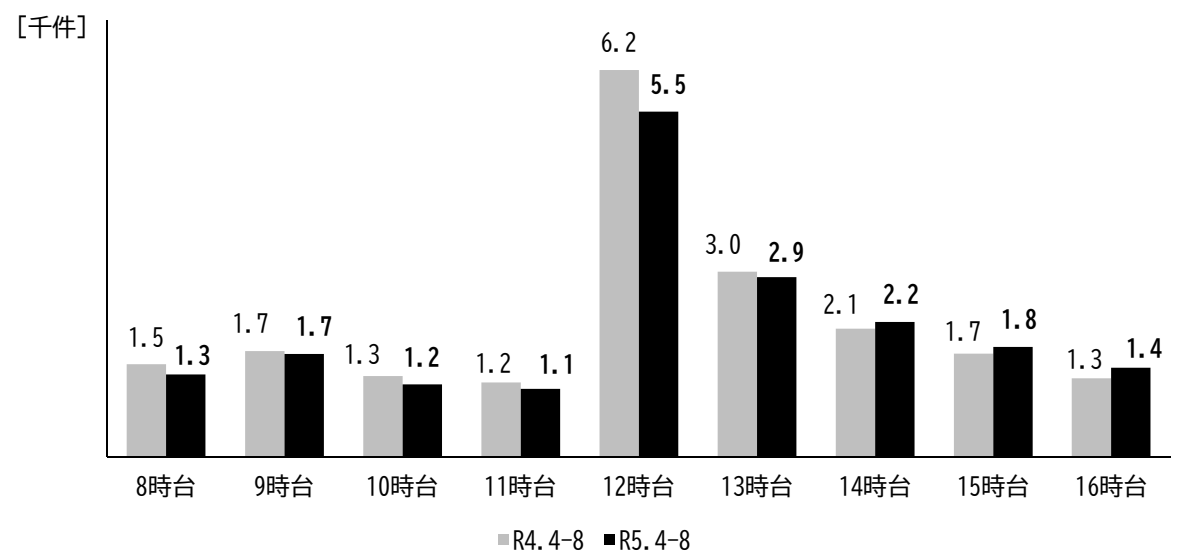


R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	平均
筑波	80%	74%	76%	79%	79%	50%	49%	83%	70%
大穂・豊里	85%	81%	91%	90%	81%	66%	67%	88%	80%
桜	94%	90%	85%	96%	91%	88%	87%	92%	90%
谷田部	95%	98%	97%	99%	97%	92%	85%	91%	94%
荃崎	81%	82%	87%	91%	89%	84%	72%	77%	82%
全地区平均	88%	86%	88%	92%	88%	76%	73%	87%	84%

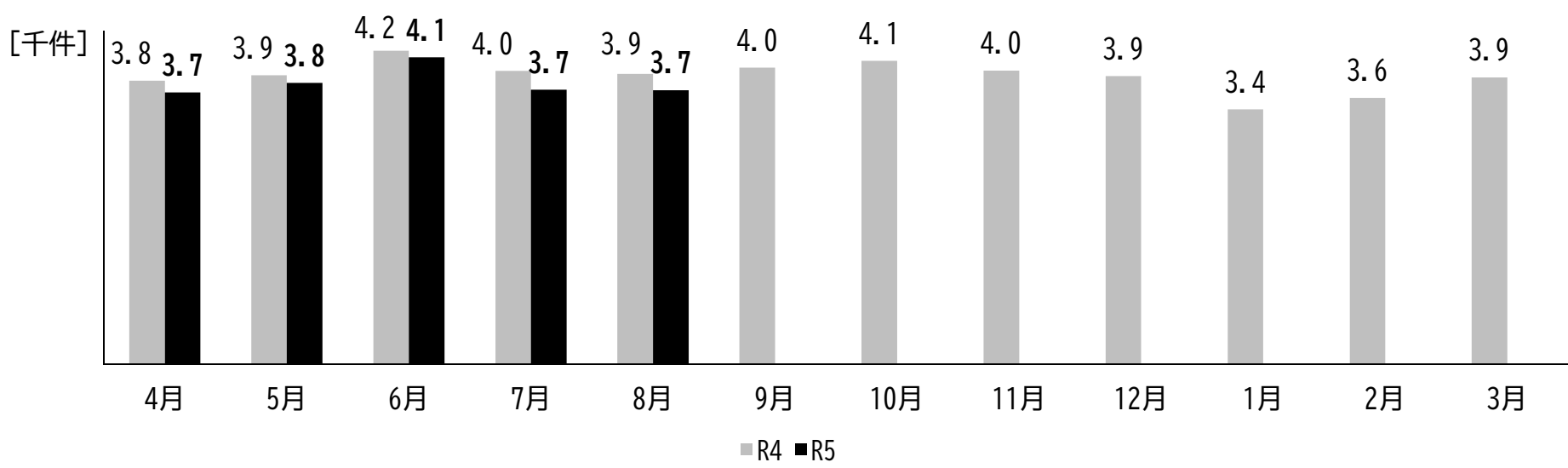
つくタクの予約センターへの電話着信数

- 月別応答数について前年度同期と比較して、全ての月で着信数の減少が見られた。
- 時間別応答数について前年度同期と比較して、14時台、15時台、16時台は増加しているが、そのほかの時間帯では減少が見られた。

▼時間別応答数（4-8月合計）



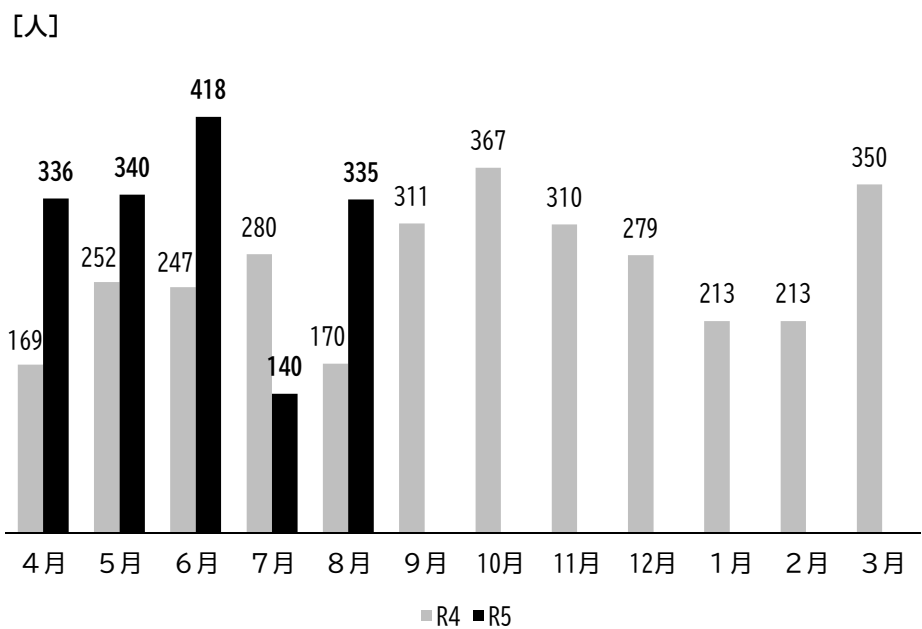
▼月別応答数



つくタクの予約お断り数

- 地区別に見ると、前年度同期と比較して、すべての地区において、お断り数の増加が見られた。
- 時間帯別に見ると、前年度同期と比較して、9時台のお断りに減少が見られた。その他の時間帯は20人以上の増加が見られた。
- 月別に見ると、7月以外で増加が見られた。

▼月別お断り数



▼地区別・時間帯別 お断り数

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	13	12	2	14	4	1	6	4	56
大穂・豊里	29	8	12	20	8	1	5	4	87
桜	47	51	31	55	60	54	20	38	356
谷田部	115	75	70	82	82	28	28	74	554
荃崎	7	6	14	15	11	4	3	5	65
全地区合計	211	152	129	186	165	88	62	125	1,118



R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	9	19	19	24	15	7	13	11	117
大穂・豊里	51	23	47	20	17	5	9	25	197
桜	56	59	73	74	72	49	31	84	498
谷田部	76	70	80	101	85	41	33	89	575
荃崎	15	25	25	46	40	14	10	7	182
全地区合計	207	196	244	265	229	116	96	216	1,569

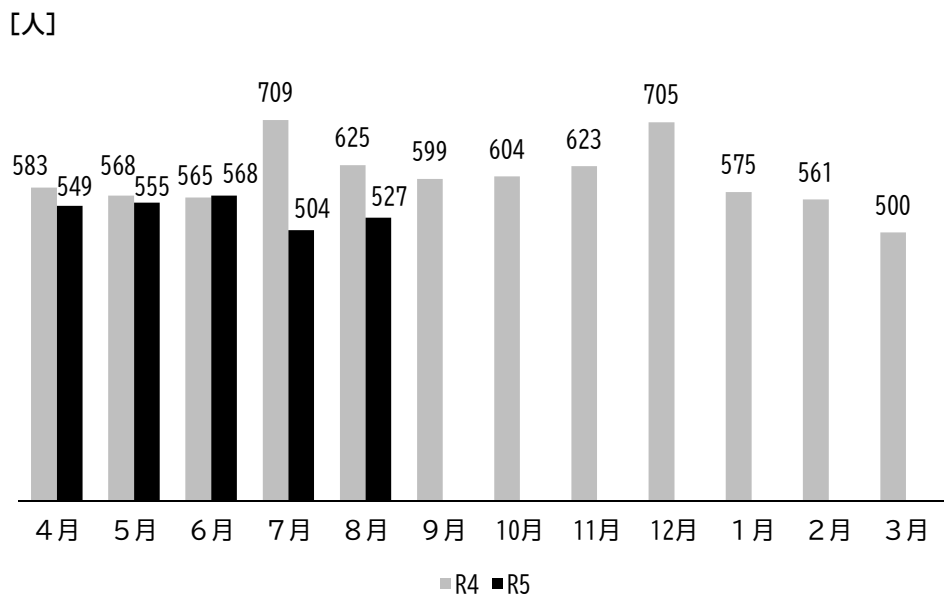
前年同期比 20人以上減少

前年同期比 20人以上増加

つくたくの予約キャンセル数

- 地区別に見ると、前年度同期と比較して、キャンセル数の大幅な減少が見られた。
- 前年度同期と同様に、16時台のキャンセル数が多い。
- 時間帯別に見ると、大穂・豊里地区の16時台のみ増加が見られた。
- 特に谷田部地区では、すべての時間帯で20人以上の減少が見られた。

▼月別キャンセル数



▼地区別・時間帯別 キャンセル数

R4. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	37	38	35	28	64	46	40	74	362
大穂・豊里	37	48	32	57	60	36	62	45	377
桜	75	63	70	66	65	61	57	115	572
谷田部	127	179	138	154	136	189	199	274	1,396
荃崎	28	35	45	47	61	44	31	52	343
全地区合計	304	363	320	352	386	376	389	560	3,050



R5. 4-8月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	合計
筑波	32	39	38	30	43	52	36	66	336
大穂・豊里	35	43	31	55	44	48	43	82	381
桜	59	75	65	70	70	66	72	76	553
谷田部	98	140	95	129	107	163	140	225	1,097
荃崎	33	32	38	47	35	59	43	49	336
全地区合計	257	329	267	331	299	388	334	498	2,703

前年同期比 20人以上減少

前年同期比 20人以上増加

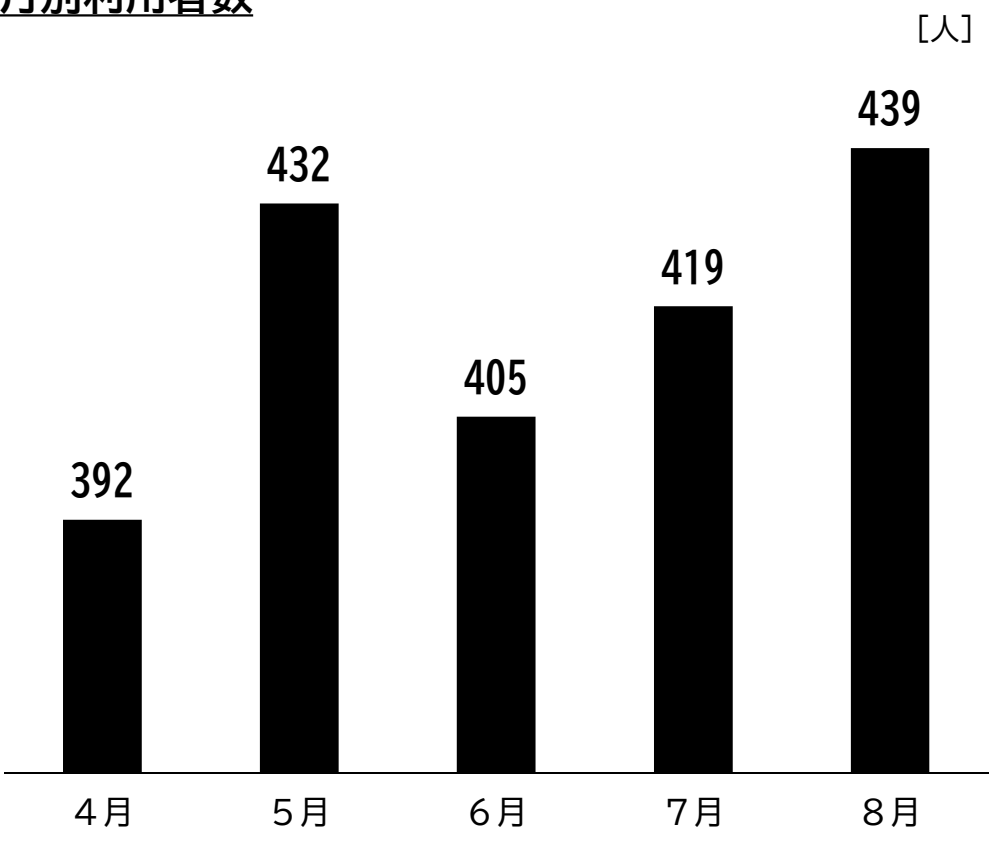
令和5年4月～8月 つくばね号利用実績 (4月1日～8月31日)



利用者数(全体、月別)

- 令和5年4月から令和5年8月までの利用者数は2,087人で、1日当たり13.6人の利用が見られた。
- 1便当たりの利用者は0.85人であり、目標の「1便当たりの利用者数が1.0人以上」には達していない。
- 月別で見ると、5月と8月に利用者が多く見られた。他の月より5月に多かった停留所は筑波交流センターで、8月に多かった停留所は筑波山神社入口であった。地元住民の利用のほか、観光客の利用も見られたものと推測される。

▼月別利用者数



▼全体利用者数

	利用者数	1日当たり利用者数	1便当たり利用者数(全体)	1便当たり利用者数(平日)	1便当たり利用者数(休日)	1便当たり利用者数(補助金対象便に限る)※
R5(4月～8月)	2,087	13.6	0.85	0.90	0.69	0.76

※補助金対象便とは、つくタクの運行時間と重複していない平日の始発便・最終便と土日祝の終日便

利用実績(上り:筑波中央病院 行)

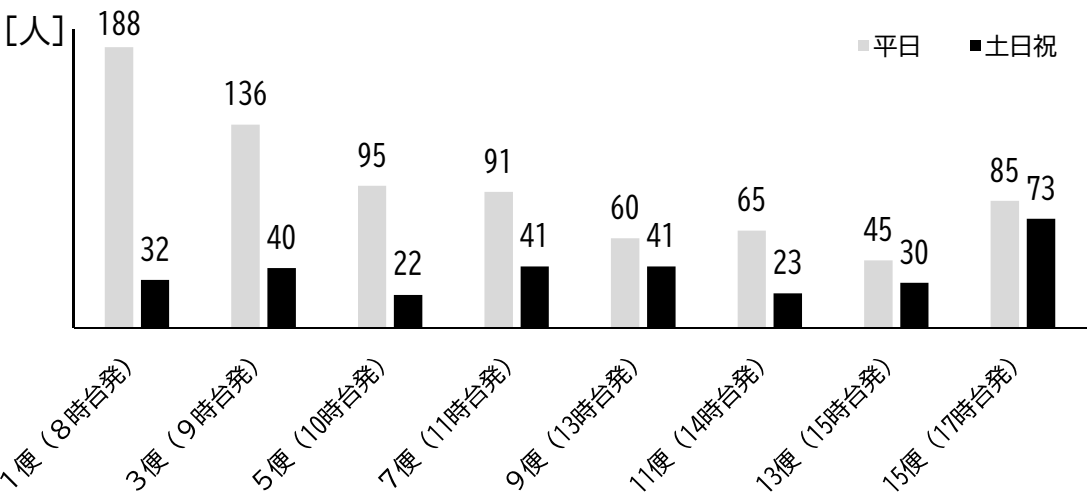
- ・ 利用者属性割合をみると、土日祝日は一般利用割合が高い。
- ・ 便別に見ると、平日の第1便の利用者数が多い。この便で乗降の多い停留所を調べたところ、乗車は市民研修センター、降車は北条仲町(歯科医院及び銀行の最寄り)であった。地元住民の生活路線として利用されていると考えられる。
- ・ 停留所別に見ると、筑波山神社入口、筑波山口、筑波交流センターなど、観光名所や交通結節点となる停留所の利用が多く見られた。

▼利用者属性割合

	平日上り	土日祝上り	平均(上り)	平均(上下)
一般	47%	66%	57%	59%
高齢者	49%	27%	38%	35%
その他	4%	7%	5%	6%

※一般とは、通常料金(割引なし)で乗車した者を指す。
 ※高齢者とは、つくば市高齢者運賃割引証を提示し、割引運賃で乗車した者を指す。
 ※その他とは、障害者割引利用者、つくば市出産支援運賃割引証利用者、小人、未就学児の利用者をまとめたものを指す。

▼便別(時間帯別)利用者数



▼バス停留所別利用者数

34 筑波ふれあいの里入口(つくば湯)	164
33 東山入口	18
32 筑波山郵便局入口	118
31 筑波山神社入口	267
30 二十三夜前	13
29 沼田上坪	4
28 筑波山口	64
27 沼田中坪	8
26 沼田東	0
25 飯名神社入口	0
24 臼井	27
23 臼井入口	4
22 立野西	4
21 立野東	20
20 六所	43
19 館	9
18 神郡東	4
17 神郡	48

■乗車数 ■降車数 [人]

16 神郡南	6
15 田井郵便局	7
14 北条横町北	0
13 平沢官衙西入口	6
12 平沢中央	23
11 平沢東	1
10 山口	46
9 市民研修センター	95
8 北条大池・運動公園入口	1
7 北条新町	10
6 旧北条駅入口	25
5 北条仲町	25
4 北条	0
3 カスミ筑波店	6
2 筑波交流センター	1
1 筑波中央病院	86

※乗車数と降車数は、令和5年4月1日～令和5年8月31日までの累計数

利用実績(下り:筑波ふれあいの里(つくば湯) 行)

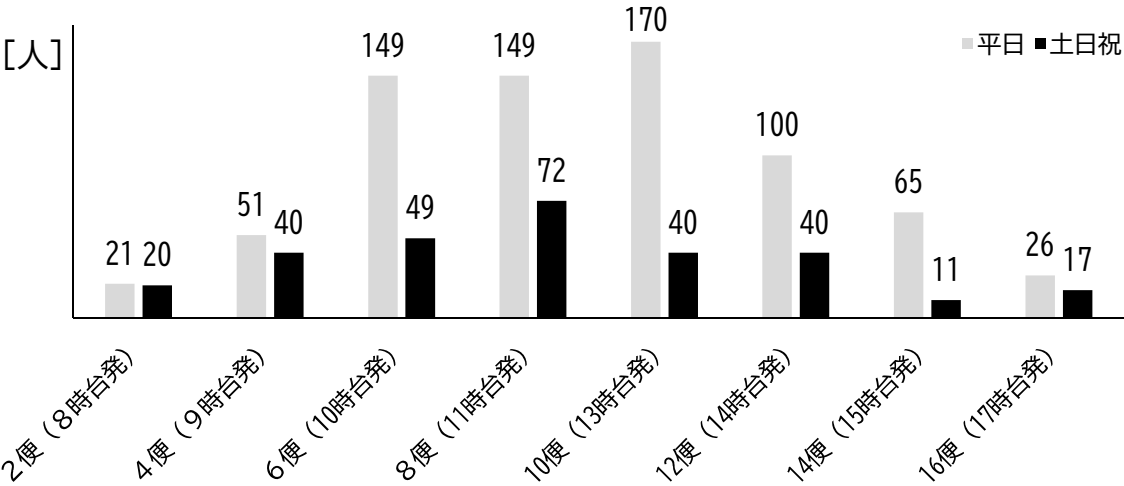
- 利用者属性割合をみると、上り便同様に土日祝日は一般利用割合が高い。
- 便別に見ると、平日の第10便の利用者数が多い。この便で乗降の多い停留所を調べたところ、「筑波山口」での利用が半数を占めていた。今年4月から8月に平日の第10便で筑波山口から乗車した170人のうち、一般が111人、高齢者が58人、小人が1人であったことから、地元住民のみならず、観光利用もあったものと推測される。

▼利用者属性割合

	平日下り	土日祝下り	平均(下り)	平均(上下)
一般	53%	69%	60%	59%
高齢者	42%	24%	33%	35%
その他	4%	7%	7%	6%

※一般とは、通常料金（割引なし）で乗車した者を指す。
 ※高齢者とは、つくば市高齢者運賃割引証を提示し、割引運賃で乗車した者を指す。
 ※その他とは、障害者割引利用者、つくば市出産支援運賃割引証利用者、小人、未就学児の利用者をまとめたものを指す。

▼便別(時間帯別)利用者数



▼バス停留所別利用者数

1 筑波中央病院	112
2 筑波交流センター	171
3 カスミ筑波店	163
4 北条	4
5 北条仲町	44
6 旧北条駅入口	17
7 北条新町	7
8 北条大池・運動公園入口	13
9 市民研修センター	15
10 山口	11
11 平沢東	0
12 平沢中央	6
13 平沢官衙西入口	2
14 北条横町北	0
15 田井郵便局	7
16 神郡南	2
17 神郡	4
18 神郡東	8

■乗車数 ■降車数 [人]

19 館	4
20 六所	13
21 立野東	27
22 立野西	3
23 臼井入口	9
24 臼井	4
25 飯名神社入口	4
26 沼田東	0
27 沼田中坪	1
28 筑波山口	318
29 沼田上坪	22
30 二十三夜前	5
31 筑波山神社入口	17
32 筑波山郵便局入口	6
33 東山入口	0
34 筑波ふれあいの里入口(つくば湯)	68

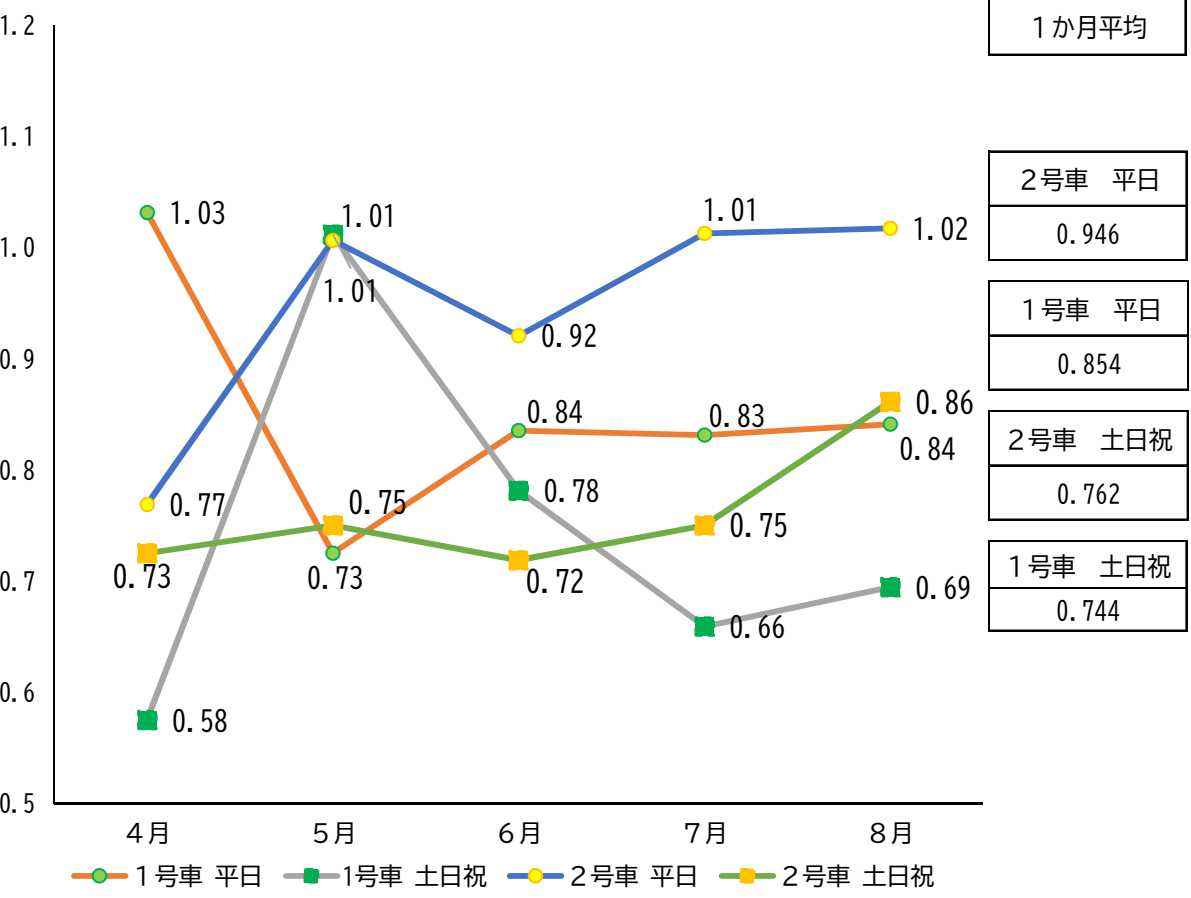
※乗車数と降車数は、令和5年4月1日～令和5年8月31日までの累計数

1便当たり利用者数

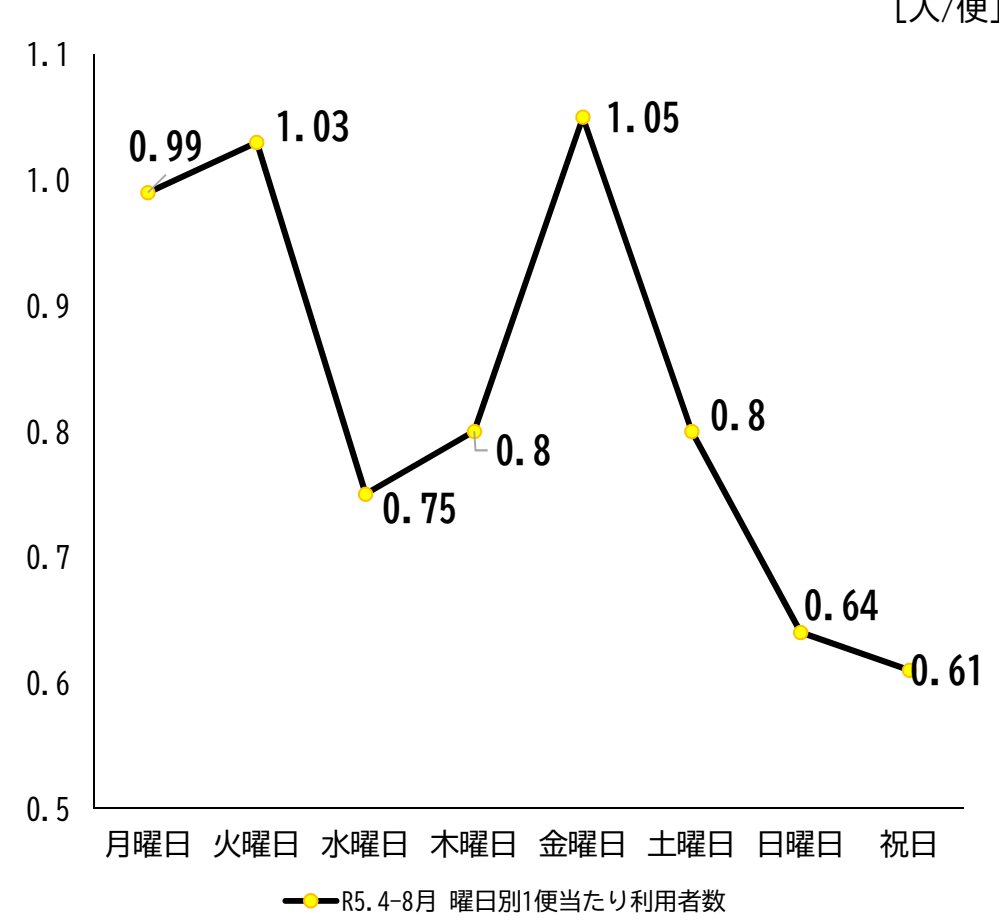
目標:1便当たりの利用者数が1.0人以上

- ・ 車両別の1便当たり利用者数は、各車両及び曜日ごとに平均すると、1.0人以上を下回った。
- ・ 特に土日祝日は、1号車と2号車を平均して0.75人という結果になった。
- ・ 曜日別の1便当たり利用者数は、火曜日と金曜日で多く見られた。それに対し、日曜日及び祝日の利用者が大幅に少なかった。

▼車両別の1便当たり利用者数(R5.4-8) [人/便]



▼曜日別の1便当たり利用者数(R5.4-8) [人/便]



(1号車:1、4、5、8、9、12、13及び16便 2号車:2、3、6、7、10、11、14及び15便)

令和5年4月～8月 路線バス運行実証実験 (石下・土浦線経路変更)利用実績 (4月1日～8月31日のサンプル調査)



路線バス運行実証実験事業(石下・土浦線経路変更) 利用状況

※利用者数は、毎月実施している1週間のサンプル調査結果

[サンプル調査期間別利用者数]

- 調査週ごとに利用者数のバラつきが見られるが、全体的な利用者数は昨年度を上回った。
- 学園の森西を除く4つの停留所の1日当たりの平均利用人数は5.8人である。4-8月のサンプル調査期間では、目標値の4.0人を上回った。

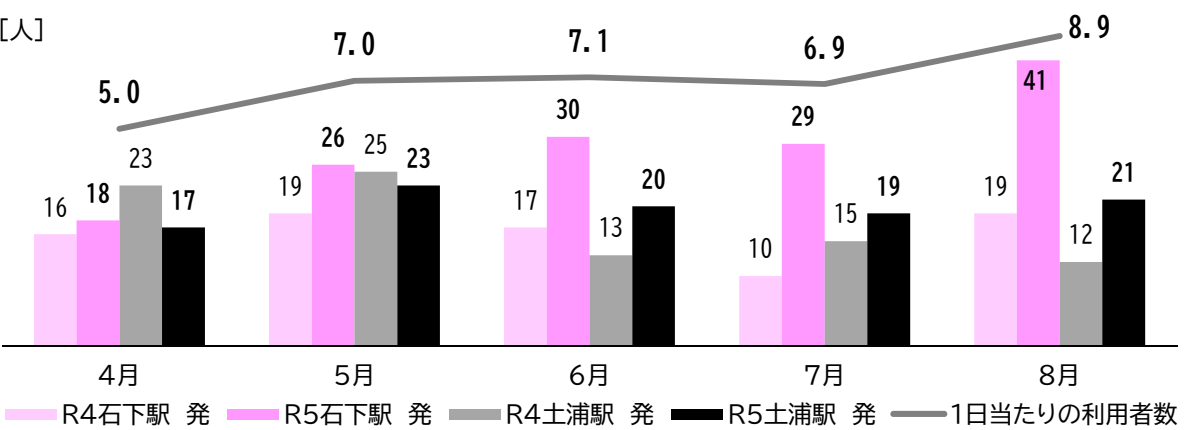
[停留所別利用者数]

- つくばセンターや土浦駅方面に向かうバス(石下駅発)の利用者の増加が見られた。
- 昨年度と同様に、方面乗降問わず、学園広場公園(学園の森2丁目)の利用者が見られた。

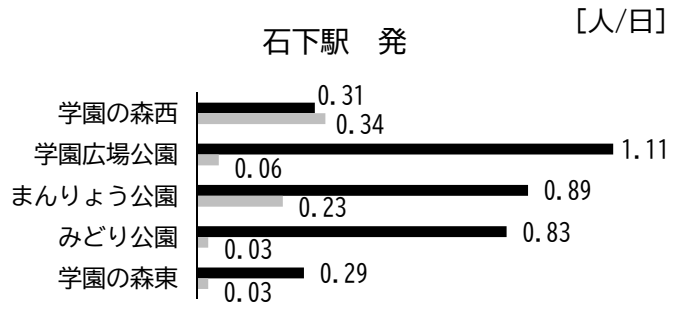
[時間帯別利用者数]

- 時間帯に大きな差は見られないことから、朝の通勤通学利用としての役割と昼の買い物等に利用する生活路線としての役割の双方を担っていると推測される。

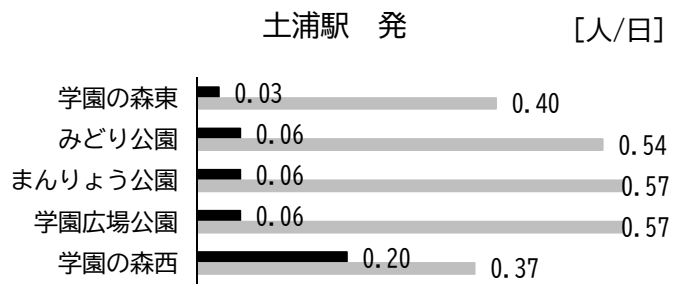
▼サンプル調査期間別利用者数



▼方面別停留所別利用者数

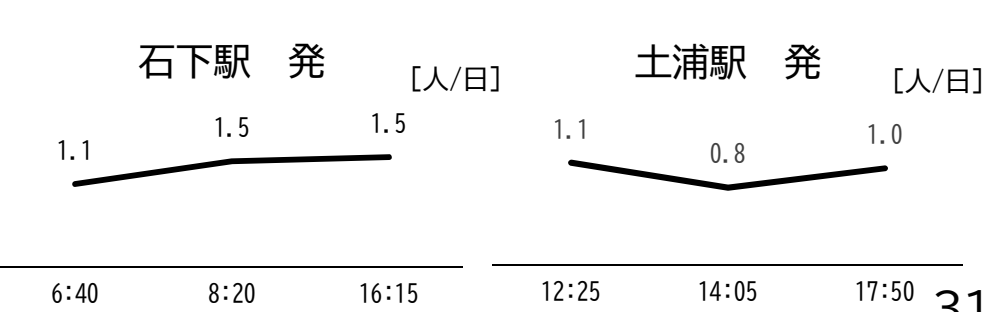


■乗車数(令和5年4-8月サンプル調査期間の1日当たり平均)
 ■降車数(令和5年4-8月サンプル調査期間の1日当たり平均)



■乗車数(令和5年4-8月サンプル調査期間の1日当たり平均)
 ■降車数(令和5年4-8月サンプル調査期間の1日当たり平均)

▼時間帯別利用者数



令和5年4月～8月 路線バス運行実証実験 (松代南循環)利用実績 (4月1日～8月31日)



路線バス運行実証実験事業(松代南循環) 利用状況

[月別利用者数]

- 令和5年4月から令和5年8月までの合計利用者数は、16,842人である。
- 昨年10月から3月までの利用者数(14,212人)と比較すると、2,630人の増加が見られた。
- 1便当たりの平均利用人数は4.8人である。損益分岐点となる利用者数(約14人)を下回っている。

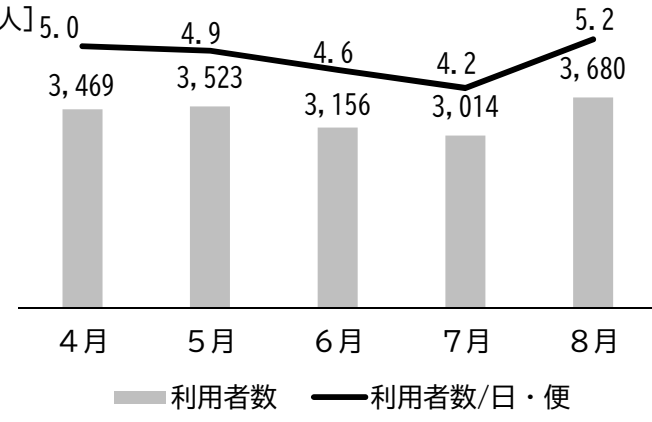
[停留所別利用者数]

- 停留所別では、実証実験を開始してから依然として、松代循環と同一の停留所である「手代木団地」と「つくばセンター」での乗降が多く見られた。
- 昨年10月から3月までと比較して、全ての停留所で増加が見られた。

[時間帯別利用者数]

- 朝と夜の利用がほかの時間帯と比べて多いことから、通勤通学で利用している人が多いと推測される。

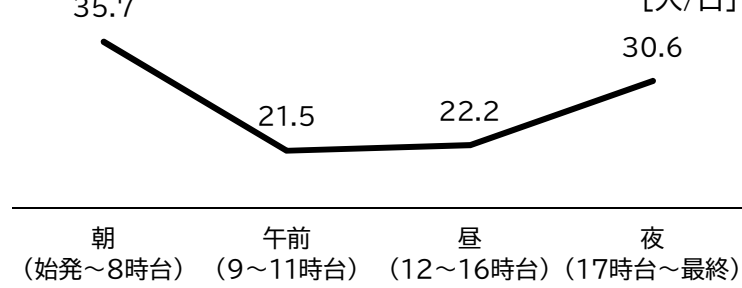
▼月別利用者数



▼日別・便別利用者数

	日	便
R5(4月-8月)	110.1	4.8

▼時間帯別利用者数



▼停留所別利用者数(1日当たり)

[R4.10-R5.3]			[R5.4-8]		
		[人]			[人]
1 つくばセンター	乗車	35.4	1 つくばセンター	乗車	47.8
	降車	0		降車	0
2 宮下児童公園南	乗車	0.8	2 宮下児童公園南	乗車	1.0
	降車	8.9		降車	10.7
3 松野木東	乗車	0.5	3 松野木東	乗車	0.9
	降車	3.8		降車	5.2
4 松野木西	乗車	0.3	4 松野木西	乗車	0.9
	降車	2.1		降車	2.8
5 松代五丁目東	乗車	2.1	5 松代五丁目東	乗車	3.7
	降車	4.6		降車	5.4
6 手代木中学校前	乗車	4.4	6 手代木中学校前	乗車	7.5
	降車	4.5		降車	6.3
7 手代木団地	乗車	11.0	7 手代木団地	乗車	11.9
	降車	8.9		降車	12.8
8 松代	乗車	1.6	8 松代	乗車	1.7
	降車	1.0		降車	1.2
9 松代五丁目	乗車	2.4	9 松代五丁目	乗車	4.8
	降車	1.5		降車	1.9
10 松代南	乗車	2.7	10 松代南	乗車	3.7
	降車	0.7		降車	1.2
4 松野木西	乗車	3.3	4 松野木西	乗車	3.5
	降車	0.2		降車	0.5
3 松野木東	乗車	6.7	3 松野木東	乗車	10.2
	降車	0.4		降車	0.5
2 宮下児童公園南	乗車	8.3	2 宮下児童公園南	乗車	12.6
	降車	0.4		降車	1.2
1 つくばセンター	乗車	0	1 つくばセンター	乗車	0
	降車	42.4		降車	60.4

▼(参考)松代循環の停留所別利用者数(1日当たり)

		R4.9	R4.10-R5.3の平均	R5.4-8の平均
1 つくばセンター	乗車	158.5	151.3	171.6
	降車	130.2	128.6	145.5
8 手代木団地	乗車	36.0	28.1	35.5
	降車	31.9	26.6	33.0

※松代循環の利用者データについては、ICカード利用履歴によるもの

利用実績まとめ(前年度比較)

■市が実施している公共交通施策に関する4-8月期の比較

[4月-8月利用者数]

- つくバス・つくタクの利用者数は、前年度同期と比較して増加が見られた。特につくバス全体の増加率は約19%と顕著であった。
- つくばね号は、運行を開始した昨年10月から今年3月までの利用者数(2,469人)と、ほとんど同程度の利用者数が見込まれる。

[路線・地区別利用者数]

- つくバスについて路線別で見ると、北部シャトルは前年度同期と比較して3万人以上(約26%)の増加が見られるなか、谷田部シャトルは300人程度(約1%)の増加にとどまるなど、シャトルによって増加割合にばらつきが見られた。
- つくタクについて地区別に見ると、大穂・豊里地区及び荃崎地区では増加が見られたが、そのほかの地区では減少が見られた。

公共交通施策	利用者数		R5-R4 比較	R5-R4 増減率
	R5	R4		
1 つくバス	464,528	389,713	74,815	19%
(1)北部シャトル	161,811	127,965	33,846	26%
(2)小田シャトル	29,518	23,388	6,130	26%
(3)作岡シャトル	34,469	29,411	5,058	17%
(4)吉沼シャトル	27,597	22,881	4,716	21%
(5)上郷シャトル	35,489	26,859	8,630	32%
(6)西部シャトル	7,621	6,310	1,311	21%
(7)南部シャトル	101,377	92,769	8,608	9%
(8)谷田部シャトル	29,345	29,072	273	1%
(9)自由ヶ丘シャトル	15,693	13,669	2,024	15%
(10)荃崎シャトル	21,608	17,389	4,219	24%
2 つくタク	20,590	20,432	158	1%
(1)筑波地区	3,064	3,212	▲ 148	-5%
(2)大穂・豊里地区	3,803	3,609	194	5%
(3)桜地区	3,362	3,399	▲ 37	-1%
(4)谷田部地区	7,082	7,142	▲ 60	-1%
(5)荃崎地区	3,279	3,070	209	7%
3 つくばね号	2,087	—	—	—

新高校生(令和5年度入学生)への バスお試し乗車券配布結果について

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

新高校生(令和5年度入学生)へのバスお試し乗車券配布概要

茨城県公共交通活性化会議からの依頼に基づき、令和4年度第3回つくば市公共交通活性化協議会に付議し承認された、新高校生(令和5年度入学生)に対するバスお試し乗車券の利用結果を次のとおり報告する。

■バスお試し乗車券の概要

対象者 次のいずれかの茨城県内の学校への令和5年4月入学生

- ・ 高等学校
- ・ 高等専門学校
- ・ 特別支援学校(高等部)
- ・ 中高一貫校

有効期間 令和5年3月11日(土)～4月28日(金)※49日間

使用方法 ① リーフレット(別紙参照)からバスお試し乗車券を切り離し、**在住の市町村**及び**入学高校名を記入**
② 降車の際に、バスお試し乗車券をバス運転士に掲示後、整理券及び現金100円と一緒に運賃箱に投入
③ バスお試し乗車券は下記バス会社運行路線バス(高速バス及び深夜バス除く)及び事業に協賛した**コミュニティバス**で、乗車か降車、いずれかの停留所が茨城県内である場合のみ利用可

路線バス 関東鉄道(株)、関鉄パープルバス(株)、関鉄グリーンバス(株)、関鉄観光バス(株)、茨城交通(株)、大利根交通自動車(株)、朝日自動車(株)、茨城急行自動車(株)、ジェイアールバス関東(株)、(株)昭和観光自動車、椎名観光バス(株)

コミュニティバス 水戸市・城里町広域連携バス「石塚・赤塚線」、土浦市まちづくり活性化バス「キララちゃん」、龍ケ崎市コミュニティバス、牛久市コミュニティバス「かっぱ号 通勤ライナー(上柏田・むつみルート、さくら台・みどり野ルート)」、つくば市コミュニティバス「つくバス」、鹿島市・潮来市・行方市 鹿行広域バス「神宮あやめ白帆ライン」、潮来市・行方市「鹿行北浦ライン」、筑西市広域連携バス、筑西市地域内運行バス、筑西市道の駅循環バス、筑西・下妻広域連携バス、坂東市 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」、土浦市・かすみがうら市・行方市「霞ヶ浦広域バス」、かすみがうら市・土浦市「千代田神立ライン」、桜川市バス「ヤマザクラGO」、つくばみらい市コミュニティバス「みらい号」

バスお試し乗車券利用結果(つくば市内の学校別)

配布区分			学校名	募集定員		配布部数	利用枚数				市町村別利用枚数
				中学校	高校		関東鉄道	パープル	JRバス	3社計	
高校等	つくば市内	県立・全日制	筑波高等学校		120	125			1	1	常総市1
			竹園高等学校		320	325	35	5	4	44	土浦市5、石岡市2、取手市2、牛久市12、つくば市14、稲敷市1、桜川市2、阿見町4、八千代町2
			つくばサイエンス高等学校		240	245	10			10	土浦市2、取手市3、牛久市1、つくば市4
			並木中等教育学校	160	160	330	74	4		78	水戸市3、土浦市2、取手市4、牛久市8、つくば市49、守谷市1、かすみがうら市9、小美玉市1、阿見町1
		県立・定時制	茎崎高等学校		160	160	9			9	牛久市7、つくば市2
		私立・全日制	茗溪学園高等学校	230	40	530	8			8	牛久市3、つくば市3、守谷市1、県外1
			つくば秀英高等学校		280	330				0	
		特別支援学校	つくば特別支援学校	40	48	90				0	
		小計				2,135	136	9	5	150	
	茨城県内	全学校				31,240				1,775	
関係機関						780					
予備						980					
合計						33,000					

- 33,000部作成し、31,240部を茨城県内の高校等に配布、**つくば市内では2,135部配布**
- 茨城県内の高校等全体では1,775枚利用された(県内配布部数の約5.7%)。
- **つくば市内の高校等では150枚利用**された(県内利用枚数の約8.5%)。
- つくば市内の高校では**竹園高等学校、並木中等教育学校の利用が多く見られた。**
- つくば市内の高校等の移動には、関東鉄道、関鉄パープルバス、ジェイアールバス関東のバスが利用された。(つくバスでの利用枚数は、関東鉄道の利用枚数に合算)
- つくば市内の高校等に、県内13市町、県外1か所からの利用があった。

バスお試し乗車券利用結果(つくば市の利用者別)

▼つくば市在住者の乗車券利用データ

区分	市町村名	学校名	合計		事業者別（つくば市在住者のみ）			
			学校別利用者数	つくば市在住者のみ	関東鉄道	パープル	グリーン	JRバス
県立・全日制	水戸市	水戸第一	44	2	2			
	笠間市	笠間	2	1		1		
	土浦市	土浦第一	81	30	23	3	4	
		土浦第二	90	66	40	26		
		土浦第三	52	13	10	3		
		土浦工業	29	14	8	6		
	石岡市	石岡第一	40	5	3		2	
		石岡第二	15	3	3			
	小美玉市	中央	3	1	1			
	龍ヶ崎市	竜ヶ崎第一	9	2	2			
	取手市	取手第二	17	2	2			
		取手松陽	26	1	1			
	牛久市	牛久	5	3				3
		牛久栄進	95	37	25			12
	つくば市	竹園	44	14	13	1		
		並木中等（高等部）	78	49	45	4		
		つくばサイエンス	10	4	4			
	下妻市	下妻第一	10	5	1	4		
		下妻第二	19	9	3	6		
	常総市	水海道第一	1	1	1			
		水海道第二	2	2	2			
	守谷市	守谷	23	9	9			
県立・定時制	つくば市	荃崎	9	2	2			
私立・全日制	土浦市	つくば国際大学	11	4	4			
		土浦日本大学	53	11	9	2		
	取手市	江戸川学園取手	54	7	7			
	つくば市	茗溪学園	8	3	3			
合計			830	300	223	56	6	15

- 茨城県内の高等学校等に入学し、かつ、つくば市内在住の学生に2,135部(学生1人に対して1部、そのほか教師分及び予備分も含む)配布された。
- そのうち、**300枚の利用**があり(市内配布部数の14.1%)、つくば市を含む**13市27校**で、利用が見られた。
- 市外の利用場所として、**土浦市や牛久市の利用が多く見られた。**

▼利用データまとめ

利用者	学校	
	市内	市外
市内	72	228
市外	78	1,397

バスお試し乗車券利用結果(事業者別経年比較)

利用年	関東鉄道	パープル	JRバス	全利用枚数	協力事業者数
H22	-	-	-	877	13
H23	-	-	-	410	12
H24	-	-	-	1,370	12
H25	375	47	32	900	12
H26	867	44	74	1,695	12
H27	938	77	91	1,879	12
H28	530	49	78	1,353	12
H29	355	53	78	1,344	13
H30	355	53	78	1,350	13
R01	435	115	99	1,893	13
R02	304	48	64	1,076	12
R03	1,112	94	96	2,453	17
R04	614	91	136	1,981	17
R05	709	106	106	1,775	14

- 2ページでつくば市内の高校等が記入されていた事業者を抜粋し、バスお試し乗車券の利用枚数を経年比較
- 前年度と比較すると、全利用枚数が**206枚減少**した。
- 関東鉄道(つくバス含む)は、利用枚数が前年度より95枚増加した。

本事業は、つくば市地域公共交通計画に記載の施策19「モビリティ・マネジメント(MM)の実施」に資する事業であるため、次年度以降も主催者である茨城県公共交通活性化会議に協賛し、事業を推進するとともに、結果を確認していく。



最新動画アップ
されてるかな？

バス通学するだけで
SDGsにも
貢献できちゃう☆

英単語暗記
しなきゃ！

自分の好きな
本や音楽に没頭♡

睡眠不足解消！
寝る一択でしょ！

バス停から歩けば
運動不足解消！

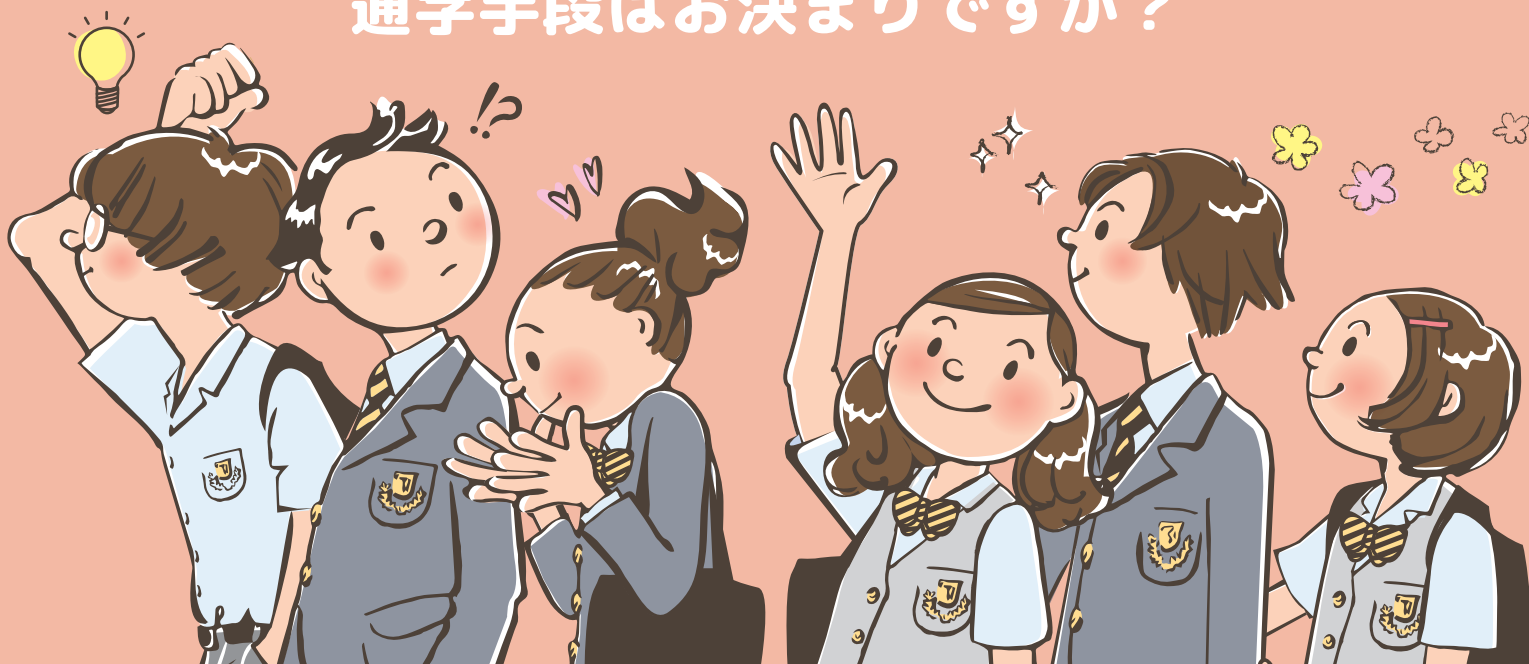
とりあえず
SNSチェック
しとこ〜

みんなとわいわい
通学できて楽しいな♪



テスト勉強の
追い込みだ!!

新入生の皆様、保護者の皆様
通学手段はお決まりですか？



【令和5年度新入生限定】 ご利用日: 月 日

ご利用する前
にご記入ください

バスお試し乗車券

お住まいの市町村:

入学する学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。

有効期間▶令和5年3月11日(土)~令和5年4月28日(金)

【令和5年度新入生限定】 ご利用日: 月 日

ご利用する前
にご記入ください

バスお試し乗車券

お住まいの市町村:

入学する学校名:

バスを降りる際は、この券 + 整理券 + 現金100円を料金箱に入れてください。

有効期間▶令和5年3月11日(土)~令和5年4月28日(金)

バスや鉄道で通学するメリットとは 整列乗車や座席のゆずり合いなど生活マナーが身に付く!

バスや鉄道での移動中は、読書や音楽鑑賞、スマホ操作など、その時間を自分のペースで有効に活用でき、天候や季節を問わず、安全で快適に過ごすことができます。
また、毎日決まった時刻のバスや鉄道を利用することで、自然と規則正しい生活習慣が身に付くというメリットもあります。
さらに、ご家族の送り迎えの負担も軽減され、みんながハッピーに! 毎日仲間と過ごす通学時間は、学生生活の大切な思い出になるはず!



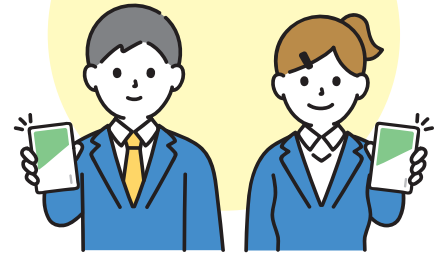
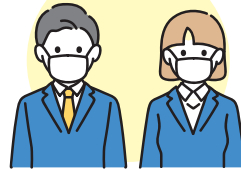
定期券ならこんなにお得!

1ヵ月定期券は、通常運賃の、なんと**40%割引!**
3ヵ月定期券は、さらに**5%割引**になります。

- IC定期券はチャージをすれば、通常のICカードとしてもご利用可能!
(定期区間外の乗降は残高から自動精算されます)
- 片道定期券や学期定期券など、様々なスタイルに対応!
- 記名式定期券であれば、紛失時も再発行が可能です。

※バス会社によって取り扱いが異なりますので、詳しくは各バス会社にお問い合わせください。

※新学期が始まる4月上旬は定期券発売窓口が大変混雑します。
混雑緩和のため、分散購入にご協力をお願いいたします。



定期券で
スマートに通学しよう!

感染症対策も万全です!

バス車内は、運行中常時換気されています。交通事業者は、乗務員の健康管理・マスク着用、換気、定期的な清掃・消毒等を行い、お客様に安心して乗車いただけるよう努めています。(お客様には混雑する車内においてはマスクの着用を推奨しています。)

新型コロナにうつらない、うつさないために、今、できること。

バス・鉄道・タクシーは、

この**3つ**を **守れば**

感染リスクはほとんどありません!

1 常に
しっかり換気!



2 目・鼻・口は
何が何でも触らない!



3 お静かに...
話すならマスク!



公共交通による通学に関するアンケートにご協力ください!

【バスお試し乗車券を利用できるバス一覧】※一部利用できない路線がありますので、詳細はバス会社にお問い合わせください。

路線バス 高速バス及び深夜バスを除く

- 関東鉄道(株) ● 関鉄パープルバス(株) ● 関鉄グリーンバス(株) ● 関鉄観光バス(株) ● 茨城交通(株) ● 大利根交通自動車(株) ● 朝日自動車(株)
- 茨城急行自動車(株) ● ジェイアールバス関東(株) ● 栃昭観光自動車 ● 椎名観光バス(株)

コミュニティバス

- 水戸市・城里町広域連携バス「石塚・赤塚線」 ● 土浦市まちづくり活性化バス「キララちゃん」
- 龍ヶ崎市コミュニティバス ● 牛久市コミュニティバス「かつば号 通勤ライナー(上柏田・むつみルート、さくら台・みどり野ルート)」
- つくば市コミュニティバス「つくバス」 ● 鹿嶋市・潮来市・行方市 鹿行広域バス「神宮あやめ白帆ライン」
- 潮来市・行方市「鹿行北浦ライン」 ● 筑西市広域連携バス ● 筑西市地域内運行バス ● 筑西市道の駅循環バス
- 筑西・下妻広域連携バス ● 坂東市 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」 ● かすみがうら市・土浦市・行方市「霞ヶ浦広域バス」
- かすみがうら市・土浦市「千代田神立ライン」 ● 桜川市バス「ヤマザクラGO」 ● つくばみらい市コミュニティバス「みらい号」

各バス会社の
お問い合わせ先は
コチラから



茨城県公共交通活性化会議 https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kotsuseisaku/chiikikoutsu/kotsu_ibaraki.html

【バスお試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り離し、入学する学校名、お住まいの市町村を記入してからご利用ください。
- この券は、令和5年3月11日(出)から令和5年4月28日(入)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車の利用が可能です。この券は令和5年4月に茨城県内の高等学校等に入学される方のみ、ご利用いただけます。
- ご利用される場合、バスを降りる際に、この券を運転手にはっきりと見えるように提示した後、整理券及び現金100円と一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社の運行する路線バス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(バスお試し乗車券を利用できるバス一覧参照)で、次の①～③に該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

関東鉄道(株)・関鉄パープルバス(株)・関鉄グリーンバス(株)・関鉄観光バス(株)・茨城交通(株)・大利根交通自動車(株)・朝日自動車(株)・茨城急行自動車(株)・ジェイアールバス関東(株)・栃昭観光自動車・椎名観光バス(株)

一般社団法人茨城県バス協会

【バスお試し乗車券の利用方法】

- 切り取り線に沿って切り離し、入学する学校名、お住まいの市町村を記入してからご利用ください。
- この券は、令和5年3月11日(出)から令和5年4月28日(入)まで有効です。
- 乗車券1枚につき、1乗車の利用が可能です。この券は令和5年4月に茨城県内の高等学校等に入学される方のみ、ご利用いただけます。
- ご利用される場合、バスを降りる際に、この券を運転手にはっきりと見えるように提示した後、整理券及び現金100円と一緒に料金箱へ投入してください。
- この券は、右のバス会社の運行する路線バス(高速バス及び深夜バスを除く)及び一部コミュニティバス(バスお試し乗車券を利用できるバス一覧参照)で、次の①～③に該当する場合のみ利用できます。①茨城県内で乗降される場合。②茨城県内で乗車し、茨城県外で降車される場合。③茨城県外で乗車し、茨城県内で降車される場合。

関東鉄道(株)・関鉄パープルバス(株)・関鉄グリーンバス(株)・関鉄観光バス(株)・茨城交通(株)・大利根交通自動車(株)・朝日自動車(株)・茨城急行自動車(株)・ジェイアールバス関東(株)・栃昭観光自動車・椎名観光バス(株)

一般社団法人茨城県バス協会

令和4年度広域連携バス利用実績について

令和5年(2023年)11月7日(木)

総合交通政策課

桜川市・筑西市・つくば市行政界付近拡大図



令和4年度 桜川市広域連携バス利用実績



1 利用実績(桜川市広域連携バス)

▼表 路線全体利用者数

[単位：人]

年度 運行月	令和3年度			令和4年度			
	月合計	1日平均	1便平均	月合計	1日平均	1便平均	前年度比
4	6,861	228.7	10.1	7,030	234.3	9.4	102%
5	6,815	219.8	10.9	7,295	235.3	9.5	107%
6	7,763	258.8	11.2	8,294	276.5	10.9	107%
7	6,352	204.9	9.0	6,516	210.2	8.5	103%
8	2,338	75.4	3.2	3,442	111.0	4.5	147%
9	3,408	113.6	4.9	7,536	251.2	10.0	221%
10	7,083	228.5	10.8	8,380	270.3	10.9	118%
11	7,200	240.0	11.4	7,235	241.2	9.6	100%
12	6,729	217.1	10.5	6,331	204.2	8.2	94%
1	5,424	175.0	9.1	5,919	211.4	8.0	109%
2	4,351	155.4	7.5	6,288	224.6	9.0	145%
3	5,207	168.0	7.3	5,290	170.6	6.8	102%
合計	69,531	—	—	79,556	—	—	114%
平均	5,794	190.4	8.8	6,630	220.1	8.8	114%

- 令和4年度の桜川市広域連携バス(ヤマザクラGO)の路線全体利用者数は、**79,556人**(前年度比**14%増**)。
- 各月の実績は、12月以外前年の数値を上回っている。
- 令和3年10月にダイヤ改正を実施し、増便した結果、路線全体の利用者は増加した。
- このほか、新型コロナウイルス感染拡大前(令和元年度)の利用者数(73,132人)と比較すると、6,424人の増加が見られた。

2 つくば市内停留所利用者数(桜川市広域連携バス)

- つくば市内のバス停留所は、「上大島」、「筑波山口」の2か所である。
- 「上大島」停留所利用者数は1,645人で、前年度より52人増加した(前年度比103%)。
- 「筑波山口」停留所利用者数は13,756人で、前年度より3,934人増加した(前年度比140%)。
- 月ごとの利用者数でみると、前年度と比較して、「上大島」停留所では半数の月で減少が見られたが、バス結節点である「筑波山口」停留所ではすべての月で大幅な増加が見られた。

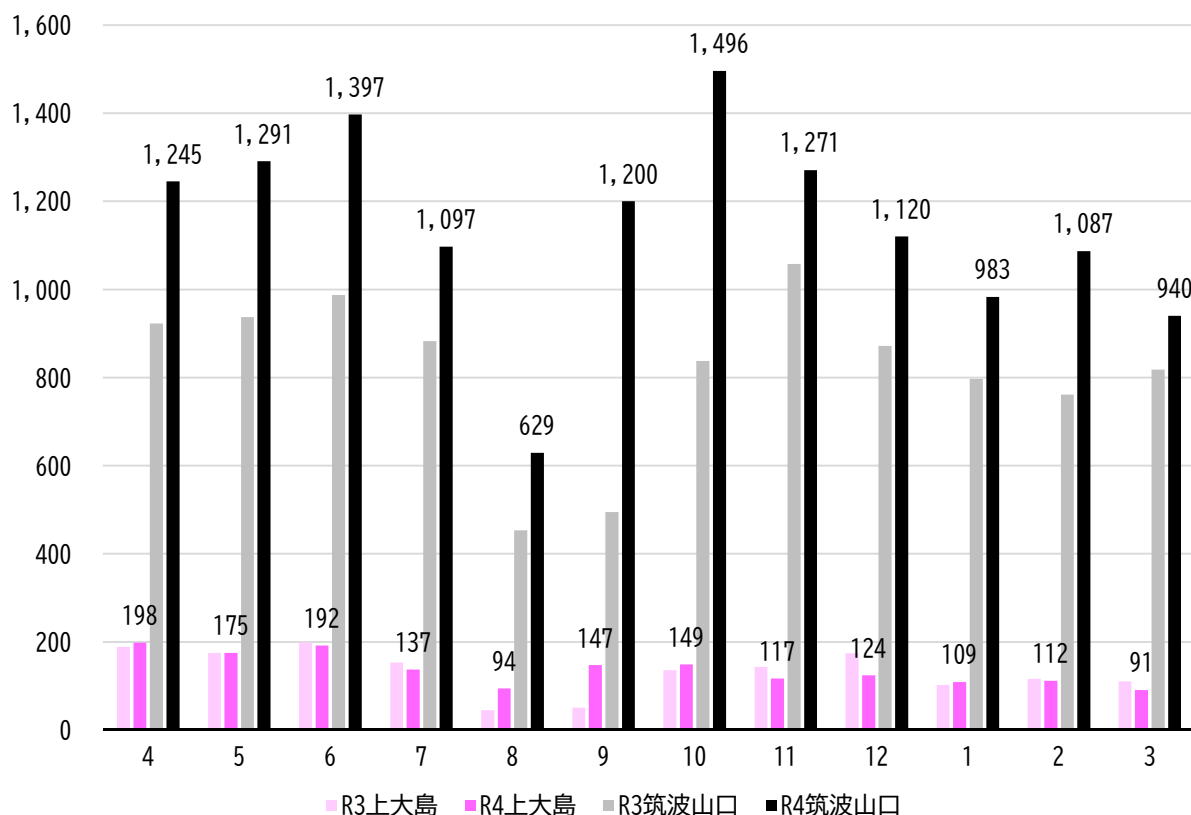
▼表 市内各停留所利用者数

[単位:人]

バス停 運行月	上大島			筑波山口		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
4	189	198	9	923	1,245	322
5	175	175	0	937	1,291	354
6	199	192	▲ 7	987	1,397	410
7	153	137	▲ 16	883	1,097	214
8	45	94	49	453	629	176
9	51	147	96	495	1,200	705
10	136	149	13	838	1,496	658
11	143	117	▲ 26	1,058	1,271	213
12	174	124	▲ 50	872	1,120	248
1	102	109	7	797	983	186
2	116	112	▲ 4	761	1,087	326
3	110	91	▲ 19	818	940	122
合計	1,593	1,645	52	9,822	13,756	3,934
平均	133	137	4	819	1,146	328

▼グラフ つくば市内各停留所利用者数の推移

[単位:人]



3 時間帯別乗継状況(R4.4～R4.9)

- 桜川市広域連携バスとつくバス間では、次に乗車するバスの運賃を割引く乗継券(100円引き)を発行し、乗継利便性向上を図っている(乗継者数は、乗継券の発行数・回収数の数値)。
- 平日及び休日どちらも午前の上り便、午後の下り便において乗継者が多い傾向にある。

▼表 R4.4～R4.9までの乗継実績

上り(桜川市→つくば市) [単位:人]

乗継者数			
広域連携バス	つくバス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発		
7:07	7:15	26	12
7:37	8:05	8	
8:47	9:00	72	36
9:42	10:20	22	
10:17	10:20		22
10:42	10:45	11	
12:07	12:30	15	13
13:12	13:30	0	27
13:57	14:05		0
14:02	14:05	28	0
15:32	15:40	22	
15:57	16:20		0
16:17	16:20	30	0
17:12	17:30		0
17:37	18:00	0	0
18:22	18:45	0	
19:22	20:05	0	0
20:32	20:40	11	
20:37	20:40		0

AM計209人
(平日139人、
休日 70人)

PM計146人
(平日106人、
休日 40人)

下り(つくば市→桜川市) [単位:人]

乗継者数			
つくバス	広域連携バス	平日	休日
筑波山口着	筑波山口発		
	6:40	0	0
	7:10		0
	7:15	0	
	7:45	0	
9:25	9:30	15	32
10:10	10:30		7
11:05	11:25	24	12
13:20	13:25	49	27
13:55	14:15	12	
13:55	14:25		8
14:55	15:00		9
14:55	15:15	34	
16:05	16:10	77	
16:40	16:45	25	25
17:50	18:02	40	
18:30	18:37		32
19:10	19:12	36	
20:20	20:35	19	

AM計90人
(平日39人、
休日51人)

PM計393人
(平日292人、
休日101人)

※網掛けは、平日・休日どちらかしか運行しておらず、存在しない乗継ダイヤ

3 時間帯別乗継状況(R4.10~R5.3)

- 令和4年度の乗継者総数は1,740人であり、昨年度(1,400人)と比較して、**340人増加した。**
- 平日と休日の上り便及び休日の下り便は午前と午後で差はなかったが、平日の下り便は午後のほうが乗継者が多い傾向にあった。
- 上半期と同様に、午後の下り便の乗継者数が多く見られた。

▼表 R4.10~R5.3までの乗継実績

上り (桜川市→つくば市) [単位: 人]

広域連携バス	つくバス	乗継者数	
筑波山口着	筑波山口発	平日	休日
7:07	7:15	35	20
7:37	8:05	2	
8:47	9:00	49	38
9:42	10:20	26	
10:17	10:20		19
10:42	10:45	17	
12:07	12:30	33	29
13:12	13:30		30
14:02	14:05	26	3
15:32	15:40	35	
16:17	16:20	33	4
17:12	17:30		2
17:37	18:00	1	4
18:22	18:45	0	
19:22	20:05	1	0
20:32	20:40	12	
20:37	20:40		1

AM計206人
(平日129人、
休日 77人)

PM計214人
(平日141人、
休日 73人)

下り (つくば市→桜川市) [単位: 人]

つくバス	広域連携バス	乗継者数	
筑波山口着	筑波山口発	平日	休日
	6:40	1	0
	7:10		6
	7:15	7	
	7:45	0	
9:25	9:30	27	38
10:10	10:30		23
11:05	11:25	33	18
13:20	13:25	51	26
13:55	14:15	15	
13:55	14:25		9
14:55	15:00		7
14:55	15:15	22	
16:05	16:10	53	
16:40	16:45	21	24
17:50	18:02	27	
18:30	18:37		21
19:10	19:12	36	
20:20	20:35	17	

AM計153人
(平日68人、
休日85人)

PM計329人
(平日242人、
休日 87人)

令和4年度 筑西市広域連携バス利用実績



1 利用実績(筑西市広域連携バス)

▼表 路線全体利用者数

[単位：人]

年度	令和3年度			令和4年度			
運行月	月合計	1日平均	1便平均	月合計	1日平均	1便平均	前年度比
4	3,764	125.5	8.4	3,945	131.5	7.9	105%
5	3,847	124.1	8.3	4,467	144.1	8.7	116%
6	4,077	135.9	9.1	4,882	162.7	9.7	120%
7	3,822	123.3	8.2	4,147	133.8	8.0	109%
8	2,379	76.7	5.1	3,153	101.7	6.1	133%
9	2,182	72.7	4.9	4,256	141.9	8.5	195%
10	3,992	128.8	8.6	4,678	150.9	9.1	117%
11	3,836	127.9	8.5	4,509	150.3	9.0	118%
12	3,699	119.3	8.0	4,265	137.6	8.6	115%
1	3,480	112.3	7.5	4,172	134.6	8.5	120%
2	2,762	98.6	6.6	4,069	145.3	8.7	147%
3	2,907	93.8	6.3	4,069	131.3	8.8	140%
合計	40,747	—	—	50,612	—	—	124%
平均	3,396	111.6	7.4	4,218	138.8	8.5	124%

- 令和4年度の、筑西市広域連携バスの路線全体利用者数は、**50,612人**(前年度比**24%増**)。
- 各月の実績は、すべての月で前年度の利用者数を上回っている。
- 特に9月の増加の伸びが著しいが、これは前年同時期がまん延防止等重点措置の対象期間であったため、前年度の利用者数が例年より少なかったことによるものと推測される。
- このほか、新型コロナウイルス感染拡大前(令和元年度)の利用者数(44,735人)と比較すると、5,877人の増加が見られた。

2 つくば市内停留所利用者数(筑西市広域連携バス)

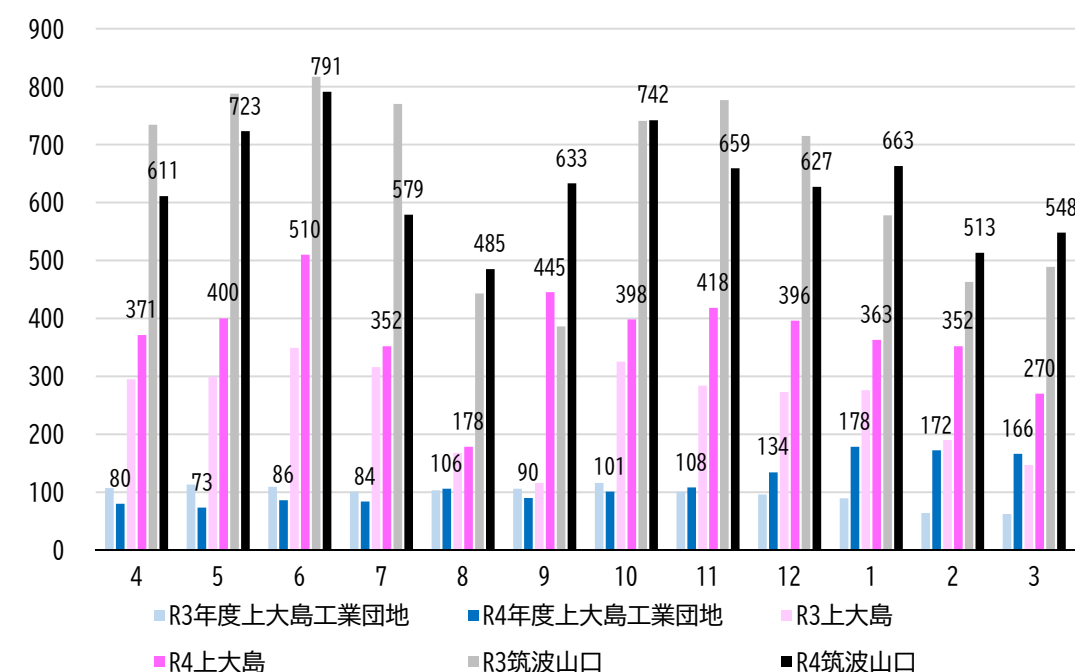
- つくば市内のバス停留所は「上大島工業団地」、「上大島」、「筑波山口」の3か所である。
- 「上大島工業団地」停留所利用者数は1,378人で、前年度より211人増加した(前年度比118%)。
- 「上大島」停留所利用者数は4,453人で、前年度より1,415人増加した(前年度比147%)。
- 「筑波山口」停留所利用者数は7,574人で、前年度より127人減少した(前年度比98%)。
- 「上大島工業団地」停留所及び「筑波山口」停留所では、半数の月で減少が見られた。

▼表 市内各停留所利用者数

[単位:人]

バス停名	上大島工業団地			上大島			筑波山口		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
4	107	80	▲ 27	295	371	76	734	611	▲ 123
5	113	73	▲ 40	299	400	101	788	723	▲ 65
6	109	86	▲ 23	349	510	161	817	791	▲ 26
7	101	84	▲ 17	316	352	36	770	579	▲ 191
8	103	106	3	168	178	10	443	485	42
9	106	90	▲ 16	116	445	329	386	633	247
10	116	101	▲ 15	325	398	73	741	742	1
11	101	108	7	284	418	134	777	659	▲ 118
12	96	134	38	273	396	123	715	627	▲ 88
1	89	178	89	276	363	87	578	663	85
2	64	172	108	190	352	162	463	513	50
3	62	166	104	147	270	123	489	548	59
合計	1,167	1,378	211	3,038	4,453	1,415	7,701	7,574	▲ 127
平均	97	115	18	253	371	118	642	631	▲ 11

▼グラフ つくば市内各停留所利用者数の推移



3 時間帯別乗継状況(R4.4～R4.9)

- 筑西市広域連携バスとつくバス間では、次に乗車するバスの運賃を割引く乗継券(100円引き)を発行し、乗継利便性向上を図っている(乗継者数は、乗継券の発行数・回収数の数値)。
- 午前の上り便、午後の下り便において乗継者が多い傾向にあった。
- 乗継利用が最も多かった曜日と時間は、平日午前の上り便であり、特に11時台が多く見られた。

▼表 R4.4～R4.9までの乗継実績

上り(筑西市→つくば市) [単位：人]

広域連携バス	つくバス	乗継者数	
筑波山口着	筑波山口発	平日	休日
7:00	7:15	65	14
8:55	9:00	89	
8:58	9:00		35
11:30	11:55	108	
11:33	11:55		21
13:55	14:05	21	
13:58	14:05		9
14:55	15:05	12	
14:58	15:05		6
17:45	18:00	10	
17:48	18:00		14
18:40	18:45	5	22
19:45	20:05	2	5
21:22	21:25	4	14

AM計332人
(平日262人、
休日 70人)

PM計124人
(平日54人、
休日70人)

下り(つくば市→筑西市) [単位：人]

つくバス	広域連携バス	乗継者数
筑波山口着	筑波山口発	平・休合算
	7:10	0
9:25	9:30	31
11:40	12:00	28
12:45	13:00	55
15:30	15:51	51
17:50	18:00	41
19:45	20:00	60

AM計59人

PM計207人

3 時間帯別乗継状況(R4.10~R5.3)

- 令和4年度の乗継者総数は1,536人であり、昨年度(1,272人)と比較して**264人増加した**。
- 上半期と同様に、午前の上り便、午後の下り便において乗継者が多い傾向にあった。
- 一方で、午後の上り便の乗継者は上半期とは異なり、休日より平日のほうが多く見られた。

▼表 R4.10~R5.3までの乗継実績

上り (筑西市→つくば市) [単位：人]

広域連携バス	つくバス	乗継者数	
筑波山口着	筑波山口発	平日	休日
7:00	7:15	120	10
8:55	9:00	110	
8:58	9:00		32
11:30	11:55	82	
11:33	11:55		22
13:55	14:05	32	
13:58	14:05		15
14:55	15:05	18	
14:58	15:05		16
17:45	18:00	12	
17:48	18:00		10
18:40	18:45	2	12
19:45	20:05	4	3
21:22	21:25	6	2

AM計376人
(平日312人、
休日 64人)

PM計132人
(平日74人、
休日58人)

下り (つくば市→筑西市) [単位：人]

つくバス	広域連携バス	乗継者数
筑波山口着	筑波山口発	平・休合算
	7:10	0
9:25	9:30	31
11:40	12:00	18
12:45	13:00	47
15:30	15:51	67
17:50	18:00	70
19:45	20:00	73

AM計49人

PM計257人

公共交通利用促進活動について

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

まつりつくばへの出展

「まつりつくば2023」(会場:つくばセンター広場及び大清水公園、日時:令和5年8月26日・27日の2日間)に交通事業者と共同出展し、公共交通利用促進に係る活動を実施した。

【事業概要】

1 出展日(場所)

- 8月26日(土)(大清水公園) 関東鉄道(株)と共同出展
- 8月27日(日)(大清水公園) 首都圏新都市鉄道(株)と共同出展

2 主な活動概要

- 交通事業者オフィシャルグッズの販売
グッズ購入者につくば市特製缶バッジの配布
特製缶バッジ配布:**106個**
- 記念写真コーナーの設置(乗務員制服着用体験)
撮影していただいた方に「乗務員なりきり体験証明証」を配布
証明証交付枚数:**114枚**



グッズ販売の様子



バス乗務員制服着用体験の様子



TX制服着用体験の様子



TX用



つくバス用

まつりつくば開催期間のつくバス1日乗車券割引販売

「まつりつくば2023」開催期間(令和5年8月26日・27日の2日間)において「つくバス1日乗車券」の割引販売を実施した。

【事業概要】(令和5年度第1回活性化協議会、審議案件11で審議済)

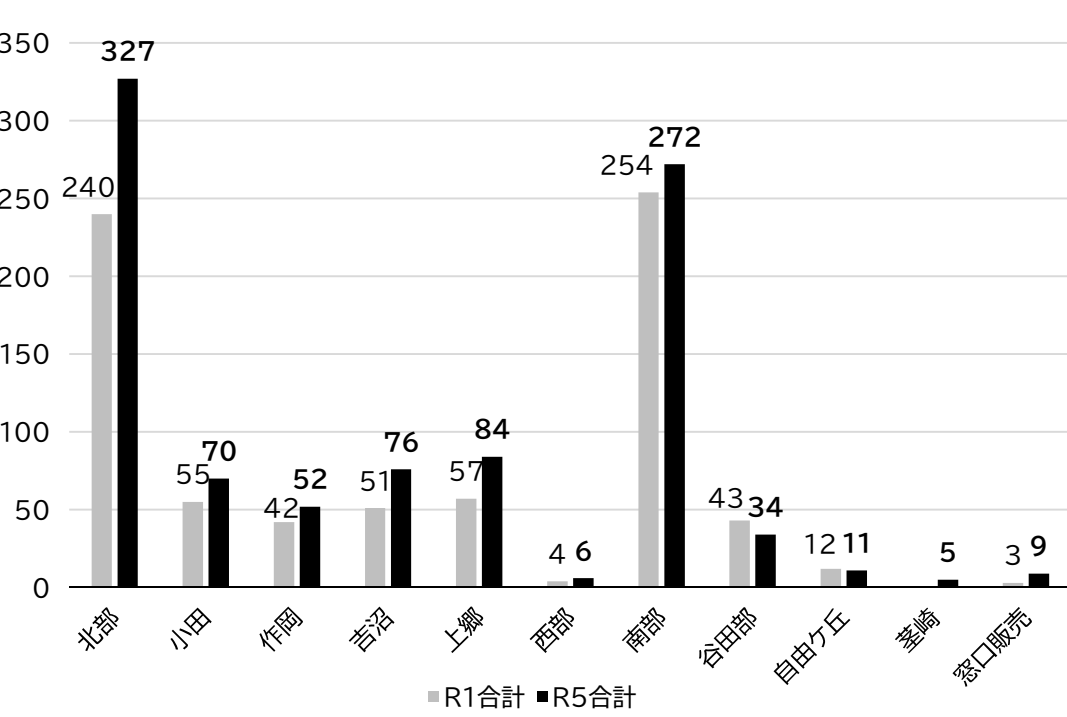
- まつりつくば開催日限定で「つくバス1日乗車券(まつりつくば専用)」の割引販売を行うことで、つくバス及び公共交通の利用促進並びに、会場周辺の混雑緩和を図る。
- 大人1人通常500円を300円、小人1人通常250円を150円で販売

【実施結果】

- 販売枚数は2日間で946枚であり、前回の令和元年度(761枚)と比較して185枚増加した。
- 販売枚数が最も多いシャトルは、両日ともに北部で合計327枚であった。



▼シャトル別1日乗車券販売枚数



▼令和5年度日別販売数内訳

令和5年(2023年)8月26日(土) [単位:枚]			
券種 路線	大人300円券	小人150円券	合計
北部	163	20	183
小田	38	8	46
作岡	28	10	38
吉沼	25	15	40
上郷	34	17	51
西部	2	0	2
南部	155	25	180
谷田部	11	5	16
自由ヶ丘	6	2	8
荃崎	4	1	5
窓口販売	3	0	3
合計	469	103	572
売上	¥ 140,700	¥ 15,450	¥ 156,150

令和5年(2023年)8月27日(日) [単位:枚]			
券種 路線	大人300円券	小人150円券	合計
北部	112	32	144
小田	22	2	24
作岡	12	2	14
吉沼	28	8	36
上郷	23	10	33
西部	4	0	4
南部	78	14	92
谷田部	15	3	18
自由ヶ丘	3	0	3
荃崎	0	0	0
窓口販売	6	0	6
合計	303	71	374
売上	¥ 90,900	¥ 10,650	¥ 101,550

※[参考]令和4年度の1か月平均販売枚数:249枚

つくばね号PayPay導入

筑波地区内を運行する「つくばね号」の利便性向上策として、運賃支払い手段にスマートフォン決済サービス「PayPay」を追加した。

【事業概要】

導入日: 令和5年9月15日(金)

2023/9/14 日本経済新聞
「北関東経済」のページに掲載

利用方法: 乗車時、利用者から「PayPay」で支払う旨を運転士に伝えることで利用可能。スマートフォンで「PayPay」アプリを起動し、運転士から提示されたQRコードを読み取ることで決済可能

※中国の「Alipay」、香港の「AlipayHK」、韓国の「Kakao Pay」も同じQRコードで決済可能

月額使用料: 0円 解約手数料: 0円 決済手数料(導入者側の負担): 1決済ごとに1.98%



利用者が支払金額を間違えないよう、金額を固定したQRコードを準備



利用状況はリアルタイムで確認可能。10月はつくばね号1号車で43件の利用(200円×42、100×1)

広報活動

つくばね号

- 「KASUMI」(筑波店除く市内店舗)でポスター掲出
→幅広い年代が集まるスーパーマーケットで周知することで、筑波地区以外での認知度向上



つくばセンター(つくば駅)

つくバス北部シャトル
所要時間約55分 運賃400円

筑波山口

つくばね号
所要時間約6分 運賃200円

筑波山神社入口

※つくバス、つくばね号ともに高齢者運賃割引など各種割引制度があります。

※つくばね号は紅葉シーズン(10月下旬~12月上旬)の土日祝日の日中中は、部分運休運行(筑波山口~筑波山神社入口の区間)を休止して実施していますので、ご注意ください。(詳細は市HP参照)

<バスの運行・忘れ物に関するお問い合わせ>
関東タクシー有償会社 029-864-1761

<その他のお問い合わせ>
つくば市 都市計画部 総合交通政策課 029-883-1111



松代南循環(実証実験)

- 沿線に存する飲食店に対し、最寄りの停留所の案内等、宣伝活動を実施
→HPのアクセス方法に「松代南循環」を記載いただくことで同路線の認知度向上



(松代南循環路線図)

交差点を右折、左手に筑波銀行支店・右手にアンデルセンの見える交差点を左折。信号のある交差点2つ目の角に店舗。車で約15分

【路線バスのご利用の場合】

■TXつくば駅から
関東鉄道4番線「松代南循環」行きのバスに乗り、「松野木東」で下車。「松野木東」バス停より徒歩約1分

※カーナビの機種によっては、正しい場所に誘導されない場合があります。その際はお手数ですが店舗へお電話ください。
※記載されている所要時間は目安となります。混雑状況によって変動しますのでご了承ください。



(蔵出し焼き芋かいつか HP)

B Blackboard

交通 【お車】
つくばエクスプレス/つくば駅より約10分
常磐道/谷田部インターより約10分
常磐高速道/桜土浦インターより約10分【電車】つくばエクスプレス線/つくば駅

【バス】TXつくば駅/A1出口 4番乗り場
路線バス/松代南循環 (松代南 停留所 → 徒歩約5分)

(Blackboardつくば HP)

つくたく体験乗車会の実施について

つくばセンター行路線バスが令和5年1月31日で廃線となった桜ニュータウンにおいて、代替の交通手段であるつくたクの普及を図るもの。

【事業概要】

桜NT周辺を担当する民生委員を対象に、つくたクの講習会を実施の上利用券を配布し、予約から実際に体験してもらうもの。

【進捗状況】

6月19日	令和5年度第1回活性化協議会にて事前報告
7月24日	広岡交流センターにてつくたく講習会を実施 10名の民生委員の方に利用券を配布
7月24日～10月31日	つくたく利用体験&アンケート受領

【民生委員から寄せられた意見・感想】

- ・ 予約のしかたが思っていたよりも簡単だった。周りの人にも勧めたい。
- ・ 運賃が非常に安い。周りの人にも勧めたい。
- ・ 予約センターや運転手の対応が親切だった。
- ・ 予約センターに繋がりにくかった。
- ・ 電話がつながりにくく、希望した時間が取れないこともあり、周りの人にはあまり勧めたくない。
- ・ インターネット上で予約状況が知りたい。

茨城デスティネーションキャンペーンについて

体験王国 いばらき

茨城デスティネーションキャンペーン 2023.10.1-12.31

地域・観光型MaaSひたちのくに紀行の導入（第1回公共交通活性化協議会報告済み）
2023年10月1日～2024年3月31日 つくバス1日乗車券の電子チケット販売

「ひたちのくに紀行」のサービス概要について

■サービス名称：ひたちのくに紀行

■サブタイトル

旅の「知る・乗る・めぐる」を、スマホ印籠で解決！

■サービス提供期間

2023年10月1日（日）～2024年3月31日（日）

※茨城 DC 実施期間：2023年10月1日（日）～2023年12月31日（日）

■サービス提供エリア

- ◆県央エリア：水戸市・笠間市・ひたちなか市・大洗町
- ◆県北エリア：日立市 新・高萩市 新
- ◆県西エリア：筑西市 新
- ◆県南エリア：土浦市 新・石岡市 新・つくば市 新



▲パンフレット（イメージ）

県南エリア（土浦市・石岡市・つくば市）

別紙1-②

交通電子チケット

石岡・やさと観光周遊バス 1日フリーきっぷ	新装	石岡・やさと観光周遊バスの1日フリー乗車券 ※土・日・祝日限定
つくばサイエンスツアーバス 1日乗車券	新装	6つの研究教育施設を巡る循環バスの1日フリー乗車券 ※土・日・祝日限定
つくバス1日乗車券	新装	つくば市コミュニティバスの「つくバス」が1日乗降自由の乗車券
筑波山ケーブルカー・ロープウェイ1日フリーきっぷ	新装	筑波山ケーブルカーとロープウェイの1日フリー乗車券
筑波山ストーリー （東京・筑波山周遊きっぷ）	新装	東京駅から筑波山まで、高速バス・路線バス・ケーブルカー・ロープウェイがセットになったチケット



▲専用 WEB ページはこちら

つくタクの改善策について

(報告事項: 予約件数上限の設定について)

令和5年(2023年)11月7日(火)

総合交通政策課

予約件数上限の設定について【報告事項】

前回の活性化協議会（R 5. 6. 19開催）で審議した審議案件9「つくタクの改善策について」のうち「つくタクの予約件数上限設定」については、次頁に記載のとおり、11月1日（水）運行分から予約枠の運用を開始しています。

▼これまでの経緯

- | | |
|------------|---|
| 令和4年11月17日 | 令和4年度第2回つくば市公共交通活性化協議会
審議案件5「つくタクの予約キャンセルへの対応について」 |
| 令和5年2月20日 | 令和4年度第3回つくば市公共交通活性化協議会
報告案件2「つくタクの予約回数について」 |
| 令和5年6月19日 | 令和5年度第1回つくば市公共交通活性化協議会
審議案件9「つくタクの改善策について」 |

▼周知方法

- ・広報つくば11月号掲載
- ・つくば市ホームページ掲載（10/5～）
- ・つくタク車内掲示（10/10～）



予約件数上限の設定について【報告事項】

つくたくからのお知らせ

11月1日運行分から お一人4件までの予約枠を新設します

より多くの方につくたくをご利用いただくため、11月1日運行分（10月25日（水）予約開始分）から、**お一人4件までの予約枠を新設**します。
予約枠が上限4件に達している場合は、乗車又はキャンセルすることで、予約枠に空きを作ってから、再度の御予約をお願いします。

11月1日以降の運行予約枠のイメージ



お問合せ：つくば市総合交通政策課 029-883-1111（平日8:45～16:30）

つくば市公共交通活性化協議会規約

（目的）

第1条 つくば市公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するために設置する。

（事務所）

第2条 協議会の事務所は、つくば市役所内（つくば市研究学園一丁目1番地1）に置く。

（協議事項及び事業）

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の協議及び業務を行う。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の様態及び運賃・料金等に関すること。
- (2) 交通空白地有償運送及び福祉有償運送の必要性並びに旅客から収受する対価に関すること。
- (3) 地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）の策定、進捗管理及び変更の協議に関すること。
- (4) 交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (5) 交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要なこと。

（組織）

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員をもって組織する。

- (1) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (2) 一般乗用旅客自動車運送事業者

- (3) 鉄道事業者
 - (4) 茨城県知事の指名する者
 - (5) 茨城県警察つくば警察署長又はその指名する者
 - (6) 地区代表区長又はその指名する者
 - (7) 学識経験者
 - (8) 市長又はその指名する者
 - (9) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者
 - (10) 一般社団法人茨城県バス協会及び茨城県ハイヤー・タクシー協会
 - (11) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
 - (12) 前各号に掲げる者のほか、協議会が特に必要と認める者
- 2 委員の任期は、当該選任の日から当該会計年度の翌年度の3月末日までの期間とし、再任されることを妨げない。ただし、補欠により委嘱し、又は任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 必要に応じ、委員の追加を行うこととする。なお、追加された委員の任期は、現任者の残任期間とする。
- 4 委員は、任期満了後においても後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(役員)

第5条 協議会に次の各号に掲げる役員を置き、その定数は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 会長1人
 - (2) 副会長2人
 - (3) 監事2人
- 2 役員は、前条第1項の規定に基づき、委員となるべき者の中から、互選によりこれを選任する。
- 3 会長、副会長及び監事は、これを相互に兼ねることはできない。

(役員の職務)

第6条 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長に事故があるとき又は

会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

3 監事は、協議会の出納監査を行い、その状況を会長に報告する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は委員の過半数の出席をもって成立とする。なお、会長が認めた場合は、オンラインでの参加も出席とみなす。ただし、この場合においては、委員の自宅の一室又は勤務先の会議室等、委員以外の第三者が存在しない場所で出席するものとする。

3 委員は、やむを得ず会議を欠席する場合は、あらかじめ会長に申し出ることにより、その属する団体から代理の者を出席させることができる。ただし、この場合において、委員は当該代理の者に対し、欠席する委員の権限について委任状により委任を行うものとする。

4 会議の議決は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

5 緊急の議決を要する場合、又は非常事態等、委員が一同に参集できない場合は、書面による審議の上、書面表決にて決議する。

6 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

7 協議会は、必要があると認められるときは、会員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

8 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会議結果の尊重義務)

第8条 協議会で協議が調った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会)

第9条 協議会に提案する事項について調査、検討、協議をするため、必要に応じ協議会に幹事会を置くことができる。

2 幹事会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第10条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、つくば市都市計画部総合交通政策課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第11条 協議会の運営に要する経費は、負担金及び補助金をもって充てる。

(財務に関する事項)

第12条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(報酬及び費用の弁償)

第13条 会議に出席した委員及び第7条第7項の規定により会議に出席した者並びに幹事会に出席した委員及び幹事会規程第5条第4項の規定により幹事会の会議に出席した者は、会議開催場所である会議室に参集しての参加の場合、会議及び幹事会の会議への出席に係る報酬並びに費用の弁償を受けることができる。また、同会議にオンラインで参加した場合、もしくは書面による表決をした場合は、同会議への出席に係る報酬のみを受けることができる。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、この限りではない。

(1) これに代わる対価を別に得ている場合

(2) 代理の者が会議に出席した場合

2 前項の報酬の額は、1回につき8,500円とし、費用の弁償の額は、1回につき2,000円とする。

3 前項の支給方法は、原則として現金による手渡しとし、オンラインによる参加、もしくは書面による表決の場合は、会議翌日以降の銀行振り込みも可能とする。

(協議会が解散した場合の措置)

第14条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成21年2月24日から施行する。

附則

この規約は、平成21年7月1日から施行し、改正後の規定は平成21年4月1日から適用する。

附則

この規約は、平成22年5月27日から施行し、改正後の規定は、平成22年5月6日から適用する。

附則

この規約は、平成23年5月25日から施行し、改正後の規定は、平成23年4月1日から適用する。

附則

この規約は、平成26年5月27日から施行し、改正後の規定は、平成26年4月1日から適用する。

附則

この規約は、平成26年8月21日から施行し、改正後の規定は、平成26年6月28日から適用する。

附則

この規約は、平成27年5月29日から施行する。

附則

この規約は、平成 28 年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、平成 29 年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、令和元年 5 月 30 日から施行する。

附則

この規約は、令和 2 年 3 月 18 日から施行する。

附則

この規約は、令和 3 年 6 月 3 日から施行する。

附則

この規約は、令和 4 年 6 月 28 日から施行する。

附則

この規約は、令和 5 年 6 月 19 日から施行する。